

令和5年度以降(産廃特措法の延長期限以降)における 環境計測及び周辺環境モニタリングの実施についての基本方針(案)

1. 概要

豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会が作成し（H29.10.9）、第2回豊島処分地地下水・雨水等対策検討会（H29.11.26開催）で報告した「豊島処分地における地下水浄化対策等に関する基本的事項」（以下「基本的事項」という。）において、「豊島処分地の地下水の水質をできる限り速やかに環境基準に到達させ、環境基準達成の確認をすることを目標とするが、最低でも上記の産廃特措法の延長期限までに、処分地全域に渡って地下水の水質を排水基準に到達させ、排水基準達成の確認をし、高度排水処理施設等の撤去や遮水機能の解除、処分地の整地等を完了させるものとする。」とされている。

産廃特措法の延長期限である令和5年3月まで残り約2年となった。そこでその前後並びにそれ以降の環境計測及び周辺環境モニタリングの実施についての基本方針を定めることとする。

2. 環境計測の定義と令和5年度以降の対応

豊島廃棄物等処理事業並びに同処理施設等撤去事業（以下、本件事業という）において実施してきた「環境計測」は、次のように定義されよう。

環境計測とは、本件処分地内の施設・設備・装置等の稼働や同地内での作業あるいは同地内からの雨水・地下水の流出による周辺環境への影響の程度を調査するため、施設・設備・装置等の排気・排水の排出口等や敷地境界、さらには敷地境界に近い地点での地下等で行われる大気・水質・騒音・振動・臭気に関する定期的な計測をいう。

これまで環境計測については、本件事業の進行に合わせて、計測地点や計測項目、計測頻度等に関し数次の見直しを行ってきた。令和5年度以降には、さらに大きな変更が予定される。すなわち、令和5年度までに本件処分地全域において地下水の排水基準の達成が確認され、自然浄化に移行し、また遮水機能の解除工事やその後の処分地の整地工事も終了する予定となっている。したがって、それ以降には処分地内での施設・設備・装置等の稼働はなく、同地内での作業も行われない。残るのは雨水・地下水の流出による影響のみであり、これは地下水の浄化の調査として環境基準の到達、さらにはその達成に向けて計測が行われることになる。

したがって、令和5年度以降では環境計測を終了することとする。なお、本件処分地からの流出雨水については整地が清浄な土壌で行われることから汚染の問題はない。

3. 周辺環境モニタリングの定義と令和5年度以降の対応

一方、周辺環境モニタリングについては、次のように定義されよう。

周辺環境モニタリングとは、豊島廃棄物等処理事業並びに同処理施設撤去等事業に関し、それらの事業の開始前並びに実施期間中及び終了後に行われる計測であって、周辺地先海域や海岸感潮域の水質と底質の調査や大気汚染に関する最大着地点の濃度調査である。加えて、周辺地先海域の藻場や生物等に関する生態系の調査も実施する。両事業の実施の効果や実施に伴う影響を検討するために、原則として定期的に実施する。

上述したように、周辺環境モニタリングは本件事業の効果や影響を検討するために定点観測として行ってきた。したがって、**豊島廃棄物等処理施設撤去等事業の終了後にも周辺環境モニタリングは実施する**（この文書では、豊島廃棄物等処理施設撤去等事業は令和4年度で終了すると想定しており、その後も地下水の環境基準の達成まで何らかの事業が実施される）。特に遮水機能の解除の影響の把握は重要であり、同工事の前後で周辺地先海域での藻場及び生物に関する生態系の調査を実施する。

令和 3 年度の豊島廃棄物等処理施設撤去等事業の概要

1. 概要

令和 2 年度までの実施状況を踏まえ、令和 3 年度に実施しようとしている豊島廃棄物等処理施設撤去等事業の概要について取りまとめた。

2. 令和 3 年度の豊島廃棄物等処理施設撤去等事業の概要

令和 3 年度の主な事項に関する今後の進め方は次のとおりである。

2. 1 フォローアップ委員会での議事予定

フォローアップ委員会では、環境計測・周辺環境モニタリングと高度排水処理施設の運転・管理に関し、指導・助言・評価等を継続する。加えて、事業計画の策定及びその進捗管理、到達状況の評価等に関する指導・助言・評価等を実施する。具体的には、3. 令和 2 年度の工程案に示す以下の項目に対応する。

(1) 今後の事業計画の策定

令和 4 年度末までに地下水浄化対策や豊島処分地の関連施設の撤去、遮水機能の解除等を完了する予定となっており、県はその間に実施する事業計画を提出する。

(2) 地下水浄化対策の見通しと課題への対応

地下水検討会の指導・助言のもと、鋭意、本件処分地の地下水浄化が進められているが、その見通し及び課題についての報告を受けるとともに今後の対応を検討する。

(3) 地下水浄化の進捗管理と到達状況の評価

地下水浄化の進捗状況や浄化の到達状況について、これまで及び今後の計画との関係等を吟味して評価する。

(4) 処分地全域での地下水おける環境基準の到達及び達成の確認に関するマニュアルの作成

地下水検討会から答申される表記のマニュアルについて審議し、決定・作成する。

(5) 豊島廃棄物等処理事業報告書の作成

豊島廃棄物等の処理完了までの経緯、豊島廃棄物等管理委員会の活動や各種施設の維持管理の状況等について取りまとめ、報告書を作成する。

(6) その他

各種ガイドライン及びマニュアル等の作成及び改訂等を実施する。

2. 2 地下水・雨水対策検討会での検討内容

以下の事項について、指導・助言・評価等を継続する。加えてフォローアップ委員会からの要請事項について検討する。

(1) 豊島処分地の地下水浄化対策の実施

局所的な汚染の対策を終了させたいえ、地下水の排水基準の到達・達成マニュアルに基づく地下水計測点のモニタリングを継続するとともに、モニタリング結果を踏まえ、揚水井及び観測井による揚水浄化を強化する。

(2) 排水基準の到達及び達成の確認

県の申請に基づき排水基準の到達・達成を審議する。

(3) 処分地全域での地下水における環境基準の到達及び達成の確認に関するマニュアルの策定

表記のマニュアルについて審議し、その案を策定してフォローアップ委員会に答申する。

(4) 地下水浄化の促進策の検討と地下水の環境基準の到達・達成マニュアルに基づく対応

地下水浄化の促進策として、処分地内に雨水を流入させる方法について検討を行う。また、フォローアップ委員会承認された地下水の環境基準の到達・達成マニュアルに基づく対応を実施する。

(5) 地下水浄化に関連する撤去工事に関する検討

令和3年度に実施あるいは検討される撤去工事のうち、地下水浄化に関連する工事については、地下水浄化に係る観点から撤去時期、撤去方法や撤去後の対応等について検討を行う。

2. 3 撤去検討会での検討内容

以下の事項について、指導・助言・評価等を継続する。加えてフォローアップ委員会からの要請事項について検討する。

(1) 豊島内関連施設の撤去に関する第Ⅱ期工事に関する実施計画の検討

令和3年度から豊島内関連施設の撤去に関する第Ⅱ期工事を予定しており、これらの工事について、次の予定で実施計画の審議を行う。

① 上半期に実施する撤去工事の実施計画書等の審議

令和3年上半期に発注手続きを行う、処分地の雨水の集水・貯留・排除施設（処分地進入路の排水路、承水路、承水路下トレンチドレーン、沈砂池1・2）及び処分地外周からの雨水の集水・排除施設（上流側の排水路）の撤去工事については、地下水検討会での検討結果を受け、発注仕様書並びに実施計画書を審議する。

② 排水基準達成後に撤去する工事に関する基本計画書等の検討

排水基準達成後に撤去する施設（トレンチドレーン、高度排水処理施設等）については、撤去の基本計画書を検討・審議するとともに、発注仕様書並びに実施計画書を審議する。

(2) 令和4年度に実施予定の工事に関する検討

令和4年度には専用栈橋の撤去工事や遮水機能の解除関連工事及び処分地の整地関連工事を予定しており、これらの工事の具体的な実施方法等について検討を進める。

(3) 第Ⅱ期工事の撤去手順(案)の見直し

第Ⅱ期工事の撤去手順(案)では、遮水機能の解除関連、処分地の整地関連の工事の設計が未了であることから、今後の進捗状況等の実情を踏まえてさらに検討を加える。また、撤去工事の進捗状況により、適宜、見直しを行い、工事の詳細計画等の立案に反映させる。

3. 令和3年度の工程案

(1) フォローアップ委員会

—— 実施の工程 - - - 検討中の工程

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
フォローアップ委員会の開催					仮 ●							仮 ●
今後の事業計画の策定	今後の事業計画の検討											
地下水浄化対策の見通しと課題への対応	地下水浄化対策の見通しと課題への対応											
地下水浄化の進捗管理と排水基準・環境基準の到達・達成状況の評価	地下水浄化の進捗管理と排水基準・環境基準の到達状況の評価											
処分地全域での地下水における環境基準の到達及び達成の確認に関するマニュアルの作成	地下水検討会でのマニュアルの検討				審議							
その他	各種マニュアル等の作成・見直し				各種マニュアル等の作成・見直し							
	環境計測・周辺環境モニタリング				環境計測・周辺環境モニタリング							
	高度排水処理施設の運転・管理				高度排水処理施設の運転・管理							

(2) 地下水・雨水等対策検討会

—— 実施の工程 — 検討中の工程

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地下水・雨水等対策検討会の開催 ^(※)		仮 ●		仮 ●		仮 ●						仮 ●	
排水基準の到達・達成の確認		排水基準の到達・達成の確認											
環境基準の到達・達成の確認 マニュアルの策定		マニュアルの検討				策定							
環境基準の到達・達成の確認							環境基準の到達・達成の確認						
地下水浄化の観点からの撤去工事の検討		地下水浄化の観点からの各種撤去工事の検討											
地下水 浄化対 策	B5	揚水井による揚水浄化					水質モニタリング						
	D測線西側	観測井等からの揚水浄化											
	揚水井による浄化対策エリア(区画⑪⑬⑯⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱)	揚水井による揚水浄化											
	観測井	水質モニタリング											
地下水浄化の促進策の検討		検討・審議											

(※)排水基準の到達・達成の確認のため、必要に応じて追加開催する。

(3) 豊島事業関連施設の撤去等検討会

—— 実施の工程 — — — 検討中の工程

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
豊島事業関連施設の撤去等検討会の開催	仮 ●		仮 ●	仮 ●		仮 ●				仮 ●		仮 ●
豊島内関連施設の撤去に関する第Ⅱ期工事※1	第Ⅱ期工事の実施											
① 処分地内の雨水の集水・貯留・排除施設	入札仕様書の作成・審議	実施計画書の作成・審議	撤去工事の実施									
② 遮水壁近傍地下水の集水・貯留・送水施設			入札仕様書の作成・審議	実施計画書の作成・審議	撤去工事の実施							
③ その他地下水の集水・貯留・送水施設			入札仕様書の作成・審議	実施計画書の作成・審議	撤去工事の実施							
④ 高度排水処理施設関連施設	基本計画書・入札仕様書等の作成・審議		実施計画書の作成・審議		撤去工事の実施							
⑤ 簡易地下水処理施設			入札仕様書の作成・審議	実施計画書の作成・審議	撤去工事の実施							
⑥ ベルトコンベア等										実施計画書の作成・審議	撤去工事の実施	
⑦ 処分地外周からの雨水の集水・排除施設	入札仕様書の作成・審議	実施計画書の作成・審議	撤去工事の実施									
⑨ 遮水機能の解除関連	具体的な実施方法等の検討・基本計画書の作成・審議											
⑩ 処分地の整地関連							具体的な実施方法の検討					
第Ⅱ期工事の撤去手順(案)	進捗状況等を踏まえて、適宜、修正											

※1 第9回豊島事業関連施設の撤去等検討会の審議結果に基づき変更する場合がある。

産廃特措法の期限

R2/4
(2020)

R3/4
(2021)

R4/4
(2022)

R5/4
(2023)

豊島での対応

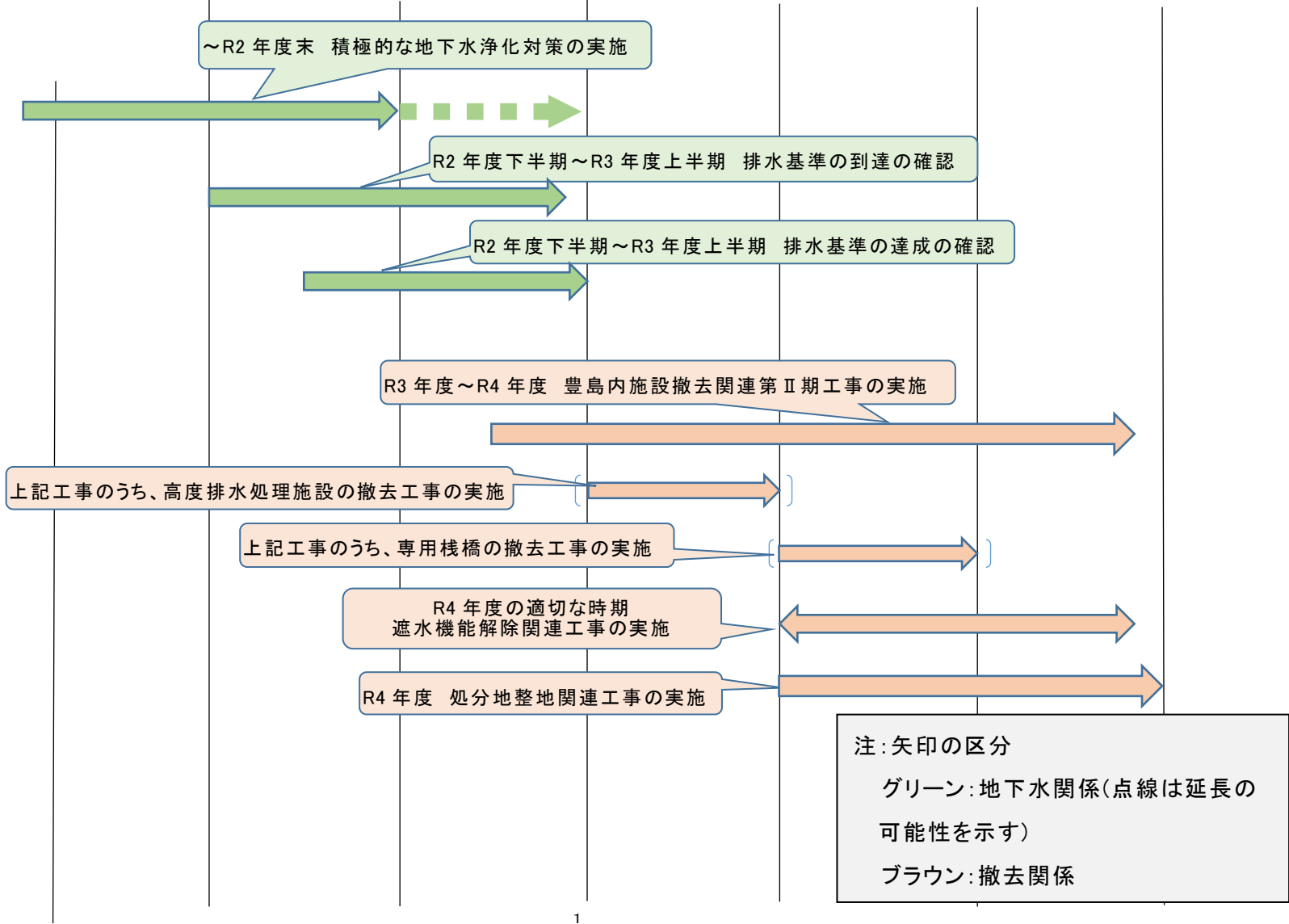


図 令和2年度~4年度末までの事業計画(想定) (資料9・Ⅱ/5を抜粋)

令和 3 年度における環境計測及び周辺環境モニタリングの実施方針

1. 概要

豊島廃棄物等処理施設撤去等事業における環境計測及び周辺環境モニタリングについては、豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会や豊島処分地地下水・雨水等対策検討会における審議・了承を踏まえ、計測項目や計測頻度等について見直しを行ってきた。

今回、第 16 回豊島処分地地下水・雨水等対策検討会（R3.2.28 開催）及び第 9 回豊島事業関連施設の撤去等検討会（R3.3.25 開催）において審議・了承を得たことから、令和 3 年度における環境計測及び周辺環境モニタリングについて以下のとおり見直し、別紙のとおりに実施することとしたい。なお、本提案後に第 11 回フォローアップ委員会で審議され、別紙を含め、以下の内容で承認された。

2. 見直しの方針

令和 3 年度から第Ⅱ期の豊島内施設撤去関連工事が行われること等から、「豊島廃棄物等処理事業の今後の主な調査等の概要」（第 41 回豊島廃棄物等管理委員会資料 4 1・Ⅱ／8 別紙 4）[\[参考\]](#)（以下「調査の概要」という。）及び「令和 5 年度以降(産廃特措法の延長期限以降)における環境計測及び周辺環境モニタリングの実施についての基本方針」（第 11 回豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会資料 1 1・Ⅱ／8）（以下、「特措法期限以降の環境計測等の基本方針」という。）並びに「環境計測」の定義の再確認に伴うフォローアップ委員会及両検討会の資料の取り扱いについて」フォローアップ委員会委員長永田勝也（令和 3 年 3 月 31 日）（以下、「環境計測の定義の再確認」という。）に基づき、環境計測及び周辺環境モニタリングの実施方針について、令和 3 年度の計測地点、計測項目及び計測頻度を別紙のとおりに見直した。

別紙における計測地点、計測項目及び計測頻度の見直しの方針は下記のとおりである。

- (1) 「1. 環境計測」の区分「水質（放流水関連）」については、令和 3 年度から「計測地点」となっている対象施設が撤去又は供用停止されるため、調査の概要に基づき、環境計測は「対象施設の撤去又は供用停止まで」とする。
- (2) 「1. 環境計測」の区分「水質（地下水関連）」については、特措法期限以降の環境計測等の基本方針に基づき、令和 4 年度末までとする。また、同基本方針並びに環境計測の定義の再確認に基づき、観測井 C1 北、C1 南、C3 北、C3 南、DE1、F1 東は除外する。

- (3) また、環境計測の対象であり、かつ地下水汚染の改善状況の観察地点でもある観測井 A3、B5、F1 については、第 16 回地下水検討会 (R3. 2. 28 開催) で以下のように対応することが決定され、第 9 回フォローアップ委員会でも了承されている。

「汚染状況が改善された A3 及び F1 では、このための計測を終了し、未だ排水基準を上回る濃度が検出されている B5 では計測を継続する。」

- (4) 「2. 周辺環境モニタリング」の区分「水質」の計測地点「海岸感潮域 3 地点」では、今後遮水機能を解除する予定であるため、計測頻度の見直しを行う。
- (5) 「2. 周辺環境モニタリング」の区分「生態系」の「アマモ場 5 地点 ガラモ場 3 地点」では、遮水機能の解除の前後での実施を予定しており、これまでの同種の調査の内容を精査して実施の時期等を決定する。

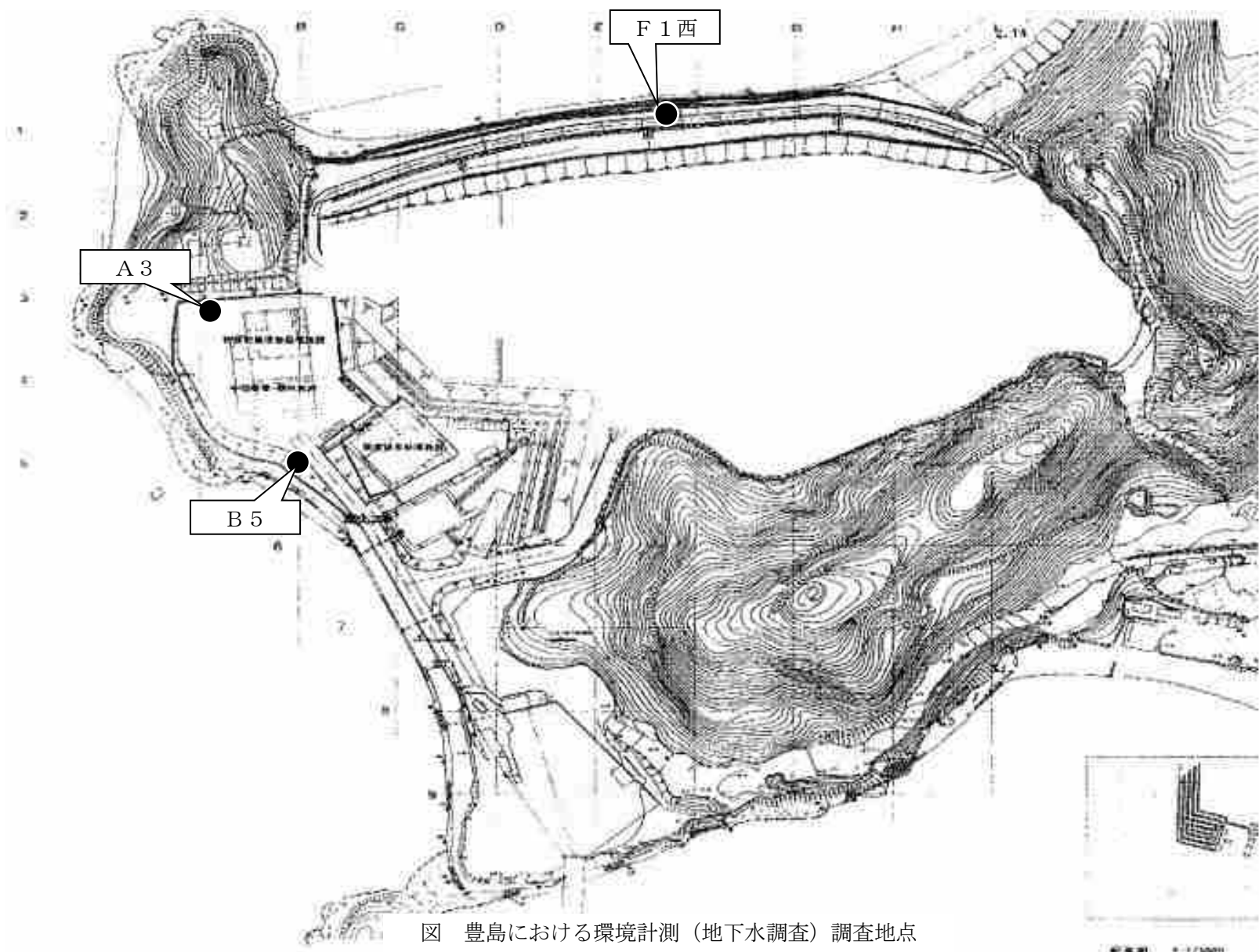


図 豊島における環境計測（地下水調査）調査地点

令和3年度における環境計測及び周辺環境モニタリングの実施方針（案）

1. 環境計測

区分	計測地点	計測項目	計測頻度	変更理由
水質 (放流水関連)	沈砂池1	水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、浮遊物質量(SS)、溶解性鉄、ダ イキソ ン類	年1回(夏) ※1※2	変更なし
	沈砂池2	水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、浮遊物質量(SS)、溶解性鉄、ダ イキソ ン類	年1回(夏) ※2	
	北揚水井	水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、浮遊物質量(SS)、n-ヘキサン抽出物質(油分等)、フェノール類、溶解性鉄、溶解性マンガン、全窒素、全リン、砒素及びその化合物、ベンゼン、硝酸性窒素、亜硝酸性窒素及びアンモニア性窒素、1,4-ジ オキソ ン、ダ イキソ ン類	年4回※2 (地下水調査時)	変更なし
	貯留トレンチ	水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、浮遊物質量(SS)、n-ヘキサン抽出物質(油分等)、フェノール類、亜鉛、溶解性鉄、溶解性マンガン、全窒素、全リン、クロロエチレン、トリクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、ベンゼン、硝酸性窒素、亜硝酸性窒素及びアンモニア性窒素、1,4-ジ オキソ ン、ダ イキソ ン類	放流や処理を実施する都度※2	変更なし
	高度排水処理施設の原水調整槽	ニッケル	年1回(春) ※2	高度排水処理施設の稼働は、R3年上期までであることから計測時期を変更する。
	高度排水処理施設放流水	水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、浮遊物質量(SS)	連続※2	変更なし
		水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、浮遊物質量(SS)、n-ヘキサン抽出物質(油分等)、フェノール類、銅、亜鉛、溶解性鉄、溶解性マンガン、クロム、大腸菌群数、全窒素、全リン、水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物、アルキル水銀化合物、カドミウム及びその化合物、シアン化合物、有機リン化合物、鉛及びその化合物、六価クロム化合物、砒素及びその化合物、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン及びその化合物、ホル素、フッ素、硝酸性窒素、亜硝酸性窒素及びアンモニア性窒素、1,4-ジ オキソ ン、ダ イキソ ン類	年1回(春) ※2	高度排水処理施設の稼働は、R3年上期までであることから計測時期を変更する。
		水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、ベンゼン、1,4-ジ オキソ ン、トリクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、クロロエチレン	月1回以上※2	変更なし
	活性炭吸着塔の排出口	水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、ベンゼン、1,4-ジ オキソ ン、トリクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、クロロエチレン	月1回以上※2	
凝集膜分離装置の排出口	浮遊物質量(SS)、ダ イキソ ン類	処理対象とする原水が変わる都度※2	変更なし	
水質 (地下水関連)	北海岸1地点(F1西) 西海岸2地点(A3、B5)	水素イオン濃度(pH)、生物化学的酸素要求量(BOD)、化学的酸素要求量(COD)、n-ヘキサン抽出物質(油分等)、全窒素、全リン、カドミウム及びその化合物、鉛及びその化合物、砒素及びその化合物、ジクロロメタン、四塩化炭素、クロロエチレン、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、ベンゼン、ホル素、1,4-ジ オキソ ン、塩化物イオン、電気伝導率、ニッケル、モリブデン	年2回(夏、冬)	変更なし

※1 沈砂池1から流出する水を採水する。また、夏季以外においても降雨の状況によって満水になる期間が1週間以上続く場合は、臨時に計測を実施する。

※2 放流水関連の環境計測は、「豊島廃棄物等処理事業の今後の主な調査等の概要」(第41回豊島廃棄物等管理委員会)に基づき、対象施設が撤去又は供用停止されるまで実施する。

2. 周辺環境モニタリング

区分	計測地点	計測項目	計測頻度	変更理由
水質	周辺地先海域 3地点	水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、溶存酸素量(DO)、n-ヘキサン抽出物質(油分等)、大腸菌群数、全窒素、全リン、トリクロエチレン、テトラクロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、ベンゼン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、1,4-ジメチルベンゼン、塩化物イオン、全亜鉛	年1回(夏)	変更なし
		モリブデン、アンチモン、ダイオキシン類	年1回(夏)	変更なし
	海岸感潮域 3地点	水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、n-ヘキサン抽出物質(油分等)、大腸菌群数、全窒素、全リン、カドミウム及びその化合物、鉛及びその化合物、砒素及びその化合物、PCB、トリクロエチレン、テトラクロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、ベンゼン、セレン及びその化合物、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、1,4-ジメチルベンゼン、塩化物イオン、全亜鉛	年2回(夏,冬) ^{※3}	令和4年度から遮水機能を解除する予定であるため、計測頻度を増やす。
モリブデン、アンチモン、ダイオキシン類		年2回(夏,冬) ^{※3}		
	西揚水井	アルキル水銀化合物、水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物、カドミウム及びその化合物、鉛及びその化合物、六価クロム化合物、砒素及びその化合物、シアン化合物、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、クロロエチレン、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロエチレン、テトラクロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シメジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン及びその化合物、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、砒素、フッ素、1,4-ジメチルベンゼン、ダイオキシン類	年1回 ^{※4}	変更なし
底質	周辺地先海域 2地点	水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、硫化物、強熱減量、n-ヘキサン抽出物質(油分等)、総水銀、カドミウム、鉛、砒素、シアン、PCB、トリクロエチレン、テトラクロエチレン、有機燐化合物、銅、亜鉛、ニッケル、総クロム、総鉄、総マンガン、ダイオキシン類	年1回(夏)	変更なし
	海岸感潮域 3地点	化学的酸素要求量(COD)、硫化物、強熱減量、n-ヘキサン抽出物質(油分等)、総水銀、カドミウム、鉛、砒素、シアン、PCB、トリクロエチレン、テトラクロエチレン、銅、亜鉛、ニッケル、総クロム、総鉄、総マンガン、有機燐化合物、ダイオキシン類	年1回(夏)	変更なし
生態系	アマモ場5地点 ガラモ場3地点	藻類の繁茂状況(生育密度、葉条長)、葉上付着動物、葉上付着珪藻、水温、塩分、透明度、栄養塩類、出現魚類(北海岸アマモ場)	アマモ場(夏) ^{※5} ガラモ場(冬)	(前回はH28年度実施)

※3 令和4年度から遮水機能を解除する予定であるため、計測頻度を増やす。

※4 西揚水井の周辺環境モニタリングは、「豊島廃棄物等処理事業の今後の主な調査等の概要」(第41回豊島廃棄物等管理委員会)に基づき、当該施設が撤去又は供用停止されるまで実施する。

※5 生態系の周辺環境モニタリングは、「豊島廃棄物等処理事業の今後の主な調査等の概要」(第41回豊島廃棄物等管理委員会)に基づき、遮水機能の解除の前後に実施する予定であり、表に掲載したものは遮水機能の解除前の実施分である。

【第 41 回豊島廃棄物等管理委員会資料 41・Ⅱ／8 の別紙 4 の抜粋】

豊島廃棄物等処理事業の今後の主な調査等の概要

場所等	区 分		内 容	スケジュール				備 考	
				28 年度	29 年度	地下水浄化中	地下水浄化 確認後		
豊島	環境計測	水質	沈砂池 1	放流の都度実施（年 1 回は全項目）	○	○	○	対象施設撤去又は 供用停止まで	
			沈砂池 2	年 4 回実施（年 1 回は全項目）	○	○	○	対象施設撤去又は 供用停止まで	
			高度排水処理施設の排出口	年 1 回実施（pH、COD、SS は連続）	○	○	○	対象施設撤去又は 供用停止まで	
			北揚水井 西揚水井	年 4 回実施	○	○	○	対象施設撤去又は 供用停止まで	
			貯留トレンチ	年 2 回実施	○	対象施設撤去又は 供用停止まで			
			高度排水処理施設の原水調整槽	月 1 回実施（ニッケルのみ）	○	○	○	対象施設撤去又は 供用停止まで	
			凝集膜分離装置の排出口	処理対象水が変わる都度実施（SS、ダ イオキソ）	○	○	○	対象施設撤去又は 供用停止まで	
			活性炭吸着塔の排出口	稼働中に 1 回実施（COD、pH）	○	○	○	対象施設撤去又は 供用停止まで	
			地下水	観測井等で定期的に水質調査を実施して地下水浄化状況 を確認。地点により年 2～6 回実施	○	○	○	地下水浄化の 確認まで	
	大気汚染	敷地境界	年 1 回実施（SPM、SO ₂ 、NO _x 、CO、有害物質 等）	○	△				
	騒音	敷地境界	年 1 回実施	○	△				
	振動	敷地境界	年 1 回実施	○	△				
	悪臭	敷地境界	年 1 回実施	○	△				
	周辺環境 モニタリング	水質・底質	周辺地先海域	水質は年 4 回、底質は年 1 回実施	○	○	当分の間		
海岸感潮域			水質は年 4 回、底質は年 1 回実施	○	○	当分の間			
生態系		アマモ場・ガラモ場	藻類の繁茂状況等の確認調査	○			○	前回は 20 年度に実施	
専用棧橋 の点検	目視調査 潜水調査等	豊島棧橋	「港湾構造物の維持・補修マニュアル」に従って定期的に 劣化・損傷状況を調査する。一般点検は 2 年に 1 回、詳細 点検は 5 年に 1 回実施	○	○	○	対象施設撤去又は 供用停止まで		
直島	環境計測	大気汚染	敷地境界	年 1 回実施（SPM、SO ₂ 、NO _x 、CO、O _x 等）	○				
			煙突	年 6 回実施（ばいじん、SO _x 、NO _x 、HCl 等） 年 2 回実施（ダ イオキソ類）	○				
		水質	雨水集水設備の排出口	年 1 回実施（大雨が長く続き雨水を海域へ排出する場合）	○				
		騒音	敷地境界	必要に応じて適宜実施	○				
		振動	敷地境界	必要に応じて適宜実施	○				
		悪臭	敷地境界	必要に応じて適宜実施	○				
	周辺環境 モニタリング	大気汚染	敷地境界（最大着地点）	年 1 回実施（SPM、SO ₂ 、NO _x 、CO、有害物質 等）	○				
		水質・底質	周辺地先海域	年 1 回実施	○				
		土壌	最大着地点	数年に 1 回実施（3 年を目安）	○				
専用棧橋 の点検	目視調査 潜水調査等	直島棧橋	「港湾構造物の維持・補修マニュアル」に従って定期的に 劣化・損傷状況を調査する。一般点検は 2 年に 1 回、詳細 点検は 5 年に 1 回実施	○					
海上 輸送	周辺環境 モニタリング	水質・底質	周辺海域	年 1 回実施	○				
溶融スラグ	性状の把握	品質試験	モルタルバー法（年 2 回）、迅速法、化学法等	○					
	アルカリ骨材反応に よる劣化症状の確認	施工後 10 年程度経過したコン クリート構造物	外観調査、コア採取、コア外観観察等				調査対象構造物や頻度等は未定（詳細は今後検討）	これまで 25、27 年度に実施	

高度排水処理施設等の定期点検整備の結果

1. 概要

高度排水処理施設等の令和2年度の定期点検整備の結果の報告を行うものである。

なお、令和3年度に高度排水処理施設等の撤去を予定しているため、令和3年度の定期点検整備は実施しないこととしている。

2. 令和2年度の定期点検整備の結果

令和2年度に実施した高度排水処理施設等の定期点検整備の実施状況について、表1に示す。なお、第8回フォローアップ委員会（令和2年4月23日資料送付、5月27日決定事項の報告）での指摘を踏まえ、定期点検整備の実施に当たっては、地下水浄化への影響を最小限に抑えるため、実施期間を可能な限り短縮するよう配慮した。

表 1 令和2年度の定期点検整備の実施状況

No	項 目	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
1	原水調整槽清掃作業 第1,2,4+沈砂槽																																				
2	生物処理設備点検整備 脱窒槽循環ポンプ点検整備																																				
3	凝集膜ろ過装置点検整備 凝集膜薬液洗浄																																				
4	紫外線照射装置点検整備 オゾン発生設備点検整備																																				
5	オゾン発生、PSA酸素 オゾンモニター オゾンローター-1,2号																																				
6	汚泥脱水機設備点検整備 汚泥供給ポンプ整備 汚泥脱水機整備 脱水汚泥ホッパー整備																																				
7	曝気プロップ点検整備																																				
8	計装機器点検整備																																				
9	凝集膜ろ過装置整備(液中膜)																																				
10	電気盤点検整備																																				
11	オゾン室給気フィルタ更新																																				

(1) 原水調整槽の清掃作業

原水調整槽のうち、第1槽、第2槽、第4槽、沈砂槽の浚渫と内部清掃を実施した。各水槽内の防食塗装について目視点検を行った結果、トップコートの膨らみ等の異常がないことを確認した。

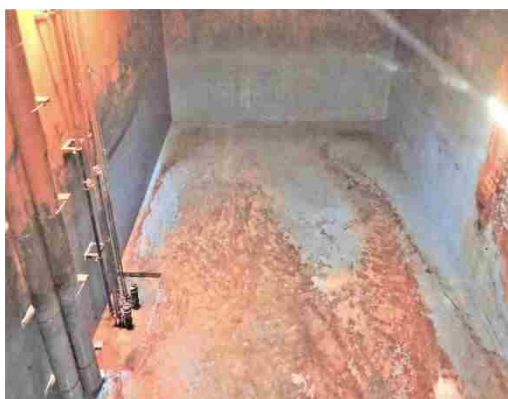


写真1 第1槽（流入槽） 清掃完了



写真2 第2槽（ばっ気槽） 清掃完了



写真3 第4槽（多目的槽1） 清掃完了



写真4 沈砂槽 清掃完了

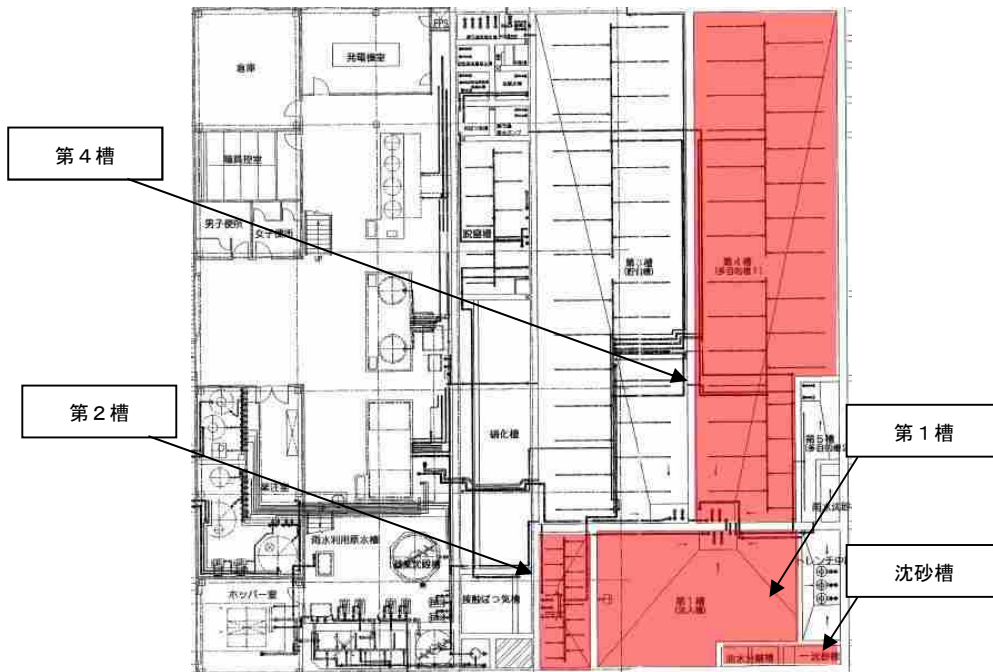


図1 浚渫清掃作業対象水槽

(2) 生物処理設備の点検整備

脱窒槽循環ポンプ1号を対象に、主軸、ベアリング、メカニカルシール等を交換する分解整備を実施した。

整備完了後の実負荷運転において、異常がないことを確認した。

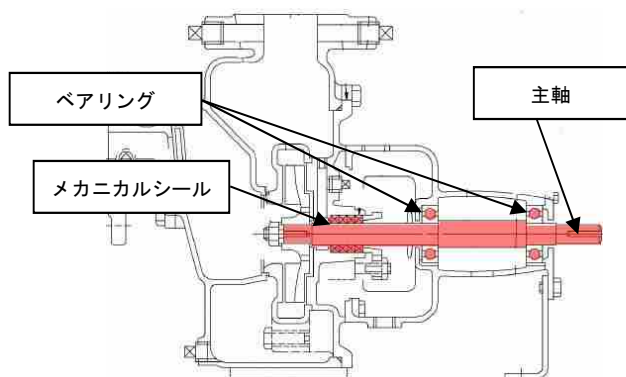


図2 脱窒槽循環ポンプの構造



写真5 脱窒槽循環ポンプ 整備完了

(3) 凝集膜ろ過装置の点検整備

セラミック膜の薬液洗浄を実施した。薬液洗浄の結果、整備直後の吸込圧力は、1号機では -0.031MPa から -0.003MPa に、2号機では -0.028MPa から -0.004MPa に回復した。



写真6 セラミック膜1号機 洗浄完了



写真7 セラミック膜2号機 洗浄完了

(4) 紫外線照射装置の点検整備

紫外線ランプユニットを引抜き、紫外線ランプ、コネクタプラグ、Oリング等を交換し、分解清掃を実施した。

交換後の運転において、ランプ電圧が全て基準値内であることを確認した。

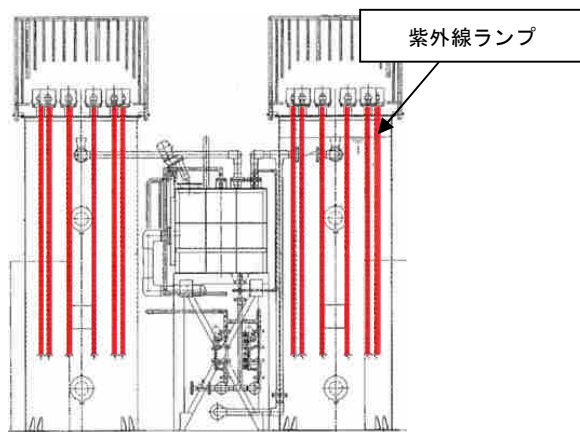


図3 紫外線照射装置の構造



図4 紫外線ランプの外形

(5) オゾン発生設備の点検整備

オゾン発生装置、酸素発生機、オゾンモニター（オゾン濃度測定装置）、コンプレッサー、排オゾンファンの分解清掃、消耗部品交換等を実施した。

整備完了後の実負荷運転において、異常がないことを確認した。

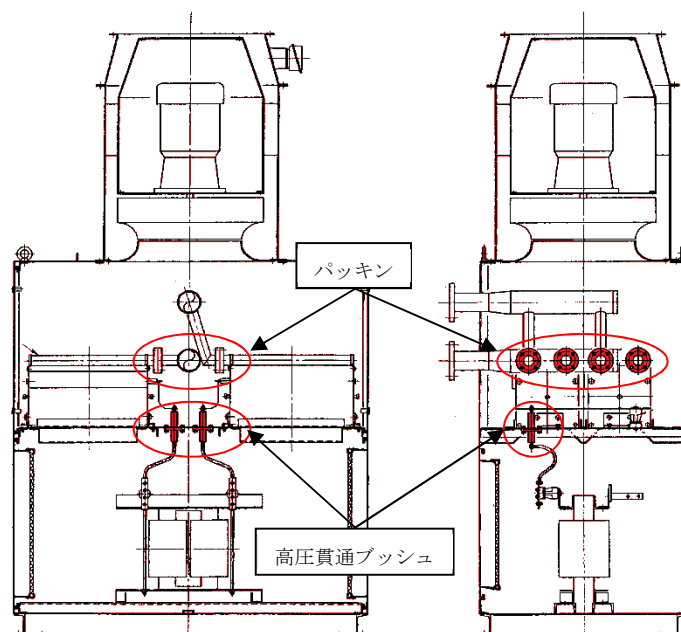


図5 オゾン発生装置の構造

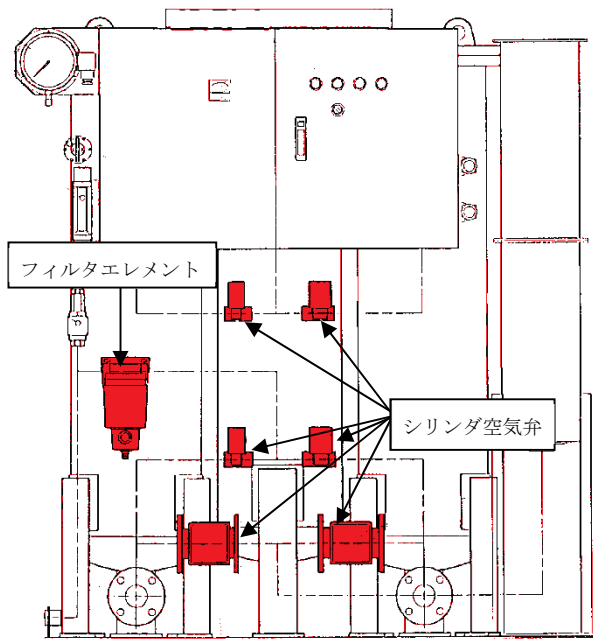


図6 酸素発生機の構造

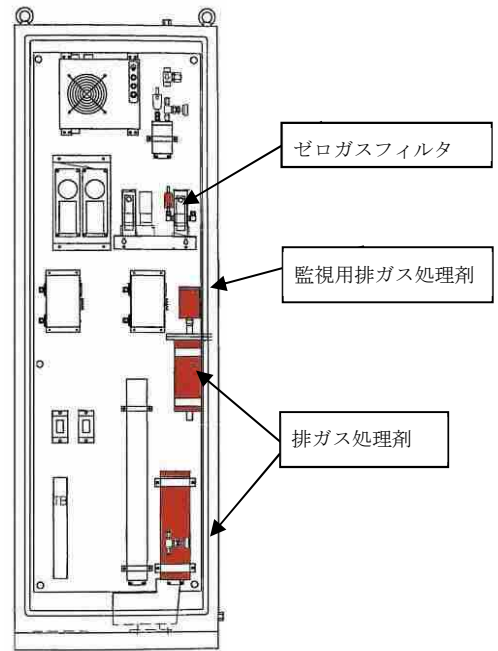


図7 オゾンモニターの構造

(6) 汚泥脱水機の点検整備

汚泥脱水機の分解清掃、消耗部品の交換等を実施した。

整備完了後の実負荷運転において、異常がないことを確認した。

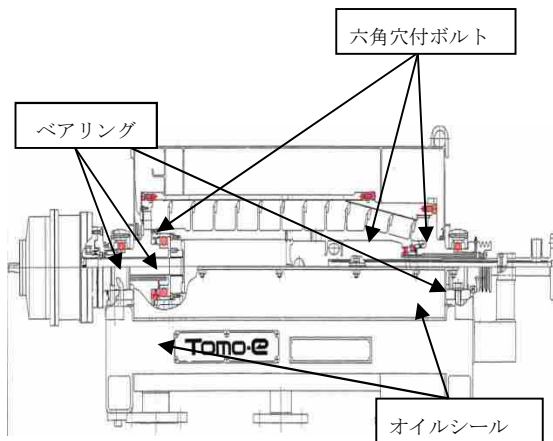


図8 汚泥脱水機の構造



写真8 汚泥脱水機 整備状況

(7) ばっ気ブロワの点検整備

ばっ気ブロワ 2 台の分解清掃、消耗部品の交換を実施した。

整備完了後の実負荷運転において、異常が無いことを確認した。



写真9 ばっ気ブロワ1号 整備完了



写真10 ばっ気ブロワ2号 整備完了

(8) 計装機器の点検整備

pH 計・DO 計・ORP 計の交換、及び UV 計・SS 計の部品を交換し、各機器の校正作業とループテストを実施した。

整備完了後の実負荷運転において、異常が無いことを確認した。ただし、pH 調整槽 pH 計の超音波洗浄機が故障していたが、1 か月毎に測定部を手洗い洗浄しているため通常運転に支障ないと考えられることから、経過を観察することとした。

表 2 整備対象計装機器

No.	機器名称	作業内容	結果
1	反応槽 pH 計	消耗品交換、校正、ループテスト	異常なし
2	第 1 混和槽 pH 計	消耗品交換、校正、ループテスト	異常なし
3	第 1 中和槽 pH 計	消耗品交換、校正、ループテスト	異常なし
4	硝化槽 pH 計	消耗品交換、校正、ループテスト	異常なし
5	第 2 混和槽 pH 計	消耗品交換、校正、ループテスト	異常なし
6	第 2 中和槽 pH 計	消耗品交換、校正、ループテスト	異常なし
7	pH 調整槽 pH 計	消耗品交換、校正、ループテスト	超音波洗浄機故障
8	消毒槽 pH 計	消耗品交換、校正、ループテスト	異常なし
9	硝化槽 DO 計	消耗品交換、校正、ループテスト	異常なし
10	脱窒槽 ORP 計	消耗品交換、校正、ループテスト	異常なし
11	放流ピット UV 計	消耗品交換、校正、ループテスト	異常なし
12	SS 計	消耗品交換、校正、ループテスト	異常なし

(9) 凝集膜ろ過装置（屋外施設）の点検整備

膜ろ過処理水が合流する集合管に亀裂が生じていたため、新しいものに交換した。交換後の実負荷運転において、異常がないことを確認した。



写真 11 集合管 交換完了

(10) 電気盤の点検整備

中央動力制御盤 1 面、現場制御盤 8 面の内部点検と清掃、及び機器 131 台の絶縁抵抗測定を行った。

絶縁抵抗測定の結果、第 1 槽汚水移送ポンプ 2 号、第 5 槽汚水移送ポンプ 2 号、膜洗浄ポンプ 1 号については、絶縁抵抗が 5 MΩ 以下のため、絶縁不良を発生する可能性があることから経過を観察するとともに、故障した際の予備品を準備することとした。

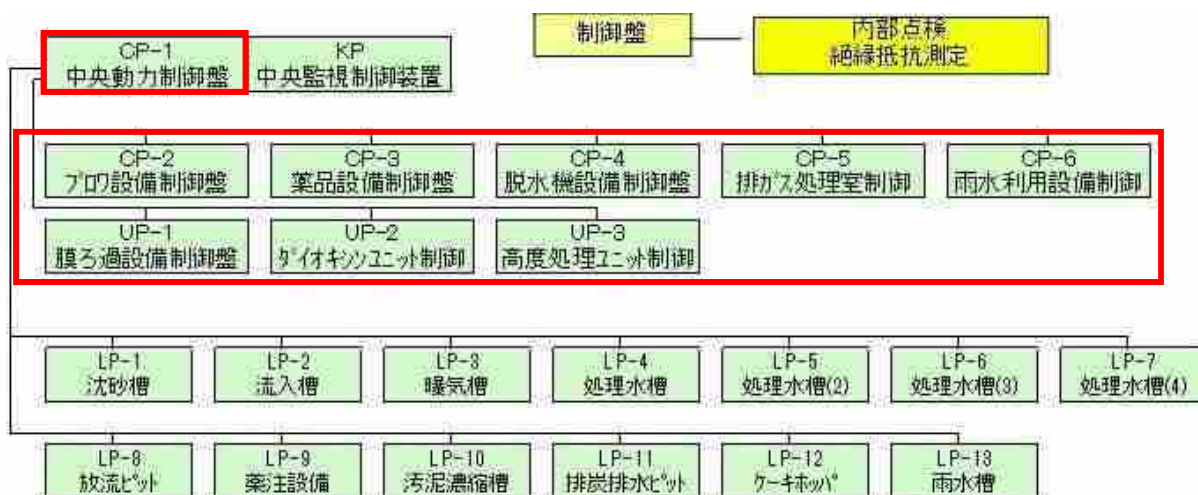


図 9 高度排水処理施設の制御盤構成

(11) オゾン室給気フィルタの交換

給気フィルタの交換を実施した。

交換後の実負荷運転において、異常がないことを確認した。



写真12 給気フィルタ 新旧部品



写真13 給気フィルタ 交換完了

3. 今後の予定

高度排水処理施設等は令和3年上半期に処理を終了し、その後解体・撤去する予定であり、今回報告した定期点検整備によって上半期までに必要な点検整備が全て完了した。今後、高度排水処理施設が停止するまでの間、計器類、ポンプ類、ブロワ類、紫外線ランプ、オゾン発生装置等の機器類について、運転時の電流値等を確認し、必要な管理・修繕等を随時行いながら操業する。

各種マニュアル等の見直し等

1. 概要

豊島廃棄物等処理施設撤去等事業の進捗等に合わせ、各種マニュアル等（フォローアップ委員会の所掌分）の必要な見直し等を行うものである。

2. 対象のマニュアル等と概要

今回、対象となるマニュアル等とその概要は次のとおりである。

添付資料 番号	マニュアル名	修正等の概要	添付資料 (別紙等)
1	豊島廃棄物等処理施設撤去等事業における新型コロナウイルス感染症の拡大防止ならびに感染者発生時の対応	引用資料の修正等	添付資料1 (別紙1～4 参考)
2	豊島廃棄物等処理施設撤去等事業における一般的な工事の実施にあたっての手続き	基本計画、関連ガイドライン、マニュアルの改訂による修正	添付資料2 (別紙1～4)
—	豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 溶融スラグ有効利用マニュアル	溶融スラグの販売終了に合わせた廃止	—
—	豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 溶融スラグの出荷検査マニュアル	溶融スラグの販売終了に合わせた廃止	—
—	溶融スラグコンクリート品質審査制度	溶融スラグの販売終了に合わせた廃止	—
—	溶融スラグ二次製品品質審査制度	溶融スラグの販売終了に合わせた廃止	—

令和2年5月27日作成
令和2年7月15日改定
令和3年2月4日改定
令和3年3月25日改定

豊島廃棄物等処理施設撤去等事業における 新型コロナウイルス感染症の拡大防止ならびに感染者発生時の対応

香川県環境森林部廃棄物対策課

1 基本的な考え方

新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置ならびに感染者が発生した場合の対応については、香川県としての職場向けの通知が別紙1「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた職場の対応について（通知）」（令和2年4月8日・12月8日改正）及び別紙2「県庁内で新型コロナウイルス感染症の感染者（陽性者）等が発生した場合の対応について（通知）」（令和2年4月8日・12月8日改正）のように提示されている。豊島廃棄物等処理施設撤去等事業（以下、豊島事業という）の遂行に当たっても、これに従って進めることとする。また、豊島事業に関連する会合等については、別紙3「催物（イベント等）の開催制限の段階的緩和の当面の方針について」（令和2年5月26日・令和3年3月1日改正）に基づき、対処する。なお、これらの内容が変更・改訂等された場合には、それに従う。

また、施設の操業や各種工事等の実施に当たっては、委託先の事業者等が関与するが、そうした人々にも上記の通知の該当箇所を励行するように指導するとともに、国交省からの通達の別紙4「新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言を踏まえた工事及び業務の対応について：国土交通省不動産・建設経済局建設業課長」（令和2年4月8日・令和3年1月7日改正）に従った対応も要請する。

2 豊島における感染防止の対応

豊島事業の遂行に当たっては、上記のように基本的に県ならびに国の通達等に従うが、本事業特有の事項については、以下のように対応する。

(1) 豊島への移動での対応

県職員の豊島への移動は、別紙1の通勤時の対応に該当する。すなわち、公共交通機関（船舶）を利用する職員は、多くの人が集中する時間帯を避けるよう努めることとする。また豊島への移動は、可能な限り避け、電話やeメール、テレビ会議等で対応するように務める。

同様の対応を委託事業者や工事関係者、さらには運送事業者にも文書で求め、対処方を依頼する。

(2) 豊島島内での移動等での対応

県職員の豊島島内での移動に当たっては、公用車を活用し、島民との接触を避ける方法で行うとともに、また豊島処分地以外の場所（例：商店）には訪問しないことを原則とする。

同様の対応を同じく委託事業者や工事関係者、さらには運送事業者にも文書で求め、対処方を依頼する。

(3) 豊島事業に関係する各種会合への対応

県外関係者が参加する豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会ならびに同豊島処分地地下水・雨水対策等検討会、豊島事業関連施設の撤去等検討会、豊島廃棄物処理事業協議会については、別紙3の開催基準に従って対応するが、会議の運営上必要がある場合は、ウェブ会議を行うことができるものとする。

また、県内関係者のみの開催となる事務連絡会については、可能な限り電話やeメール、テレビ

会議等に対応するように務め、集合開催とする場合には、参加人数の縮小、開催時間の短縮、着席間隔の拡大、室内の換気の実施、アルコール消毒やマスクの着用等咳エチケットの励行等の対策を行う。

(4) 豊島住民会議の現場視察への対応

豊島住民会議が行う現場視察には、別紙1の来客時の対応で対処する。すなわち、対面に当たってはアルコール消毒の実施、2m以上の間隔を空け、マスクを着用しての対応を行う。同様の対応を対面者にも求めることとする。

(5) 見学者への対応

見学者への対応については、全国の状況を注視しながら、別紙3に基づき人数制限により3密を回避し、体温計測、手指消毒、換気を徹底する等の感染症対策を講じた上で、受入れをしていく。

当面、上記のような対応を実施するが、状況が変化した場合には、それに合わせて内容を改め、フォローアップ委員会委員や関係者に通知する。

所属長 殿

統轄安全衛生管理者
(総務部長)新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた
職場の対応について (通知)

本県では、9月12日以降、「準感染警戒期」として、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じつつ、社会経済活動の維持・回復に向けた取組みを行ってまいりましたが、11月に入り、全国的に感染の急増がみられ、都市部では医療提供体制が逼迫しつつある状況になるなど、新規感染者数がこれまで春先、夏にみられた拡大の状況を超えて、感染が拡大しており、本県においても新規感染者が連続して確認される状況となっています。

このような状況において、本県では、今後の感染拡大を防ぐため、12月9日から、警戒レベルを引き上げ、「感染警戒期」に位置づけることとなったことから、令和2年10月30日付け2職員第44873号統轄安全衛生管理者通知「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた職場の対応について (通知)」を以下のとおり改正します。

つきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けて、各所属においても、職場の実態に即して、適切に対応していただきますようお願いいたします。

※以下、下線箇所が改正箇所となります。

記

1 職場における対策の基本的な考え方

新型コロナウイルス感染症の大規模な感染拡大を防止するためには、①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人が密集している）、③密接場面（お互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発生が行われる）という3つの条件が同時に重なる場を避け、職場内外での感染防止行動の徹底について正しい知識を持って、職場や職務の実態に即した対策に取り組むこと。

2 大規模な感染拡大防止等に向けた対策について

新型コロナウイルス感染症の大規模な感染拡大を防止するために、以下の内容について、職場の実態に即した、実行可能な感染拡大防止対策を講じるとともに、職員への周知を図ること。

その際、必要に応じて、産業医等に対策の検討や実施に当たっての意見を求めるとともに、衛生委員会等の意見を聞くこと。

(1) 職場内での感染防止行動の徹底

①換気の徹底

- ・職場の建物の窓が開閉可能な場合は、1時間に2回以上（30分に1回以上、数分程度）、窓を全開して換気を行うこと。空気の流れを作るため、複数の窓がある場合、二

方向の壁の窓を開放すること。窓が一つしかない場合は、ドアを開けること。

- ・冬季においては、室温が下がらない範囲で常時窓を開けること（例：窓を少し開け、室温18℃以上を目安とすること）。必要に応じて、連続した部屋等を用いた2段階の換気（例：使用していない部屋の窓を大きく開ける）も検討すること。ただし、機械換気（空気調和設備、機械換気設備）を行っている建物において、ビル管理法令の空気環境の基準を満たす場合はこの限りではない。

※適切な換気により、二酸化炭素濃度が1000ppm以下となることが目安となること。

- ・本庁本館は、窓が開閉できず、機械換気を行っており、庁舎管理者により換気設備を適切に運転・管理することで、ビル管理法令の空気環境の基準を満たしているが、必要に応じて、外気導入装置（ペリカウンター）を開放すること。

②接触感染の防止

- ・石けんによるこまめな手洗いを徹底すること。これが困難な場合は、アルコール手指消毒剤を設置すること。
- ・複数人で共有する物品・機器等（※）やドアノブ、エレベータのボタン等については、アルコール手指消毒剤でこまめに消毒すること。
※電話、共用パソコン、プリンター、コピー機等
- ・執務室の出入口には、アルコール手指消毒剤を設置すること。
- ・来客等に対し、感染防止措置への協力（手指消毒剤による手指消毒及び必要に応じたマスク着用のお願い等）を要請すること。

③飛沫感染の防止

- ・飛沫感染リスクを低減するため、マスクを着用し、大声で会話しないよう心掛けること。
- ・咳エチケットを徹底すること。
- ・換気等の励行により風通しの悪い空間をなるべく作らない工夫をすること。
- ・職場においては、できる限り、人と人との間に十分な距離を保持（1メートル以上）し、会話や発声には特に間隔を空ける（2メートル以上）ことが望ましい。
- ・電話、電子メール等の活用により、人が集まる形での会議等をできる限り回避すること。
- ・来客等との対面での接触は避け、これが避けられない場合は、距離（2メートル以上）を取ることが望ましい。また、業務の性質上、対人距離の確保等が困難な場合は、マスクを着用すること。
- ・職場の状況に応じた、感染防止対策の工夫をすること。
例：来庁者との面談や受付事務等で距離を確保できない場合は、パーティションの設置など感染防止対策を検討すること。
- ・その他密閉、密集、密接となるような施設の利用方法について検討すること。

④一般的な健康確保措置の徹底等

- ・疲労の蓄積（易感染性）につながることから、長時間の時間外勤務を避けること。あわせて、適切な勤務時間管理にも留意すること。
- ・職員一人一人が十分な栄養摂取と睡眠を心がけるなど健康管理を行うこと。
- ・職場において、職員の日々の健康状態の把握に配慮すること。（例えば、出勤前の体温測定を励行するとともに、体調がすぐれない場合は所属長に報告するよう指導する等）

(2) 通勤時等における感染防止行動の徹底

①接触感染の防止

- ・出勤・帰宅時、飲食前の手洗いや手指のアルコール消毒を徹底すること。

②飛沫感染の防止

- ・咳エチケットを徹底すること。
- ・通勤に公共交通機関を利用している職員は、他人にうつさない観点から、咳エチケットとしてのマスク着用をするとともに、多くの人が集中する時間帯を避ける時差出勤を活

用すること。

(3) テレワーク（在宅勤務）の活用

希望する職員は、テレワーク用パソコンを利用した在宅勤務を行うこと。

3 風邪症状を呈する職員への対応について

新型コロナウイルスに感染した場合、数日から14日程度の潜伏期間を経て発症するため、発症初期の症状は、発熱、咳など普通の風邪と見分けがつかない。また、症状からインフルエンザと新型コロナウイルス感染症を識別するのは難しいとされている。このため、発熱、咳などの風邪症状がみられる職員については、新型コロナウイルスに感染している可能性を考えて対応すること。

特に、高年齢職員、基礎疾患がある職員、免疫抑制状態にある職員、妊娠している職員について配慮すること。

- ・風邪症状がみられる職員への特別休暇の使用とともに、その間の外出自粛を勧奨すること。その際、当該職員が安心して休暇を取得できる体制を整えること。
- ・風邪の症状が出現した職員が医療機関を受診するため等やむを得ず外出する場合でも、公共交通機関の利用は極力控えるよう注意喚起すること。
- ・発熱やのどの痛み、せきなどの風邪症状があり医療機関を受診する際は、事前にかかりつけ医等の身近な医療機関や「香川県新型コロナウイルス健康相談コールセンター」に電話相談をして、受診の可否や受診医療機関、受診に際しての留意事項を確認したうえで、マスク着用や手指消毒を徹底し、感染防止対策に十分に留意して受診するよう指導すること。

4 発熱などの症状のある方の相談・受診体制について（令和2年11月1日から）

令和2年11月から、発熱などの症状のある方の相談・受診体制が変わりました。

まずは、かかりつけ医等の地域で身近な医療機関に電話で相談ください。どこに相談すればよいか分からない場合は、香川県新型コロナウイルス健康相談コールセンターに連絡をしてください。

○香川県新型コロナウイルス健康相談コールセンター

電話番号：0570-087-550（専用ナビダイヤル）

聴覚障害などで電話での相談が難しい方は、保健所の感染症相談窓口でファクスでご相談ください。

相談日時：土曜日・日曜日・祝日を含む毎日24時間

相談内容

受診・相談センター

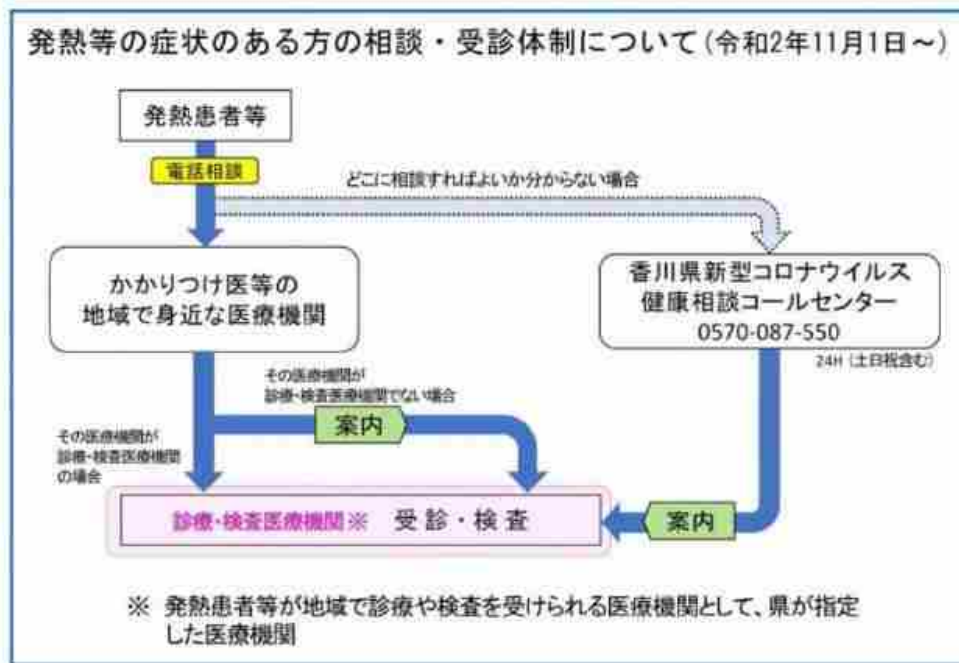
発熱などの症状のある方からの相談に対応します。

<新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安>

- ・息苦しさ、強いだるさ、高熱等の強い症状のいずれかのある場合
- ・基礎疾患がある方などの重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合

一般相談

上記以外の新型コロナウイルス感染症に関する一般的な健康相談に対応します。



5 職員から所属長への報告

職員は、新型コロナウイルス感染症の陽性者又は濃厚接触者に該当した場合やPCR検査、抗原検査等を受診することになった場合は、速やかに所属長へ電話、メール等により報告すること。

所属長は、事前に、所属の職員に対して、陽性者又は濃厚接触者になったことをもって、不利益な取扱いや差別を受けることはないことを説明しておくこと。

(問い合わせ先)

- ・ 感染防止対策一般：職員課健康管理室内線 2 6 3 0
- ・ 建物の換気、消毒：財産経営課内線 2 7 1 1
- ・ 感染者発生時の報告：人事・行革課内線 2 5 8 2

所属長 殿

統轄安全衛生管理者
(総務部長)県庁内で新型コロナウイルス感染症の感染者（陽性者）等が
発生した場合の対応について（通知）

県庁内で新型コロナウイルス感染症の感染者（陽性者）、濃厚接触者又はPCR検査受診者が発生した場合の対応については、令和2年4月8日付2職員第3828号「県庁内で新型コロナウイルス感染症の感染者（陽性者）が発生した場合の対応について（通知）」（統轄安全衛生管理者通知）で周知したところですが、11月に入り、全国的に感染の急増がみられ、都市部では医療提供体制が逼迫しつつある状況になるなど感染が拡大しており、本県においても新規感染者が連続して確認される状況となっていることから、今後、県庁内で新型コロナウイルス感染症の感染者（陽性者）、濃厚接触者又はPCR検査受診者等（抗原検査受診者を含む。）が発生した場合の対応については、下記のとおり対応することとしますので、所属の職員に周知していただきますようお願いいたします。

記

1 職員から所属長への報告

職員は、新型コロナウイルス感染症の感染者（陽性者）、濃厚接触者又はPCR検査受診者等（以下「陽性者等」という。）に該当した場合は、速やかに所属長へ電話、メール等により報告すること。

また、所属長は、所属の職員に対して、陽性者等になったことをもって、不利益な取扱いや差別を受けることはないことを改めて説明すること。

2 所属長の対応（報告）

報告を受けた所属長は、速やかに人事・行革課長、健康福祉総務課長及び職員課健康管理室長にその旨を報告すること。

3 県庁内で新型コロナウイルス感染症の感染者（陽性者）が発生した場合の感染防止措置**(1) 感染者（陽性者）の発生確認後の対応**

- ① 執務室等の窓を全開にするなどして、換気を行うこと。
- ② 周囲の職員は、直ちにマスクを着用すること。
- ③ 報告（上記1及び2の対応）
- ④ （保健所の指示のもと）感染者が所属している執務室、トイレ等をアルコール手指消毒剤又は薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で消毒すること。
 - ・ 感染者が使用しているパソコンや机・椅子、共用物品・機器等（電話、共用パソコン、プリンター、コピー機等）の消毒は、アルコール手指消毒剤を使用して消毒すること。

※ 消毒作業には、職員課健康管理室等の職員が立ち会う。

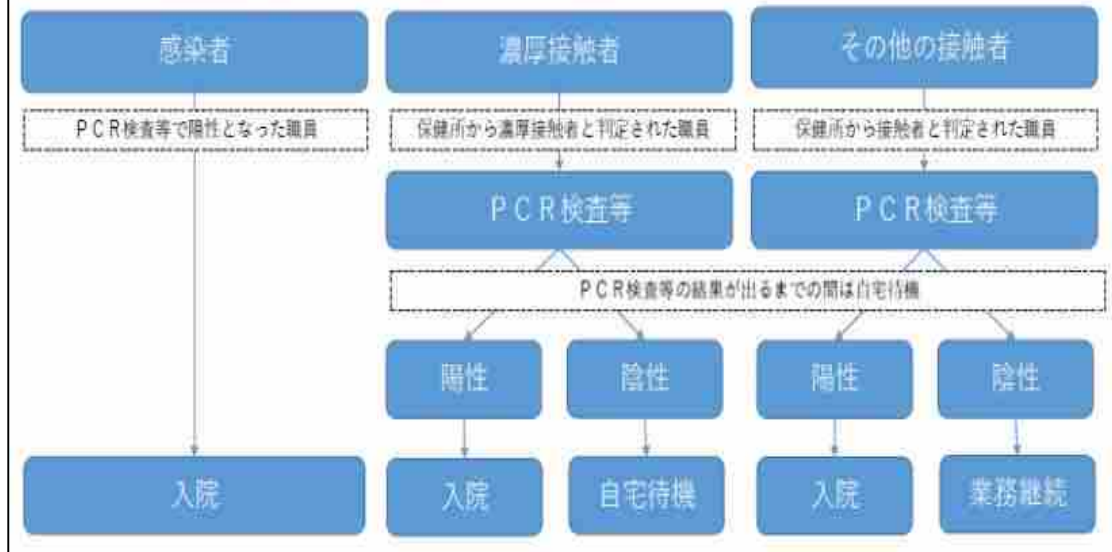
- ・ トイレ内の感染者が接触したと思われる箇所、執務室の床（絨毯部分を除く。）等については、薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で拭いた後、水拭きすること。家庭用塩素系漂白剤は、主成分が次亜塩素酸ナトリウムであることを確認の上、0.05%の濃度に薄めて使用すること。（詳細は、メーカーのホームページ等で確認すること）

- 濃度 0.05%：新型コロナウイルス対策として消毒する場合
1ℓのペットボトル1本の水に、原液 10mℓ（キャップ2杯）を入れる。

- 濃度 0.1%：おう吐物、ふん便などの汚れがある場合
1ℓのペットボトル1本の水に、原液 20mℓ（キャップ4杯）を入れる。

- (2) 保健所の感染経路の調査に協力すること。
- (3) PCR検査等で陽性となった職員は、感染者として療養（入院又は宿泊療養施設で療養）する。（勤務は特別休暇）
- (4) 保健所の積極的疫学調査により濃厚接触者となった職員は、PCR検査等を受診することとなる。
 - ・ PCR検査等の結果が判明するまでの間は自宅待機となる。（勤務は特別休暇）
 - ・ 濃厚接触者となった職員は、PCR検査等で陰性となった場合でも、感染者との最終接触日から14日間は自宅待機（健康観察）となる。（勤務は特別休暇）健康観察で問題がなければ、所属長へその旨を報告し職場復帰する。
 - ・ 自宅待機（健康観察）の間は、以下のことに注意すること。
 - 不要不急の外出は控え、公共交通機関の利用は避けること。
 - 外出時や同居者と接触する場合は、マスクを着用し、手洗いなど手指衛生に気を付けること。
 - マスクを触った後は、必ず手洗いをするなど手指衛生に気を付けること。
 - 健康状態を毎日確認すること。体温測定を定期的に1日2回行い、発熱の有無を確認すること。
 - 発熱又は呼吸器症状等が出れば、医療機関を受診する前に、指示を受けた保健所へ連絡し、指示を受けること。PCR検査等をするようになった場合は、所属長へ報告すること。
 - ※ 所属長は、人事・行革課長、健康福祉総務課長及び職員課健康管理室長へ報告すること。
- (5) 保健所の積極的疫学調査によりその他の接触者（濃厚接触者には該当しないが、念のためにPCR検査等を受ける者。同じ所属の職員など、感染者と比較的近距离で過ごした者。）とされた職員は、PCR検査等を受診することとなる。
 - ・ PCR検査等の結果が判明するまでの間は自宅待機となる。（勤務は特別休暇）
 - ・ その他の接触者となった職員は、PCR検査等で陰性となった場合は、健康観察をしながら、職場又は在宅勤務で業務に従事する。（健康観察の期間は、感染者との最終接触日から14日間）
 - ・ 自宅待機（健康観察）の間の注意事項は（4）と同様

職員が感染者、濃厚接触者等となった場合の対応



(問い合わせ先)

- ・感染者発生時の報告：人事・行革課 内線 2 5 8 2
- ・感染防止対策一般：職員課健康管理室 内線 2 6 3 0
- ・建物の消毒：財産経営課 内線 2 7 1 1

催物（イベント等）の開催制限の段階的緩和の当面の方針について

令和2年9月15日
 令和2年11月17日改正
 令和3年3月1日改正

催物開催の目安 下記の①人数上限及び②収容率要件による人数のいずれか小さい方を限度とする。（当面4月末まで）

① 人数上限の目安

適切な感染防止対策に留意し、開催制限の緩和を適用する場合の条件（「催物（イベント等）の開催にあたっての留意事項について」[別添 11](#)）が担保されている場合

5,000人又は収容定員の50%のいずれか大きい方

（つまり収容定員が1万人以下の会場は5,000人、1万人超の会場は収容定員の50%が上限となる）

開催制限の緩和を適用する場合の条件が担保されていない場合は、中止も含めて慎重に検討すること

② 収容率の目安

		参加者が大声での歓声、声援等を発し、または歌唱すること等がない催物（※1）	参加者が大声での歓声、声援等を発し、又は歌唱すること等が想定されるもの催物
参加者の位置が固定され、入退場や区域内の適切な行動確保（※2）ができる催物		収容定員までの参加人数	原則として収容定員の50%までの参加人数 異なるグループ間又は個人間では座席を一つ空けることとしつつ、同一グループ内（5名以内）では座席等の間隔を設ける必要はない（参加人数は収容定員の50%を超えることもありうる）。
参加者が自由に移動できるものの、入退場や区域内の適切な行動確保ができる催物	収容定員が設定されている場合	収容定員までの参加人数	収容定員の50%までの参加人数
	収容定員が設定されていない場合	密が発生しない程度の間隔（最低限人と人が接触しない程度の間隔）を空けること	十分な人と人との間隔（1m）を空けること

※1）これまでの当該イベントの出演者等による類似のイベントの開催実績において、参加者が歓声、声援等を発し、又は歌唱する等の実態がみられていないこと（開催実績がない場合、類似の出演者によるこれまでのイベントに照らし、観客が歓声、声援等を発し、又は歌唱することが見込まれないもの）。

※2）マスクの着用を含め、個別の参加者に対して感染防止対策（[別添 11](#)）の徹底が行われること。また、演者と観客間の距離が適切に保たれている等、感染防止対策が業種ごとに策定された感染拡大防止ガイドラインに盛り込まれ、それに則った感染防止対策が実施されること。

催物の類型ごとの整理

イベントの性質	いずれも適切な感染防止対策を講じ、入退場や区域内の適切な行動確保ができるもの				全国的又は広域的な人の移動が見込まれるものや参加者の把握が困難なもの
座席等	参加者の位置が固定されているもの		参加者が自由に移動できるもの		
参加者の大声での歓声・声援の想定	参加者の大声での歓声・声援等がないことを前提としうるもの	参加者の大声での歓声・声援等が想定されるもの	参加者の大声での歓声・声援等がないことを前提としうるもの	参加者の大声での歓声・声援等が想定されるもの	
イベントの例 (詳細は次頁を参考にしたい)	<ul style="list-style-type: none"> クラシック音楽コンサート、演劇、舞踏、伝統芸能、芸能・演芸、講演・式典等 飲食を伴うが、発声がないもの(※1) 	<ul style="list-style-type: none"> ロック・ポップコンサート等 スポーツイベント、公営競技、公演、ライブハウス、ナイトクラブでのイベント等 	展示会等	地域の祭り・行事等	花火大会、野外フェスティバル等
収容定員1万人以下	5,000人以内	5,000人以内かつ収容定員の50%以内(※2)	5,000人以内	5,000人以内かつ収容定員の50%以内	引き続き、中止を含めて慎重に検討すること(開催する場合には、入退場や区域内において、十分な人と人との間隔(1m)を設けるなど適切な行動を確保することとし、当該間隔の維持が困難な場合は、開催について慎重に検討すること)(※3)
収容定員1万人超	収容定員の50%以内	収容定員の50%以内	収容定員の50%以内	収容定員の50%以内	
収容定員が設定されていない場合	—	—	密が発生しない程度の間隔(最低限人と人が接触しない程度の間隔)を空けること	十分な人と人との間隔(1m)を空けること	
その他 (誘客施設等への適用)	映画館等	遊園地(絶叫系アトラクション)等	美術館、博物館、動植物園、水族館、遊園地等	—	

※1) 飲食を伴うが、発声がない場合における感染防止策

具体的な条件（感染防止策）	
食事時以外のマスク着用厳守	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 入場時に着用を確認し、必要に応じマスクの配布、販売を実施すること ▪ イベント前に食事時以外のマスク着用徹底を動画上映・アナウンス等で周知すること ▪ イベント中の適切な監視体制を構築し、確実なマスク着用を求めると ▪ 着用状況を踏まえ、必要に応じ一層の周知を図る
発声が想定される場合の飲食禁止	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 例えば、映画の場合は、発声が想定される場面（例：上映前後・休憩中のシアター内等）での飲食禁止 ▪ その他の催物についても、上記の要件に照らし、会話の有無を判断し、会話があり得る場面では飲食禁止を徹底
十分な換気	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 二酸化炭素濃度 1000ppm 以下かつ二酸化炭素濃度測定機器等で当該基準を遵守していることが確認できること、または機械換気設備による換気量が 30 m³/時/人以上に設定されており、かつ、当該換気量が実際に確保されていること（野外的場合は確認を要しない）
連絡先の把握	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 可能な限り事前予約制、あるいは入場時に連絡先の把握 ▪ 接触確認アプリ（COCOA）やかがわコロナお知らせシステム導入に向けた具体的措置の徹底 ※アプリのQRコードを入口に掲示すること等
食事時間の短縮	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 長時間の飲食が想定される場合は、マスクを外す時間をなるべく短くするため、食事時間短縮のための措置を講ずるよう努めること

※2) 異なるグループ間又は個人間では座席を一つ空けることとしつつ、同一グループ内（5名以内）では座席等の間隔を設ける必要はない（参加人数は収容定員の50%を超えることもありうる）。

※3) 「十分な人と人との間隔（1m）」が設けられ、かつ、「当該間隔の維持」が可能となる場合の感染防止策

具体的な条件（感染防止策）	
身体的距離の確保	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 移動時の適切な対人距離の確保（誘導人員の配置等） ▪ 区画あたりの人数制限、ビニールシート等を用いた適切な対人距離の確保
密集の回避	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 定点カメラ・デジタル技術等による混雑状況のモニタリング・発信 ▪ 誘導人員の配置 ▪ 時差・分散措置を講じた入退場
飲食制限	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食の制限 ▪ 休憩時間中及びイベント前後の食事等による感染防止の徹底 ▪ 過度な飲酒の自粛
大声を出さないことの担保	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 大声を出す者がいた場合、個別に注意等ができるもの
催物前後の行動管理	<ul style="list-style-type: none"> ▪ イベント前後の感染防止の注意喚起 * 可能な限り、予約システム、デジタル技術等の活用により分散利用を促進
連絡先の把握	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 可能な限り事前予約制、あるいは入場時に連絡先の把握 ▪ 接触確認アプリ（COCOA）やかがわコロナお知らせシステム導入に向けた具体的措置の徹底 ※アプリのQRコードを入口に掲示すること等

(参考) 各種イベントにおける大声での歓声・声援等がないことを前提としうる／想定されるものの例

大声での歓声・声援等がないことを前提としうるものの例	大声での歓声・声援等が想定されるものの例
音楽	音楽
クラシック音楽（交響曲、管弦楽曲、協奏曲、室内楽曲、器楽曲、声楽曲等）、歌劇、楽劇、合唱、ジャズ、吹奏楽、民族音楽、歌謡曲等のコンサート	ロックコンサート、ポップコンサート 等
演劇等	スポーツイベント
現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカル、読み聞かせ、手話パフォーマンス 等	サッカー、野球、バスケットボール 等
舞踊	公営競技
バレエ、現代舞踊、民族舞踊 等	競馬、競輪、競艇
伝統芸能	公演
雅楽、能楽、文楽・人形浄瑠璃、歌舞伎、組踊、邦舞 等	キャラクターショー、親子会公演 等
芸能・演芸	ライブハウス・ナイトクラブ
講談、落語、浪曲、漫談、漫才、奇術 等	ライブハウス・ナイトクラブにおける各種イベント
公演・式典	※遊園地（いわゆる絶叫系のアトラクション）についても同様の考え方を適用
各種講演会、説明会、ワークショップ、各種教室、行政主催イベント、タウンミーティング、入学式・卒業式、成人式、入社式 等	
展示会	
各種展示会、商談会、各種ショー	
※映画館、美術館、博物館、動植物園、水族館、遊園地等についても同様の考え方を適用	

(注)・上記は例示であり、実際のイベントが上のいずれに該当するかについては、大声での歓声・声援等が想定されるか否かを個別具体的に判断する必要がある。

- ・食事を伴うイベントについては、「大声での歓声、声援等がないことを前提としうるもの」には該当しないものとして取り扱うこととするが、飲食を伴うがイベント中の発声がないことを前提としうる催物について、**別添10**の※1)が全て担保される場合に限り、イベント中の飲食を伴っても「大声での歓声、声援等がないことを前提としうるもの」として取り扱うことができることとする。

国不入企第31号
令和3年1月7日

各都道府県入札契約担当部局長 殿
各指定都市入札契約担当部局長 殿

国土交通省不動産・建設経済局建設業課長
(公 印 省 略)

新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言を踏まえた
工事及び業務の対応について

施工中の工事及び業務における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置等につきましては、「新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の解除後における工事及び業務の対応について」(令和2年5月25日付け事務連絡)等により、適切な対応をお願いしてきたところです。

このたび、令和3年1月7日に、1都3県(埼玉県、千葉県、神奈川県)を対象として、内閣総理大臣より新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が行われたところです。新型コロナウイルス感染症への対策について、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」(令和2年3月28日(令和3年1月7日変更)) (以下「基本的対処方針」という。)においては、「三つの密」を徹底的に避け、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」等の基本的な感染対策を行うことをより一層推進することなどが重要であるとされており、新型コロナウイルス感染症の対処に関する全般的な方針として、感染拡大を予防する「新しい生活様式」の定着や「感染リスクが高まる「5つの場面」」を回避すること等を促すとともに、事業者及び関係団体に対して、業種別ガイドライン等の実践を促していくこととされています。また、基本的対処方針においては、引き続き、社会の安定の維持の観点から、緊急事態措置の期間中にも、河川や道路などの公物管理や公共工事など、安全安心に必要な社会基盤に係る事業者については最低限の事業継続が要請されているところです。これらのことを踏まえ、施工中の工事等における感染拡大防止措置等につきましては、引き続き、アルコール消毒液の設置や不特定の者が触れる箇所の定期的な消毒、現場でのマスク着用、手洗い、換気、「居場所の切り替わり」への注意など、感染予防の対応を行うとともに、施工に伴う三つの密の発生の回避や影響緩和の対策が講じられるよう、改めて、受注者に対して「建設業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン(令和2年5月14日(令和2年12月24日改訂版))」

及び内閣官房の新型コロナウイルス感染症対策ホームページにおいて公表されている業種ごとの感染拡大予防ガイドライン等の周知徹底を図るなど、適切なお対応を宜しく申し上げます。

また、「三つの密」対策等の更なる徹底や、感染リスクが高い場面を回避する対策の実効性を高めるための環境づくり等について、別添1のとおり建設業者団体宛に送付しておりますので、ご参考にお知らせします。

なお、これまでも、新型コロナウイルスの罹患等により現場の施工を継続することが困難となった場合の他、受注者から工期延長等の申し出があった場合で必要があると認められるときには、工期の見直し及びこれに伴い必要となる請負代金額の変更等、適切な措置を行うようお願いしてきたところですが、これらの措置については、引き続き、同様の取扱いをお願いいたします。また、これらの措置の実施に伴い、工期又は履行期間が年度を超える可能性がある場合には、必要となる予算の繰越手続についても、遺漏なきよう宜しくお願いします。

併せて、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言を踏まえた、国土交通省直轄事業における対応について、別添2のとおり定めておりますので、ご参考にお知らせします。

各都道府県におかれては、貴都道府県内の関係市町村(指定都市を除く。)に対しても、周知を宜しく申し上げます。

現場見学者対応に関する新型コロナウイルス感染症対策

2020.5.19

廃棄物対策豊島住民会議

- ・当面の間、三密を避けるために、見学者数に定員を設ける。
ワゴン車利用の場合、4名以下。マイクロバス利用の場合、12名以下とする。
特定警戒区域からの見学者は原則として受け入れない。
- ・見学者には事前に全員の名簿（住所、氏名、連絡先）を提出することを義務付ける。
見学後、2週間以内に感染が確認された場合には、速やかに連絡していただくように依頼する。
- ・見学者には、当日、体温を検温し、発熱のある場合は、辞退していただく。
- ・見学者、案内者はワゴン、マイクロバス乗車時には、手指の消毒を行い、乗車する。
- ・ワゴン、マイクロバス使用後は、必ず、座席シート、ドアノブ等の消毒を行う。
- ・見学者乗車時には、ワゴン、マイクロバスの窓を開け、換気を心がける。
- ・心の資料館見学時は、入館時に手指の消毒を行い、入館する。資料館の窓、扉を開け、換気を怠らない。
- ・心の資料館内で、見学者が展示物に触れないように指示する。触れた場合は、見学後、消毒する。見学後は、扉のノブ等は消毒する。
- ・見学中に、発熱等の症状が出た場合には、診療所の医師または小豆島保健所（小豆総合事務所）に連絡し、指示を受ける。

平成 29 年 10 月 9 日
令和 3 年 3 月 25 日改訂

「豊島廃棄物等処理施設撤去等事業における一般的な工事の実施にあたっての手続き

ここでは豊島廃棄物等処理施設撤去等事業のうち、県が実施する一般土木工事に関する手続き等について記載する。その実施にあたっては、「今後の豊島廃棄物等処理関連施設の撤去等に関する基本方針」や第 9 回豊島事業関連施設の撤去等検討会（R3.3.25 開催）で策定された基本計画、関連ガイドライン、マニュアル等に準拠することを原則とするが、ここではそのうち特に留意すべき事項について記載する。

1. 基本的事項

「今後の豊島廃棄物等処理関連施設の撤去等に関する基本方針」を必ず守って工事を実施しなければならない。

また、県は、廃棄物対策課において発注方法も含め、必要となる作業・工程・スケジュール等について検討を行い、発注ごとの実施計画等を立案し、原則として「豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会」あるいは「豊島事業関連施設の撤去等検討会」で審議・承認を得たうえで撤去等を実施する。

さらに、今後の撤去関連工事の際に参考とするため、実施後の評価についても随時行う。

なお、撤去等を実施する際には、関係法令で定められた資格者を配置するとともに、原則として総括監督員、主任監督員及び監督員を置き、作業全般について監督する。

2. 実施計画書の作成

- (1) 受託者は「工事の実施計画書」を作成して県に提出し、県の承認を得るものとする。
- (2) 工事の実施にあたっては、作業者の健康・安全と周辺環境の保全に配慮した適切な手法等を適用するものとする。

[解 説]

(1) 工事の実施計画書の作成

受託者は、「今後の豊島廃棄物等処理関連施設の撤去等に関する基本方針」（別紙 1）に記載の内容及び理念並びに県の指示に従った「工事の実施計画書」を作成し、県に提出して、その承認を得る。

なお、「工事の実施計画書」については、香川県土木部の土木工事共通仕様書に定める「施工計画書」で代えることができる。

(2) 作業者の健康・安全と周辺環境の保全への配慮

受託者は、工事の実施にあたって作業者の健康・安全と周辺環境の保全に配慮した適切な手法等を適用するものとする。

3. 作業従事者の健康と安全の確保

3.1 安全管理体制の確立等

安全管理体制を確立するため、原則として次の措置を講じるものとする。

- (1) 統括安全衛生管理体制の確立を図るとともに、複数の事業者が同時に関与する場合には、全ての受注事業者が参加する協議組織を設置し、協働作業による危険の防止に関して協議するものとする。
- (2) 作業環境について知識を有する者等の中から作業指揮者を選任し、作業を指揮させるとともに、必要となる場合には作業従事者の保護具の着用状況及び撤去対象物の湿潤化等の確認を行わせるものとする。
- (3) 撤去等の作業を実施するにあたり、作業従事者に対して、必要な場合には特別教育を行うものとする。

[解説]

(1) 統括安全管理体制の確立

労働安全衛生法第15条等に定めるところにより、撤去作業従事者の人数に応じ、統括安全衛生責任者又は元方安全衛生管理者等を選任する等、統括安全衛生管理体制の確立を図る。

また、労働安全衛生法第30条に定めるところにより、必要な場合には全ての受注事業者が参加する協議組織を設置し、協働作業による危険の防止に関して協議するとともに、受注事業者に対し安全衛生上必要な指導等を行う。

なお、作業従事者が50人未満となった場合においても、積極的に統括安全衛生管理体制を確立するものとする。

(2) 作業指揮者等の選任

労働安全衛生規則第592条の6に準じて、作業環境についての知識を有する者等の中から作業指揮者を選任し、作業を指揮させるとともに、作業従事者の保護具の着用状況及び堆積物の湿潤化等の確認を行わせる。

その他、関係法令で定められた作業主任者を選任する。

(3) 特別教育の実施

労働安全衛生規則第592条の7及び安全衛生特別教育規程（昭和47年労働省告示第92号）に準じて、必要な場合には特別教育を行う。

3.2 作業環境の保全

作業者の健康と安全の維持のため、作業指揮者は次の措置を講じるものとする。

- (1) 必要な場合には、作業実施前に作業対象箇所の養生等を実施する。また、粉じんの飛散等が予想される作業にあたっては、発生源を湿潤な状態に保って作業を実施する。
- (2) 上記の対応を行っても粉じんの飛散等への配慮が必要な場合には、作業者は適切な保護具を着用するものとし、作業指揮者は保護具の着用状況等を管理する。
- (3) 必要と認められ場合には、作業中における作業環境測定を実施する。

[解説]

(1) 作業実施前及び作業中における養生や湿潤化等の対応

必要と認められる場合には、作業指揮者は作業実施前の養生や作業実施中での湿潤化を実施し、粉じんの飛散等を抑制する。

(2) 保護具の着用と管理

作業指揮者は、必要と認められる場合には、適切な保護具を作業者に着用させるとともに保護具の着用状況の管理や作業後における保護具の取外し及び保守点検等について確認を実施する。

(3) 作業環境計測の実施

作業指揮者は、必要と認められる場合には作業中における作業環境測定を実施する。粉じんに関する作業環境評価基準 $0.9\text{mg}/\text{m}^3$ をもとに、適宜、作業の改善を行う。

4. 環境保全対策の実施

- (1) 必要と認められる場合には、排気や排水、騒音、振動、悪臭等に対して適切対応を実施する。
- (2) 撤去等の作業に伴い生じた廃棄物等は、適切に分別するとともに、その払い出しにあたっては分別状況が適切なことを確認し、工事の「実施計画書」に記載した事業者を引き渡す。

[解説]

(1) 適切な環境保全対策の実施

工事に伴う排気、排水、騒音、振動、悪臭及び廃棄物等による影響を防止するため、必要と認められる場合には環境保全対策を実施するものとする。

また、重機等には排ガス規制対応型で低騒音型・低振動型のものを使用することを原則とする。

(2) 廃棄物等の適切な分別と払い出し

廃棄物等の処理に関しては、後述する「分別の判断基準」に従って分別するとともに工事の「実施計画書」に記載の適切な事業者払い出す。

5. 解体・分別の方法

- (1) 撤去する設備等の解体・分別は、下記に示す「分別の判断基準」に従い、それぞれの対象ごとに秤量し、記録を残す。
- (2) 分別にあたって対象物に土等が付着している場合には、それを清浄して対応する。

[解説]

(1) 適切な分別と秤量

設備等の解体・分別にあたっては、下記表1の「分別の判断基準」に基づくものとする。

払い出し前に分別の種別ごとに秤量し、記録を残す。

表1 設備等の分別の判断基準

分別の区分
① コンクリート類(陶磁器類を含む)
② コンクリート及び鉄からなる建設資材
③ 金属類
④ 木材
⑤ 可燃物類
⑥ その他

6. 環境計測の実施

必要と認められる場合には、作業の実施前後及び実施期間中に環境計測を実施する。これらの具体的な内容については、「Ⅲ.4-1 第Ⅱ期工事等における施設の撤去等に係る環境計測マニュアル」(別紙2)に準拠するものとするが、撤去等を行う施設等の規模、設置場所、作業の内容等に応じて、計測項目等を簡略化して実施する。

また、一方で、海上の土木構造物である専用栈橋など特異な施設等については、濁度等を計測項目に追加して実施する。

7. 情報の収集、整理及び公開

撤去等の作業状況について、文書や写真等による記録を残すとともに、必要と認められる設備等については、適切な時期に委員又は技術アドバイザーによる確認を得るものとする。

また、インターネット等を通じた的確・迅速な情報の提供や、関係者との意見聴取・立会い等を通じたコミュニケーションの実施により、より一層の理解と信頼を得る。これらの具体的な内容については、「Ⅲ.5 第Ⅱ期工事等における情報の収集、整理及び公開マニュアル」（別紙3）に準拠する。

さらに、工事に伴う環境負荷の算定は、基本計画に定める環境負荷の計測項目（別紙4）に従ってデータを収集する。

今後の豊島廃棄物等処理関連施設の撤去等に関する基本方針

豊島廃棄物等処理事業は、先端技術を活用し「共創」の理念で実施してきた。これまで豊島の中間保管・梱包施設や直島の中間処理施設等の撤去等に対しても、この理念に則った「豊島中間保管・梱包施設等の撤去等に関する基本方針」(平成28年10月23日制定・平成29年2月13日及び4月16日改訂)を定め、対応している。今後の豊島廃棄物等処理関連施設の撤去等に当たっても、この理念を継承し、これまでの本事業における姿勢を踏襲して、以下に従い実施するものとする。

1. 地域住民の安全・安心・健康への配慮と周辺環境の保全

事業遂行に当たっては地域住民の安全・安心・健康へ配慮し、コロナウイルスの感染予防や島内運搬時の交通安全等に万全を期す。

また、撤去等の作業によって生じる排気、排水、騒音、振動、悪臭及び廃棄物等による影響に加え、海水の濁り等を防止・抑制するための措置を講ずるとともに、周辺環境の調査を実施することなどにより、その保全を図る。

2. 撤去等の作業従事者の安全及び健康の確保

撤去等における作業環境の整備や撤去等に伴う粉じん等の発生抑制・飛散防止を図るとともに、その状況の測定・確認や作業環境測定等に基づき、適切な保護具や作業方法等を選定し、撤去等の作業従事者の安全及び健康の確保に万全を期す。

3. 撤去等の工程全体におけるBAT (Best Available Techniques) の適用

撤去等の工程全体にBATを適用し、実施可能な最善の技術・手法・体制等を採用する。

4. 施設の解体に先立つ清掃・洗浄の徹底

解体に先立って対象物の十分な清掃・洗浄を実施し、解体撤去における周辺環境の保全や作業従事者の安全等並びに施設撤去廃棄物等(施設の解体撤去に伴い発生した廃棄物や有価物をいう)の有効利用に資する。

5. 施設撤去廃棄物等の有効利用の実現

施設撤去廃棄物等については、資源化を原則とし、現場で分別したうえで有効利用を図る。

6. 関係者の意向の聴取と的確・迅速な情報共有の実現

的確・迅速な情報の提供を行い、関係者とのコミュニケーションを通じてより一層の理解と信頼を得る。

令和3年3月25日

Ⅲ. 4-1 第Ⅱ期工事等における施設の撤去等に係る環境計測マニュアル

第1 マニュアルの位置付け

1. 施設の撤去等に係る環境計測マニュアルは、施設の撤去等の実施前後及び実施期間中のそれぞれの段階において実施する作業場あるいは施設の境界での環境調査について、計測項目、計測頻度等を定めたものである。
2. 本マニュアルに定める計測項目及び評価基準等は、関連法令の改正等にあわせ、必要に応じ適宜見直すこととする。

〔解説〕

本マニュアルは、施設の撤去等の実施前後及び実施期間中のそれぞれの段階において、発生源としての環境面を把握することを目的としており、環境調査を実施する際の計測項目、計測頻度等を定めたものである。

第2 マニュアルの概要

1. 計測地点、計測項目、計測頻度、調査機関は表1に示すとおりとする。
2. 調査方法は表2～表5に示すとおりとする。
3. 評価の基準として、排気、排水、騒音、振動及び悪臭について、それぞれ表6～表9に示すとおり評価基準値を設定してある。
4. 必要と認められる場合には、施設の撤去等に係る周辺環境モニタリングを実施することとする。
5. 本マニュアルに定める計測項目及び評価基準等は、関連法令の改正等にあわせ、必要に応じ適宜見直すこととする。

〔解説〕

施設の撤去等に係る環境計測について本マニュアルに従い実施し、その他、必要と認められる場合が生じた際には、委員又は技術アドバイザーの指導・助言を踏まえ、施設の撤去等に係る周辺環境モニタリングを実施する。

第3 計測地点等

1. 計測地点、計測項目、計測頻度、調査機関は表1に示すとおりとする。

〔解説〕

計測地点、計測項目、計測頻度、調査機関を表1に示す。

撤去等を行う施設の規模、設置場所、作業の内容等に応じて、計測項目等を簡略化して実施することがある。一方で、海上の土木構造物である専用栈橋については、濁度等を計測項目に追加して実施する。

表 1 施設の撤去等に係る環境計測

区分	計測地点	計測項目	計測頻度			調査機関
			実施前	実施期間中	実施後	
排水	排水口	ダイオキシン類、カドミウム及びその化合物、シアン化合物、有機燐化合物(パラチオン、メチルパラチオン、メチルシメトン及び EPN に限る。)、鉛及びその化合物、六価クロム化合物、砒素及びその化合物、水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物、アルキル水銀化合物、ポリ塩化ビフェニル、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、セレン及びその化合物、ほう素及びその化合物、ふっ素及びその化合物、アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物、1,4-ジオキサン	—	2回以上	—	県
騒音	施設の境界	L50、L5、L95、L _{eq}	1回	1回以上	1回	
振動	施設の境界	L50、L10、L90	1回	1回以上	1回	
悪臭	施設の境界	アンモニア、メチルメルカプタン、硫化水素、硫化メチル、二硫化メチル、トリメチルアミン、アセトアルデヒド、プロピオンアルデヒド、ノルマルブチルアルデヒド、イソブチルアルデヒド、ノルマルパレルアルデヒド、イソパレルアルデヒド、イソブタノール、酢酸エチル、メチルイソブチルケトン、トルエン、スチレン、キシレン、プロピオン酸、ノルマル酪酸、ノルマル吉草酸、イソ吉草酸	必要に応じて実施			

第 4 調査方法

1. 水質、騒音、振動、悪臭の調査方法は表2～表5に示すとおりとする。

[解 説]

調査方法を表2～表5に示す。

表 2 排水調査方法

計測項目	調査方法
ダイオキシン類	JIS K0312「工業用水、工場排水のダイオキシン類の測定方法」
その他(健康項目)	環境庁告示第 59 号(昭和 46 年)の別表 1

表 3 騒音調査方法

計測項目	調査方法
騒音レベルの中央値(L ₅₀)、90%レンジ上・下端値(L ₅ 、L ₉₅)及び等価騒音レベル(Leq)	JIS Z8731「騒音レベル測定方法」に基づき、基本的に平日の 12 時～翌日の 12 時まで、毎正時から約 10 分間の測定を行う。

表 4 振動調査方法

計測項目	調査方法
振動レベルの中央値(L ₅₀)、80%レンジ上・下端値(L ₁₀ 、L ₉₀)	JIS Z8735「振動レベル測定方法」に基づき、基本的に平日の 12 時～翌日の 12 時まで、毎正時から約 10 分間の測定を行う。

表 5 悪臭調査方法

計測項目	調査方法
アンモニア、メチルメルカプタン、硫化水素、硫化メチル、二硫化メチル、トリメチルアミン、アセトアルデヒド、プロピオンアルデヒド、ノルマルブチルアルデヒド、イソブチルアルデヒド、ノルマルパレアルデヒド、イソパレアルデヒド、イソブタノール、酢酸エチル、メチルイソブチルケトン、トルエン、スチレン、キシレン、プロピオン酸、ノルマル酪酸、ノルマル吉草酸、イソ吉草酸	特定悪臭物質の測定の方法(昭和 47 年環境庁告示第 9 号)

第5 評価方法

1. 結果については、表6～表9に示す評価基準値の達成状況や過去データとの比較について確認するものとする。
2. 評価基準値を超過した場合、原因究明や対策等の検討を実施するものとする。

[解 説]

結果については、評価基準値、関係環境法令等の基準を満たしているかどうか確認するとともに、これまでに実施した環境計測結果等と比較する。

評価基準値を超過した場合、その原因究明や改善対策の検討を実施する。

表6 排水の評価基準

計測項目	評価基準値	備考
ダイオキシン類	10pg-TEQ/L	ダイオキシン類対策特別措置法に基づく排出基準*
その他(健康項目)	(水質汚濁防止法に定める排水基準値)	水質汚濁防止法に基づく排水基準*

※ダイオキシン類対策特別措置法及び水質汚濁防止法の適用を受けない施設であるが、これらの関係法令で定める値に準じた。

表7 騒音の評価基準

項目	評価基準値 (dB(A))	騒音規制法の規制基準 (参考)(dB(A))*
昼間(8:00～19:00)	70	70
朝(6:00～8:00) 夕(19:00～22:00)	65	65
夜間(22:00～6:00)	60	60

※ 第4種区域(主として工業地域)の規制基準

表8 振動の評価基準

項目	評価基準値 (dB)	振動規制法の規制基準 (参考)(dB)*
昼間(8:00～19:00)	65	65
夜間(19:00～8:00)	60	60

※ 第2種区域(主として商業地域(住、商、工、混在地域を含む)、工業地域)の規制基準

表 9 悪臭の評価基準

項 目	評価基準値 (ppm)	悪臭防止法の規制基準 (参考) (ppm) ※
アンモニア	2	2
メチルメルカプタン	0.004	0.004
硫化水素	0.06	0.06
硫化メチル	0.05	0.05
二硫化メチル	0.03	0.03
トリメチルアミン	0.02	0.02
アセトアルデヒド	0.1	0.1
プロピオンアルデヒド	0.1	0.1
ノルマルブチルアルデヒド	0.03	0.03
イソブチルアルデヒド	0.07	0.07
ノルマルバレルアルデヒド	0.02	0.02
イソバレルアルデヒド	0.006	0.006
イソブタノール	4	4
酢酸エチル	7	7
メチルイソブチルケトン	3	3
トルエン	30	30
スチレン	0.8	0.8
キシレン	2	2
プロピオン酸	0.07	0.07
ノルマル酪酸	0.002	0.002
ノルマル吉草酸	0.002	0.002
イソ吉草酸	0.004	0.004

※ B 区域（主として商業地域（住、商、工、混在地域を含む））の規制基準

Ⅲ.5 第Ⅱ期工事等における情報の収集、整理及び公開マニュアル

第1 マニュアルの趣旨

1. 情報の収集、整理及び公開マニュアルは、豊島廃棄物等処理関連施設の撤去等において、的確・迅速な情報の収集、整理及び公開を実現するにあたり必要な事項を定めたものである
2. 本マニュアルに定める内容は、必要に応じて適宜見直すものとする。

[解 説]

本マニュアルは、豊島廃棄物等処理関連施設の撤去等の実施工程全般における情報の収集、整理及び公開の実施に関して適用する。

また、情報の収集、整理及び公開の内容は、必要に応じて適宜見直すこととする。

第2 マニュアルの概要

1. 撤去等の作業状況の記録・保管・確認方法について示す。
2. 撤去等の作業状況について、委員又は技術アドバイザーによる確認の実施方法を示す。
3. 豊島廃棄物等処理関連施設の撤去等に関し、公開する情報を示す。
4. 情報公開の手法等を示す。

[解 説]

豊島廃棄物等処理関連施設の撤去等の実施においては、これまでと同様、関係者の理解と協力が不可欠であり、そのためには実施内容の透明性の確保を図ることが必要であることから、的確・迅速な情報の提供を行うための具体的な手法等について示す。

第3 撤去等の作業状況の記録・保管・確認方法

1. 撤去等の作業状況について、文書や写真等による記録を残すこととし、その保存期間は5年とする。
2. 撤去等の作業着手前の現況写真、作業中の工程写真及び進捗写真、作業完了後の竣工写真を撮影することとする。
3. 払出し・処理委託先の処理状況等についても必要に応じて確認し、保管・活用することとする。

[解説]

撤去等の作業状況については、文書に加え写真及び動画等により記録し、保管するとともに、撤去等の実施完了報告の作成時に活用する。なお、保存期間は5年とする。

撤去等の作業着手前の現況写真、作業中の工程写真及び進捗写真、作業完了後の竣工写真を撮影する。

なお、上記の撮影にあたっては、「営繕工事写真撮影要領(平成31年改訂)」(国土交通省大臣官房官庁営繕部)を参考とする。

(1) 撤去等の作業着手前の現況写真及び竣工写真

撤去等の作業着手前の現況写真及び竣工写真は、撤去等の作業着手前及び竣工後の現場全景、代表部分及び現場周辺の現況写真を撮影すること。また、現況写真は、主要機械設備についても撮影を行うこと。

(2) 工程写真及び進捗状況写真

工程写真及び進捗状況写真は、各工程における進捗状況、出来高等を撮影し、特に作業完了後に確認が困難となる箇所については、作業が適切であることが証明できるものとする。

払出し・処理委託先の処理状況についても必要に応じて確認するとともに、その処理データを手し、上記と同様に保管・活用する。

第4 情報公開の範囲

1. 豊島廃棄物等処理関連施設の撤去等に関し、原則として下記に示す情報を公開することとする。

(1) 撤去等の工程に関する情報

(2) 施設の撤去等に係る環境計測に関する情報

(3) 検討会等に関する情報

(4) その他必要と思われる事態が生じた場合における必要情報

[解説]

公開する情報の分類及び具体例は表1のとおりである。

表1 公開する情報の分類及び具体例

公開する情報の分類	具体例
(1) 撤去等の工程に関する情報	実施計画、工程計画、作業実施・休止状況
(2) 施設の撤去等に係る環境計測に関する情報	排気、排水、騒音、振動、悪臭についての環境計測結果
(3) 検討会等に関する情報	検討会等資料及び審議状況
(4) その他必要と思われる事態が生じた場合における情報	事故、緊急時等の情報
(5) 検討会等が必要と認めた情報	—

第5 情報公開の手法等

1. 各種情報の公開は、インターネットのホームページを用いることを基本とし、関係者との定期的な会議等も活用することとする。
2. 関係者との意見聴取・立会い等を通じたコミュニケーションの実施により、より一層の理解と信頼を得ることとする。

〔解説〕

的確・迅速な情報の提供を実施するため、各種情報の公開はインターネット上の「豊島問題ホームページ」により行うことを基本とし、関係者に対しては定期的な事務連絡会等の場も活用する。

関係者との意見聴取や立会い等を通じたコミュニケーションの実施により、一層の理解と信頼を得る。また、関係者から要望や苦情等の申し出があった場合には、誠意を持って対応、解決に努める。

表3 環境負荷の計測項目の概要（今後の豊島廃棄物等処理関連施設の撤去等に関する基本計画より抜粋）

種別	項目		単位	備考		
投入	電力		kWh			
	燃料	液体燃料	L	種別ごとに分けて記載		
		気体燃料	Nm ³	種別ごとに分けて記載		
	用水	洗浄水	kL			
	消費資材		kg	種別ごとに分けて記載		
	薬剤		kg	種別ごとに分けて記載		
	その他		kg	種別ごとに分けて記載		
搬出	廃棄物	施設撤去廃棄物等		t	分別基準に従い、分けて記載	
		有害物質	石綿含有産業廃棄物		kg	
			水銀使用製品産業廃棄物		kg	
			フロン類		kg	
			特別管理産業廃棄物		kg	
	その他廃棄物		kg	種別ごとに分けて記載		
	排水	洗浄水	kL			
	排気		t	重機等排ガスのCO ₂ 排出量を記載		
	有価物		t			
	その他		kg	種別ごとに分けて記載		

環境計測及び周辺環境モニタリングの結果

1. 環境計測

(1) 豊島における環境計測（地下水調査）の結果……………令和2年8月調査

- ・ A3については、化学処理の実施により砒素が報告下限値未満となった。
- ・ B5、F1西については、これまでの調査結果と特段の差異は見られなかった。
- ・ C3北及びC3南は、化学処理の影響によりpHが低下するとともにVOC類が概ね低下した。その他の観測井4地点（C1北、C1南、DE1、F1東）については、これまでの調査結果と特段の差異は見られなかった。なお、これまで環境計測として行われていたこれらの観測井6地点（C1北、C1南、C3北、C3南、DE1、F1東）における地下水の汚染物質等の計測は、今後は環境計測から除外する。ただし、これらは地下水汚染地点であり、その浄化の観測や排水基準の到達・達成での計測に引き継がれる。

(2) 豊島における環境計測（北揚水井、高度排水処理施設）の結果

……………令和2年8月、11月調査

- ・ 北揚水井は、化学的酸素要求量（COD）が管理基準を満たさなかった。
- ・ 高度排水処理施設の処理水は、検査を行った全ての項目について管理基準を満足していた。

(3) 豊島における環境計測（沈砂池）の結果……………令和2年10月調査

- ・ 検査を行った全ての項目について、管理基準を満足していた。

2. 周辺環境モニタリング

(1) 豊島における周辺環境モニタリング（水質・底質）の結果

……………令和2年8月、10月調査

- ・ 事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異は見られなかった。

豊島における環境計測（地下水調査）の結果

浄化処理の進捗に伴う水質の推移を把握するため、地下水の環境計測を実施している。今回、令和2年8月に実施した水質調査結果をとりまとめた。

1 調査の概要

(1) 調査日

令和2年8月5日（水）、11日（火）、13日（木）、18日（火）

(2) 調査地点（調査地点図参照）

観測井 9地点

(A3、B5、C1北、C1南、C3北、C3南、DE1、F1東、F1西)

(3) 検体採取機関及び分析機関

採取機関：廃棄物対策課、環境保健研究センター

分析機関：環境保健研究センター

2 調査結果の概要（表1～8）

- ・ A3については、化学処理の実施により砒素が報告下限値未満となった。
- ・ C3北及びC3南は、化学処理の影響によりpHが低下するとともにVOC類が概ね低下した。
- ・ その他の観測井6地点において、これまでの調査結果と比較して特段の差異は見られなかった。
- ・ それぞれの観測井において、次の項目が環境基準を満足しなかった。

A3 : ほう素

B5 : ほう素、1,4-ジオキサン

C1北 : ベンゼン、ほう素、1,4-ジオキサン

C1南 : カドミウム、クロロエチレン、トリクロロエチレン、1,4-ジオキサン

C3北 : 砒素、クロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン、ベンゼン、ほう素

C3南 : カドミウム、鉛、クロロエチレン、トリクロロエチレン、ほう素、1,4-ジオキサン

DE1 : カドミウム、ほう素

F1東 : ほう素、1,4-ジオキサン

F1西 : 砒素、ほう素

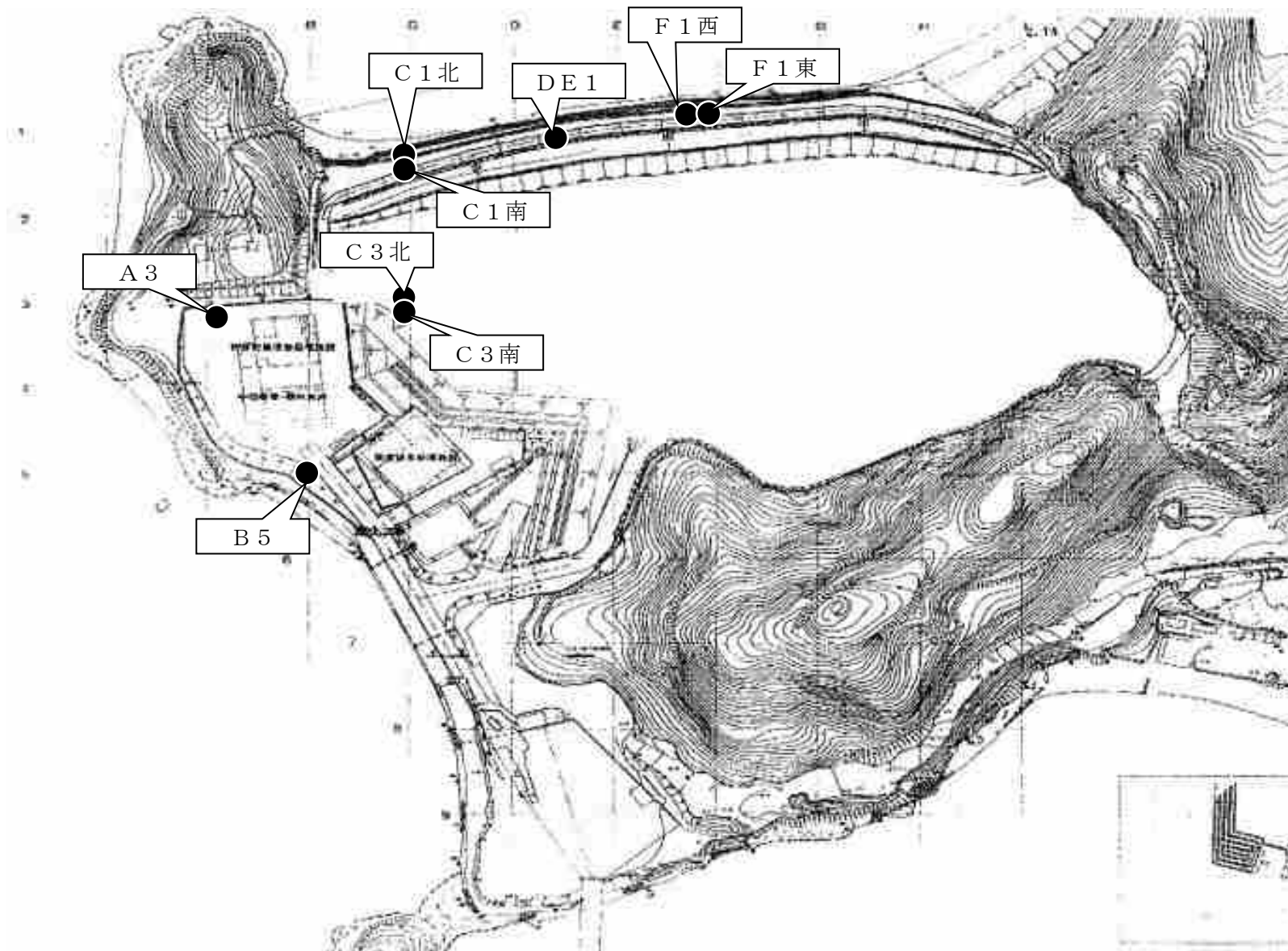


図 豊島における環境計測（地下水調査）調査地点

表1 地下水調査結果(A3地点の推移)

調査地点	A 3																							地下水の環境基準	検出下限		
調査年月日	H15.2.6	H16.2.5	H17.2.7	H18.2.28	H19.2.1	H20.2.13	H21.2.17	H22.2.16	H23.2.9	H23.6.14	H23.8.3	H23.11.22	H24.2.1	H24.5.16	H24.8.1	H24.11.19	H25.2.5	H25.5.22	H25.7.29	H25.11.13	H26.3.17	H26.5.13					
一般項目	pH	7.0	7.1	6.9	7.1	7.0	6.8	7.0	7.2	6.9	6.8	6.7	6.7	6.9	6.6	6.8	6.9	6.9	6.8	6.8	6.6	9.8	11.4	-	-		
	BOD	7.5	12	0.8	4.3	0.7	0.9	ND	1.4	1.0	ND	1.0	1.0	0.8	ND	ND	0.8	1.3	1.3	ND	ND	1.0	ND	-	0.5		
	COD	32	70	17	18	10	21	3.1	3.7	5.7	5.6	3.7	5.1	3.8	7.0	5.0	4.1	3.4	7.9	3.5	4.2	8.4	7.2	-	0.5		
	大腸菌群数	13	33	33	7.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	7.8	ND	ND	11	13	ND	350	2	7.8	ND	ND	-	-		
	油分	0.6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.7	1.1	0.6	-	0.5		
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003		
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.1	
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1	
	鉛	ND	<u>0.1</u>	<u>0.015</u>	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.008	ND	ND	0.008	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005	
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05	
	砒素	<u>0.56</u>	<u>0.73</u>	<u>0.40</u>	<u>1.1</u>	<u>0.42</u>	<u>0.59</u>	<u>0.31</u>	<u>1.6</u>	<u>1.2</u>	<u>0.26</u>	<u>0.55</u>	<u>0.50</u>	<u>0.70</u>	<u>1.0</u>	<u>0.54</u>	<u>0.27</u>	<u>0.13</u>	<u>0.090</u>	<u>0.21</u>	<u>0.56</u>	<u>0.49</u>	<u>0.26</u>	0.01	0.005		
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005	
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0006	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<u>0.0034</u>	<u>0.0063</u>	<u>0.0044</u>	<u>0.0090</u>	<u>0.0040</u>	<u>0.017</u>	<u>0.0023</u>	<u>0.0034</u>	<u>0.0035</u>	<u>0.0032</u>		ND	ND	<u>0.0022</u>	0.002	0.0002	
	1,2-ジクロロエタン	<u>0.21</u>	<u>0.018</u>	<u>0.029</u>	<u>0.018</u>	<u>0.0091</u>	<u>0.0082</u>	<u>0.0053</u>	0.0019	0.0007	<u>0.0066</u>	<u>0.010</u>	<u>0.0060</u>	0.0032	<u>0.0057</u>	<u>0.0079</u>	<u>0.0045</u>	0.0036	0.0033	0.0037	<u>0.0050</u>	0.0020	0.0031	0.004	0.0004		
	1,1-ジクロロエチレン	<u>0.054</u>	0.009	0.011	0.004	0.003	ND	ND	ND	0.005	0.007	0.011	0.004	0.002	0.003	0.002	0.004	ND	ND	0.002	0.002	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002		
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	<u>1.7</u>	<u>0.32</u>	<u>0.33</u>	<u>0.11</u>	<u>0.071</u>	<u>0.047</u>	0.033	0.022	<u>0.047</u>	<u>0.046</u>	0.032	0.030	0.037	0.021	0.024	0.022	0.019	0.010	0.022	0.015	ND	0.022	0.04	0.004		
	1,1,1-トリクロロエタン	0.21	0.023	0.025	0.011	0.007	0.0036	0.0018	0.0011	0.0072	0.011	0.023	0.0096	0.0029	0.0039	0.0083	0.0025	0.0019	0.0011	0.0055	0.0049	ND	0.0021	1	0.0005		
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	0.0007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006		
	トリクロロエチレン	<u>0.15</u>	0.010	<u>0.017</u>	<u>0.022</u>	<u>0.019</u>	<u>0.011</u>	0.006	0.007	<u>0.042</u>	<u>0.043</u>	<u>0.066</u>	<u>0.027</u>	<u>0.016</u>	<u>0.021</u>	<u>0.033</u>	0.0026	0.010	0.007	<u>0.020</u>	<u>0.015</u>	0.002	<u>0.016</u>	0.01 ^(注7)	0.001		
	テトラクロロエチレン	<u>0.022</u>	<u>0.011</u>	<u>0.034</u>	0.0027	0.0012	0.0014	ND	0.0006	0.0007	0.0057	<u>0.081</u>	<u>0.014</u>	0.0007	0.0014	0.0013	0.0014	0.0007	ND	0.0006	0.0007	ND	ND	0.01	0.0005		
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002	
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001	
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003	
	チホベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
	ベンゼン	<u>0.053</u>	<u>0.012</u>	<u>0.012</u>	0.005	0.002	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.014	ND	ND	ND	<u>0.059</u>	ND	ND	ND	0.01	0.001		
	セレン	ND	ND	0.010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10	
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.0	ND	0.8	0.8	
	硼素	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.5	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	ND	0.1	0.3	0.2	1	0.1		
	1,4-ジオキサン	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	4	3	1	3	1	1	1	5	3	1	1	1	2	4	1	1	1	1	1	ND	ND	2	-	1		
	全燐	0.5	ND	0.2	1.0	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	ND	0.2	ND	ND	0.1	0.2	ND	ND	ND	-	0.1		
	塩化物イオン	68	39	28	23	37	29	24	28	21	25	31	30	32	20	33	31	33	41	38	40	48	57	-	1		
	電気伝導率	51.3	40	32	29.5	14.6	16.1	16.2	15	16	32.7	30	28	30.8	30.8	32	30	30	32	30	31	32	87	-	0.1		
	ニッケル	ND	0.08	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05	
	モリブデン	ND	ND	0.016	ND	ND	0.008	0.026	0.022	ND	ND	0.028	0.030	0.038	0.022	ND	0.008	0.044	0.016	0.013	0.019	0.12	0.098	-	0.007		
	アンチモン	ND	0.002	0.005	0.002	0.002	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	ND	ND	0.001	ND	ND	0.001	ND	0.004	ND	-	0.001		
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	0.015	ND	ND	0.046	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006			

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100mL)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の未満の数値は、NDと表記する。

(注2)有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成21年11月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成23年10月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年11月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表 1 地下水調査結果 (A 3 地点の推移)

調査地点		A 3																							地下水の環境基準	検出下限		
調査年月日	H26. 7. 29	H26. 11. 25	H27. 2. 16	H27. 5. 19	H27. 9. 17	H27. 11. 24	H28. 2. 9	H28. 5. 24	H28. 7. 26	H28. 11. 8	H29. 1. 30	H29. 5. 23	H29. 7. 26	H29. 11. 29	H30. 2. 14	H30. 6. 26	H30. 9. 3	H30. 10. 30	H31. 2. 27	R1. 5. 21	R1. 8. 27	R1. 11. 19	R2. 2. 5	R2. 8. 5				
一般項目	pH	7.0	7.0	7.0	6.8	7.5	7.0	6.8	6.7	7.8	7.1	7.5	7.1	6.8	7.2	7.2	6.7	6.8	6.7	7.1	6.7	6.7	6.9	6.8	7.3	-	-	
	BOD	ND	1.3	22	0.8	0.6	ND	1.4	0.6	1.8	1.8	0.5	1.4	2.7	2.9	3.0	2.3	1.2	3.6	2.3	1.7	1.7	1.4	ND	1.1	-	0.5	
	COD	5.2	6.3	49	11	6.5	5.6	5.7	5.0	6.7	5.1	9.0	7.5	4.3	4.6	5.2	5.0	4.6	5.1	3.5	4.2	4.7	5.8	3.9	4.1	-	0.5	
	大腸菌群数	280	11	ND	ND	23	ND	7.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	49	2	ND	6.8	33	ND	ND	1100	23	33	-	-	-	-
	油分	ND	0.8	ND	ND	ND	0.8	ND	ND	ND	0.6	0.9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003	
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	検出されないこと 0.1	
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	<u>0.014</u>	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005	
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05	0.05
	砒素	<u>0.16</u>	<u>0.22</u>	<u>0.68</u>	<u>29</u>	<u>0.64</u>	<u>0.38</u>	<u>0.45</u>	<u>1.1</u>	<u>7.6</u>	<u>0.20</u>	<u>0.47</u>	<u>3.9</u>	<u>0.38</u>	<u>1.2</u>	<u>2.2</u>	<u>0.12</u>	<u>0.28</u>	<u>0.58</u>	<u>0.093</u>	<u>0.46</u>	<u>0.90</u>	<u>2.1</u>	<u>0.60</u>	ND	0.01	0.005	
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.0005	0.0005
	メチル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	検出されないこと 0.0005	
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	検出されないこと 0.0005	
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002	
	クロロエチレン ^(注8)	0.0018	<u>0.012</u>	<u>0.018</u>	<u>0.0059</u>	<u>0.017</u>	<u>0.0061</u>	<u>0.0076</u>	<u>0.0052</u>	<u>0.0054</u>	<u>0.0056</u>	0.0014	<u>0.012</u>	<u>0.0052</u>	<u>0.0045</u>	<u>0.0030</u>	<u>0.0032</u>	<u>0.0032</u>	<u>0.0031</u>	<u>0.0052</u>	<u>0.0032</u>	<u>0.0025</u>	ND	<u>0.0026</u>	ND	0.002	0.0002	
	1,2-ジクロロエタン	0.0010	<u>0.016</u>	<u>0.0072</u>	<u>0.016</u>	<u>0.0062</u>	<u>0.0083</u>	<u>0.0097</u>	<u>0.0094</u>	<u>0.015</u>	<u>0.0070</u>	0.0035	<u>0.0083</u>	<u>0.012</u>	<u>0.0090</u>	<u>0.0064</u>	<u>0.0071</u>	<u>0.0069</u>	<u>0.0065</u>	<u>0.0058</u>	<u>0.0059</u>	<u>0.0053</u>	ND	<u>0.0046</u>	ND	0.004	0.0004	
	1,1-ジクロロエチレン	0.005	ND	0.008	0.010	0.002	0.002	0.006	0.008	0.013	0.004	0.002	0.002	0.010	0.005	0.002	ND	0.004	0.003	0.003	ND	ND	ND	0.002	ND	0.1 ^(注4)	0.002	
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	<u>0.054</u>	<u>0.12</u>	<u>0.056</u>	<u>0.082</u>	<u>0.046</u>	0.034	0.027	0.029	0.037	0.020	0.011	0.021	0.033	0.021	0.014	ND	0.020	0.017	0.014	0.016	0.011	ND	0.010	ND	0.04	0.004	
	1,1,1-トリクロロエタン	0.016	0.041	0.011	0.029	0.010	0.010	0.017	0.030	0.049	0.014	0.0087	0.011	0.026	0.017	0.0095	ND	0.015	0.013	0.012	0.010	0.0071	ND	0.0088	ND	1	0.0005	
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006	
	トリクロロエチレン	<u>0.033</u>	<u>0.098</u>	<u>0.058</u>	<u>0.091</u>	<u>0.062</u>	<u>0.049</u>	<u>0.078</u>	<u>0.10</u>	<u>0.15</u>	<u>0.065</u>	<u>0.039</u>	<u>0.059</u>	<u>0.063</u>	<u>0.066</u>	<u>0.044</u>	<u>0.056</u>	<u>0.070</u>	<u>0.061</u>	ND	<u>0.040</u>	<u>0.031</u>	ND	<u>0.027</u>	ND	0.01 ^(注7)	0.001	
	テトラクロロエチレン	0.0020	0.0053	0.0059	0.0092	0.0015	0.0028	0.0026	0.0034	0.0044	0.0017	0.0007	0.0013	0.0038	0.0023	0.0013	0.0020	0.0023	0.0018	0.0011	0.0020	0.0010	ND	0.0023	ND	0.01	0.0005	
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002	
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.02	0.002
	ベンゼン	ND	ND	0.002	ND	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.001	
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	10	10
フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.8	0.8	
ホル素	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	1.1	1	0.1		
1,4-ジオキサン	ND	0.005	ND	0.008	0.017	0.005	ND	0.005	0.005	ND	ND	ND	0.009	0.005	ND	0.005	0.005	0.005	0.006	0.005	0.005	ND	ND	ND	0.05	0.005		
その他の項目	全窒素	1	ND	2	2	2	1	1	1	2	2	5	2	1	1	1	1	1	1	1	1	ND	ND	1	19	-	1	
	全燐	ND	ND	0.4	0.4	ND	ND	ND	ND	0.9	ND	ND	0.4	0.1	0.1	0.1	ND	ND	ND	1.7	0.4	0.4	0.9	ND	ND	-	0.1	
	塩化物イオン	53	54	50	46	61	49	48	47	50	33	37	70	33	32	32	34	54	52	37	62	30	19	32	21	-	1	
	電気伝導率	41	50	44	31	53	41	39	38	38	34	40	48	37	44	46	37	26	47	28	22	27	170	48	40	-	0.1	
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05	
	モリブデン	0.023	0.007	0.049	ND	0.009	ND	0.010	ND	ND	ND	ND	0.032	0.014	0.022	0.015	ND	0.012	0.012	0.012	0.016	0.010	0.011	0.013	ND	-	0.007	
	アンチモン	ND	ND	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100mL)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の未満の数値は、NDと表記する。

(注2)有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成21年11月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成23年10月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年11月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表2 地下水調査結果 (B5地点の推移)

調査地点		B 5																					地下水の環境基準		検出下限	
調査年月日		H12.12.4	H13.3.6	H17.2.7	H18.2.28	H19.2.1	H20.2.13	H21.2.17	H22.2.16	H23.2.9	H23.6.14	H23.8.3	H23.11.22	H24.2.1	H24.5.16	H24.8.1	H24.11.19	H25.2.5	H25.5.22	H25.7.29	H25.11.13	H26.3.4	H26.5.13			
一般項目	pH	6.3	6.4	6.6	7.1	6.8	6.9	6.7	7.0	6.5	6.8	6.5	6.5	6.6	6.7	6.6	6.7	6.7	6.7	6.6	6.7	6.8	6.6		-	-
	BOD	120	55	50	44	43	41	36	29	21	33	43	24	27	15	34	13	4.2	12	10	8	16	13		-	0.5
	COD	530	300	370	300	310	220	240	420	300	223	240	210	260	160	204	186	179	194	228	215	120	200		-	0.5
	大腸菌群数	3.5×10^2	2.4×10^2	ND	ND	17	ND	2.0	ND	2.0	ND	23	ND	ND	ND	ND	49	ND	2.0	790	2.0	350	1700		-	-
	油分	2.9	4.1	8.9	5.6	4.5	5.5	5.2	4.3	6.1	8.2	5.8	5.4	4.6	4.6	5.2	4.2	3.4	7.0	10	8.6	11	7.6		-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0003	ND	0.0003	ND	ND	ND		0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		検出されないこと	0.1
	有機燐	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		-	0.1
	鉛	0.018	0.048	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		0.01	0.005
	六価クロム	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		0.05	0.05
	砒素	0.047	0.022	ND	0.008	0.013	0.012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.017	ND	0.011	0.007	ND	ND	0.006	ND	0.006		0.01	0.005
	総水銀	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		検出されないこと	0.0005
	PCB	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		検出されないこと	0.0005
	ジクロロメタン	0.085	0.039	0.018	0.006	0.003	0.002	0.003	ND	0.004	0.004	ND	0.004	0.005	0.004	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002	ND	ND	0.007		0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0017	0.0014	ND	ND	ND	ND	0.0006	ND	ND	ND	ND	0.0004	0.0005	ND	ND	ND	0.0006	ND	ND	ND	ND	ND		0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	0.0016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		0.002	0.0002
	チウラム	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		0.006	0.001
	シマジン	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		0.02	0.002
	ベンゼン	0.22	0.19	0.042	0.014	0.003	0.002	0.006	0.002	0.025	0.020	0.025	0.020	0.022	0.016	0.015	0.013	0.009	0.010	0.013	0.004	0.010	0.030		0.01	0.001
	セレン	ND	-	0.011	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.26	1.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		10	10
	フッ素	ND	ND	4.2	5.0	3.6	3.0	2.0	1.3	ND	2.6	1.5	1.5	1.4	1.3	1.2	1.3	1.2	1.4	1.1	0.9	1.4	1.8		0.8	0.8
	ホウ素	2.1	2.6	3.0	3.1	3.1	2.6	3.0	2.5	2.5	2.6	2.6	4.9	2.8	2.6	2.7	2.6	2.5	2.2	2.6	2.7	2.5	2.0		1	0.1
	1,4-ジオキサソリン	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	5.1	5.6	5.1	5.2	3.5	4.5	4.1	3.5	3.5	4.1	3.1	3.3	3.6		0.05	0.005
	その他の項目	全窒素	14	14	12	10	37	30	31	45	8	9	38	34	28	34	24	17	17	15	18	4	ND	12		-
全燐		0.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		-	0.1
塩化物イオン		2,300	1,840	2,000	1,520	1,550	1,330	1,470	1,400	1,400	1,400	1,480	1,390	1,330	1,180	1,120	1,080	944	943	1,020	690	704	901		-	1
電気伝導率		635	462	694	542	478	314	274	280	560	502	517	523	502	432	467	399	413	400	354	339	320	403		-	0.1
ニッケル		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	ND	ND	ND	ND		-	0.05
モリブデン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.018	0.009	ND		-	0.007
アンチモン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	0.020	ND	ND	ND	ND	0.010	0.010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND		-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100mL)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の未満の数値は、NDと表記する。

(注2)有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成21年11月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成23年10月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年11月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表2 地下水調査結果（B5地点の推移）

調査地点		B5																							地下水の環境基準	検出下限		
調査年月日		H26.7.29	H26.11.25	H27.2.16	H27.5.19	H27.7.27	H28.2.9	H28.5.24	H28.7.26	H28.11.8	H29.1.31	H29.5.23	H29.7.26	H29.11.29	H30.2.13	H30.6.26	H30.9.3	H30.10.30	H31.2.27	R1.5.21	R1.8.27	R1.11.19	R2.2.5	R2.8.5				
一般項目	pH	6.7	6.6	6.9	6.4	6.6	6.8	6.8	6.9	6.8	7.0	6.6	6.6	6.8	6.7	6.8	6.8	6.8	6.7	6.8	6.6	6.0	6.9	6.6	-	-		
	BOD	3.2	6.2	17	12	23	24	20	14	8.9	22	16	17	6	5.8	6.4	7.1	11	21	7.8	15	2.7	21	2.6	-	0.5		
	COD	100	130	100	110	58	65	67	69	74	92	77	60	57	61	72	64	75	66	62	62	5.6	66	43	-	0.5		
	大腸菌群数	33	49	59	170	ND	ND	ND	4.0	11	ND	ND	4.5	ND	ND	790	22	23	ND	ND	1700	ND	4.5	-	-	-		
	油分	6.2	8.9	4.7	5.9	3.1	4.0	5.7	4.4	4.9	5.8	3.8	4.6	2.9	1.8	3.4	3.5	5.4	3.0	4.9	3.2	3.4	3.7	ND	-	0.5		
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0009	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003		
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	検出されないこと	0.1	
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	0.1	
	鉛	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.015	ND	ND	0.01	0.005	
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05	0.05
	砒素	ND	ND	ND	0.009	ND	ND	0.007	0.006	0.006	ND	0.008	0.011	0.009	0.013	0.011	0.007	0.011	0.008	0.009	0.014	0.042	0.008	0.007	0.01	0.005		
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	検出されないこと	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	検出されないこと	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.035	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002	
	クロロエチレン ^(注8)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002	
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004	
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002	
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004	
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005	
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006	
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.013	ND	ND	ND	ND	ND	0.01 ^(注7)	0.001	
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005	
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002	
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.02	0.002
	ベンゼン	0.014	0.018	0.007	0.014	0.006	0.007	0.008	0.008	0.008	0.005	0.006	0.008	0.006	0.003	0.004	0.004	0.002	ND	0.003	0.006	0.004	0.003	0.003	0.01	0.001		
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	10	10
	フッ素	0.8	0.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.8	0.8
ホル素	2.3	2.0	2.0	1.9	1.2	1.5	1.7	1.6	1.7	1.8	1.7	1.6	1.7	1.6	1.5	1.4	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7	1.9	1	0.1			
1,4-ジオキサン	2.3	2.3	1.6	2.4	0.85	1.0	1.2	1.5	1.4	1.1	1.3	2.3	1.4	0.84	1.1	0.96	1.3	0.80	0.41	0.86	0.88	0.94	0.82	0.05	0.005			
その他の項目	全窒素	3	8	3	3	5	4	3	4	4	3	4	3	3	3	3	2	3	3	3	4	5	3	3	-	1		
	全燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1		
	塩化物イオン	603	967	585	773	330	390	447	430	425	457	460	340	350	340	340	300	370	350	370	270	330	290	320	-	1		
	電気伝導率	272	336	249	264	195	197	194	183	210	203	190	170	201	180	140	140	180	170	170	82	330	83	130	-	0.1		
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05	
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007	
	アンチモン	ND	ND	ND	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001	
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006		

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100mL)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の未満の数値は、NDと表記する。

(注2)有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成21年11月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成23年10月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年11月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表3 地下水調査結果（F1西地点の推移）

調査地点		F1西																						地下水の環境基準	検出下限	
調査年月日		H15.2.6	H16.2.5	H17.2.7	H18.2.28	H19.2.1	H20.2.13	H21.2.17	H22.2.16	H23.2.9	H23.6.14	H23.8.3	H23.11.22	H24.2.1	H24.5.16	H24.8.1	H24.11.19	H25.2.5	H25.5.22	H25.7.22	H25.11.13	H26.2.17	H26.5.13			
一般項目	pH	7.0	7.0	7.0	6.9	7.3	6.9	7.2	7.7	6.8	6.9	6.9	7.2	6.9	6.8	6.8	7.1	7.1	6.7	6.7	7.1	6.9	7.1	-	-	
	BOD	3.9	6.6	1.0	2.7	0.5	1.6	1.7	1.1	0.9	ND	ND	0.7	0.6	ND	ND	ND	2.1	1.7	0.5	0.6	ND	ND	-	0.5	
	COD	5.4	7.9	1.7	2.4	2.4	2.7	2.3	0.9	1.8	2.8	1.9	1.9	1.9	2.0	3.0	2.2	0.9	7.8	6.1	1.7	5.0	2.6	-	0.5	
	大腸菌群数	22	4.5	2.0	22	33	3.7	7.8	2.0	ND	13	22	540	7.8	11	11	70	ND	69	33	ND	7.8	ND	-	-	
	油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0004	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	0.024	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	0.016	0.016	ND	0.013	ND	0.010	ND	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	0.012	0.008	ND	ND	0.008	ND	0.016	0.009	0.01	0.005	
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	ND	ND	ND	ND	0.0013	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0006	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	0.01 ^(注7)
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	ND	ND	0.001	ND	0.010	0.012	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	0.010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	0.9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
ホル素	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.9	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5	0.3	0.4	1	0.1	
1,4-ジオキサン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	0.008	ND	ND	0.006	ND	0.010	0.010	0.010	0.020	0.023	ND	0.017	0.027	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	1	4	ND	ND	1	ND	ND	ND	ND	ND	1.6	1.2	1.2	4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	1	
	全燐	ND	ND	ND	0.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1	
	塩化物イオン	230	230	220	216	223	274	241	250	270	360	248	252	285	331	342	328	338	436	426	280	314	309	-	1	
	電気伝導率	98.6	94	94.6	90	83.7	53.4	47.3	49	110	136	102	109	115	130	133	118	133	168	176	100	127	117	-	0.1	
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	0.001	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	0.033	0.030	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100mL)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の未満の数値は、NDと表記する。

(注2)有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成21年11月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成23年10月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年11月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表3 地下水調査結果 (F1西地点の推移)

調査地点		F1西																								地下水の 環境基準		検出 下限
調査年月日		H26.7.22	H26.11.25	H27.2.16	H27.5.19	H27.7.27	H27.11.24	H28.2.9	H28.5.24	H28.7.26	H28.11.8	H29.1.31	H29.5.23	H29.7.26	H29.11.29	H30.2.13	H30.6.26	H30.9.3	H30.10.30	H31.3.13	R1.5.21	R1.9.3	R1.11.19	R2.2.18	R2.8.5			
一般項目	pH	6.7	6.7	6.7	6.4	6.7	6.8	6.8	6.7	6.6	6.7	6.9	6.7	6.6	6.8	6.8	6.7	6.6	6.9	6.9	6.7	6.5	7.0	7.0	6.8	-	-	
	BOD	ND	0.6	1.3	ND	0.7	ND	1.3	0.8	0.8	1.4	1.8	4.9	7.7	3.6	6.4	4.2	4.9	3.9	4.5	4.7	5.2	8.3	2.8	3.5	-	0.5	
	COD	8.0	10	5.8	6.9	6.4	7.2	6.5	7.4	6.3	7.4	7.7	8.8	7.2	6.0	8.5	8.2	7.1	5.8	7.8	9.2	9.2	15	10	9.3	-	0.5	
	大腸菌群数	ND	7.8	ND	ND	2.0	7.8	2.0	13	79	ND	ND	ND	ND	ND	ND	490	4.5	ND	ND	79	490	49	ND	-	-	1	
	油分	ND	0.5	ND	ND	ND	1.2	ND	0.7	ND	0.9	ND	1.5	ND	ND	ND	ND	0.6	ND	0.5	0.5	ND	ND	0.7	ND	-	0.5	
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	検出されないこと	0.1
	有機磷	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05	0.05
	砒素	0.019	0.011	0.011	0.020	0.024	0.030	0.039	0.038	0.030	0.033	0.045	0.048	0.040	0.034	0.046	0.043	0.036	0.034	0.052	0.054	0.049	0.065	0.049	0.041	0.01	0.005	
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	検出されないこと	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	検出されないこと	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	0.0003	ND	ND	0.0005	ND	ND	0.0006	ND	ND	ND	0.0002	0.0002	0.0002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0002	ND	ND	0.0002	0.002	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	0.006	ND	0.011	0.019	ND	ND	0.012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	0.033	0.006	0.031	0.021	0.002	ND	0.009	ND	0.003	ND	0.003	0.001	0.001	ND	0.003	ND	0.002	0.002	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	0.01 ^(注7)	0.001	0.001
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.02	0.002
	ベンゼン	0.007	0.006	0.012	0.015	0.001	0.001	0.012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.8	0.8
	鈉素	0.5	0.3	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.7	0.8	0.9	1.2	1.2	1.6	1	0.1
	1,4-ジオキサン	0.045	0.025	0.026	0.039	0.027	0.025	0.019	0.029	0.026	0.033	0.028	0.034	0.053	0.023	0.025	0.035	0.026	0.038	0.026	0.028	0.028	0.024	0.022	0.020	0.05	0.005	0.005
	その他の項目	全窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	1	1	2	2	-	1
		全磷	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	ND	0.1	0.1	ND	-	0.1
塩化物イオン		539	456	522	545	554	539	496	555	498	588	584	660	540	440	540	530	480	420	450	480	440	420	470	450	-	1	
電気伝導率		207	174	193	197	204	202	191	205	181	220	208	200	194	188	198	190	95	170	140	81	86	170	93	160	-	0.1	
ニッケル		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05	
モリブデン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007	
アンチモン	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	0.001	
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100mL)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の未満の数値は、NDと表記する。

(注2)有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成21年11月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成23年10月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年11月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表4 地下水調査結果

調査地点		F1東														地下水の 環境基準	検出 下限	
調査年月日		H25.7.22	H26.2.17	H26.7.22	H27.2.17	H27.7.27	H28.2.1	H28.7.25	H29.1.31	H29.8.9	H30.2.13	H30.8.29	H31.3.13	R1.8.27	R2.2.5			R2.8.5
一般項目	pH	6.2	6.3	6.3	6.4	6.2	6.4	6.3	6.5	6.4	6.7	6.3	6.2	6.4	6.4	6.1	-	-
	BOD	9.3	10	3.7	14	7.1	16	13	10	5.4	3.3	6.7	3.9	13	7.3	9.5	-	0.5
	COD	136	96	72	73	77	65	71	67	71	65	89	72	52	62	49	-	0.5
	大腸菌群数	ND	ND	ND	ND	2	ND	49	ND	4.5	ND	14	ND	3500	2.0	-	-	-
	油分	4.4	2.3	1.6	2.2	2.3	4.3	4.1	2.0	2.6	0.6	4.4	5.1	3.5	5.1	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	0.0011	0.0008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	検出されないこと
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	0.009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	砒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	検出されないこと
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	検出されないこと
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注5)	0.0017	0.0045	0.0039	0.0041	0.0026	0.0027	0.0027	0.0036	0.0028	0.0028	0.0028	0.0020	0.0034	0.0015	0.0015	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0009	0.0009	0.0015	0.0009	0.0009	0.0008	0.0010	0.0008	0.0011	ND	ND	ND	0.0004	0.0011	0.0011	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	0.002	ND	0.002	0.006	0.002	ND	0.002	ND	0.002	0.003	ND	0.003	0.004	0.1	0.002
	1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	0.016	0.011	ND	ND	ND	ND	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	0.0022	ND	ND	ND	ND	ND	0.0020	ND	ND	0.0018	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	0.002	ND	0.064	0.022	0.002	0.008	0.007	0.002	0.019	0.011	0.001	0.002	ND	0.003	0.004	0.01 ^(注4)	0.002
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.02
	ベンゼン	0.017	0.051	0.020	0.016	0.011	0.061	0.011	0.008	0.014	0.007	0.008	0.009	0.005	0.008	0.009	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.01
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.8
ホル素	9.4	6.5	6.6	6.3	6.9	6.4	6.5	6.1	6.2	5.7	6.0	6.0	5.9	5.6	6.7	1	0.1	
1,4-ジオキサン	0.72	0.71	0.75	0.66	0.58	0.33	0.66	0.56	0.68	0.35	0.54	0.49	0.44	0.49	0.51	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	4	5	5	4	3	4	4	4	4	4	4	3	3	6	4	-	1
	全磷	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	1230	1270	1310	1310	1300	1320	1350	1370	1310	1200	1300	1400	1400	1600	2000	-	1
	電気伝導率	524	524	537	545	542	544	514	560	503	534	560	280	280	320	360	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	0.007	0.017	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100mL)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の未満の数値は、NDと表記する。

(注2)有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年11月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表5 地下水調査結果

調査地点		C1北														地下水の 環境基準	検出 下限		
調査年月日	H25.7.24	H26.2.18	H26.7.22	H27.2.25	H27.7.21	H28.2.1	H28.7.25	H29.1.30	H29.8.9	H30.2.13	H30.8.29	H31.3.6	R1.8.20	R2.2.18	R2.8.13				
一般項目	pH	6.9	6.7	6.9	6.9	6.9	7.0	6.9	7.0	7.0	7.0	6.9	6.8	6.9	7.1	6.9	-	-	
	BOD	6.6	4.7	13	4.5	12	27	32	12	21	5.2	8.3	5.8	14	13	16	-	0.5	
	COD	160	130	130	130	130	130	150	150	140	120	110	110	110	100	83	-	0.5	
	大腸菌群数	ND	ND	ND	ND	13	ND	ND	ND	790	ND	6.8	ND	79	4.0	-	-	-	
	油分	1.5	2.4	1.8	1.8	1.7	2.4	2.3	2.3	2.2	1.6	8.2	8.2	3.2	3.1	ND	-	0.5	
健康項目	カドミウム	0.0012	0.0008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.003	0.0003	
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	検出されないこと	0.1	
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	0.1	
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	ND	0.01	0.005	
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05	0.05	
	砒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005	
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.0005	0.0005	
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	検出されないこと	0.0005	
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	検出されないこと	0.0005	
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002	
	クロロエチレン ^(注5)	0.0003	ND	0.0003	<u>0.0045</u>	0.0002	ND	ND	0.0002	0.0002	0.0002	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002	
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004	
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.002	
	1,2-ジクロロエチレン	ND	0.004	0.005	<u>0.095</u>	ND	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004	
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005	
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006	
	トリクロロエチレン	ND	0.009	<u>0.017</u>	<u>0.093</u>	0.001	0.003	ND	ND	ND	0.002	ND	ND	ND	0.001	ND	0.01 ^(注4)	0.002	
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005	
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002	
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.02	0.002
	ベンゼン	<u>0.099</u>	<u>0.10</u>	<u>0.085</u>	<u>0.14</u>	<u>0.11</u>	<u>0.10</u>	<u>0.14</u>	<u>0.12</u>	<u>0.18</u>	<u>0.12</u>	<u>0.14</u>	<u>0.12</u>	<u>0.10</u>	<u>0.087</u>	<u>0.068</u>	0.01	0.001	
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.8	0.8
砒素	<u>7.2</u>	<u>6.5</u>	<u>7.3</u>	<u>7.1</u>	<u>7.6</u>	<u>8.4</u>	<u>7.8</u>	<u>8.1</u>	<u>7.9</u>	<u>7.7</u>	<u>7.6</u>	<u>7.4</u>	<u>6.6</u>	<u>6.6</u>	<u>8.9</u>	1	0.1		
1,4-ジオキサン	<u>0.73</u>	<u>0.99</u>	<u>0.78</u>	<u>0.69</u>	<u>0.60</u>	<u>0.44</u>	<u>0.78</u>	<u>0.51</u>	<u>0.65</u>	<u>0.52</u>	<u>0.62</u>	<u>0.48</u>	<u>0.51</u>	<u>0.60</u>	<u>0.76</u>	0.05	0.005		
その他の項目	全窒素	23	18	11	12	14	12	12	13	40	41	39	38	36	40	38	-	1	
	全燐	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	-	0.1	
	塩化物イオン	1850	1880	1690	1630	1640	1650	1580	1430	1310	1500	1200	1300	1200	1500	1400	-	1	
	電気伝導率	727	719	714	677	664	670	625	617	552	648	540	550	290	320	550	-	0.1	
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	-	0.05	
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	ND	-	0.007	
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001	
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006		

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100mL)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の未満の数値は、NDと表記する。

(注2)有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年11月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表6 地下水調査結果

調査地点		C 1 南														地下水の 環境基準	検出 下限	
調査年月日		H25. 7. 24	H26. 2. 18	H26. 7. 22	H27. 2. 25	H27. 7. 21	H28. 2. 1	H28. 7. 25	H29. 1. 30	H29. 8. 9	H30. 2. 13	H30. 8. 29	H31. 3. 6	R1. 8. 20	R2. 2. 18			R2. 8. 13
一般項目	pH	5.5	5.2	4.7	5.5	5.4	5.6	5.7	5.6	5.7	6.4	5.6	5.6	5.5	5.8	5.6	-	-
	BOD	ND	ND	ND	ND	ND	1.0	ND	ND	1.9	ND	2	1.1	ND	0.6	1.3	-	0.5
	COD	7.1	7.7	5.8	5.5	5.1	4.3	4.3	4.1	4.1	6.0	3.5	2.9	4.2	3.2	3.6	-	0.5
	大腸菌群数	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5.5	ND	7.8	ND	79	ND	33	ND	-	-	-
	油分	ND	0.7	ND	ND	ND	1.2	0.5	ND	ND	0.6	1.0	ND	ND	0.5	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	0.0011	0.0009	0.0028	0.0007	0.0012	0.0010	0.0004	0.0015	0.0017	0.0010	0.0037	0.0014	<u>0.0051</u>	<u>0.0065</u>	<u>0.0069</u>	0.003	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	検出されないこと	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05	0.05
	砒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	検出されないこと	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	検出されないこと	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注5)	ND	<u>0.010</u>	<u>0.0036</u>	<u>0.011</u>	0.0013	<u>0.0091</u>	<u>0.015</u>	<u>0.012</u>	<u>0.016</u>	<u>0.0027</u>	<u>0.012</u>	0.0008	<u>0.0067</u>	<u>0.0056</u>	<u>0.0052</u>	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.002
	1,2-ジクロロエチレン	<u>0.088</u>	<u>0.088</u>	<u>0.041</u>	<u>0.12</u>	<u>0.086</u>	<u>0.076</u>	<u>0.11</u>	<u>0.080</u>	<u>0.11</u>	0.023	<u>0.11</u>	0.028	<u>0.060</u>	<u>0.041</u>	0.040	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	0.0015	0.0007	0.0009	0.0009	0.0007	0.0006	0.0010	0.0007	0.0011	ND	0.0015	ND	0.0006	ND	0.0006	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	<u>0.25</u>	<u>0.28</u>	<u>0.13</u>	<u>0.33</u>	<u>0.30</u>	<u>0.24</u>	<u>0.37</u>	<u>0.26</u>	<u>0.40</u>	<u>0.084</u>	<u>0.35</u>	<u>0.079</u>	<u>0.24</u>	<u>0.21</u>	<u>0.23</u>	0.01 ^(注4)	0.002
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.02	0.002
	ベンゼン	<u>0.023</u>	<u>0.024</u>	<u>0.019</u>	<u>0.049</u>	<u>0.022</u>	<u>0.022</u>	<u>0.032</u>	<u>0.014</u>	<u>0.022</u>	0.010	<u>0.030</u>	<u>0.012</u>	<u>0.023</u>	0.008	0.006	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.01	0.005
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	10	10	
フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.8	0.8	
ホル素	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.3	0.3	1	0.1	
1,4-ジオキサン	<u>0.13</u>	<u>0.20</u>	<u>0.13</u>	<u>0.16</u>	<u>0.16</u>	<u>0.12</u>	<u>0.24</u>	<u>0.14</u>	<u>0.20</u>	<u>0.083</u>	<u>0.20</u>	<u>0.068</u>	<u>0.098</u>	<u>0.066</u>	<u>0.71</u>	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	ND	1	1	1	ND	ND	1	-	1	
	全磷	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1	
	塩化物イオン	4890	5340	5350	5320	5250	5220	5320	5200	5040	4100	5100	4800	5800	6100	6000	-	1
	電気伝導率	1360	1440	1460	1510	1400	1390	1270	1430	1260	1170	1400	1200	800	860	1000	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100mL)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の未満の数値は、NDと表記する。

(注2)有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年11月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表7 地下水調査結果

調査地点		C3北											地下水の環境基準			検出下限		
調査年月日		H25.7.24	H26.2.19	H26.7.7	H27.2.18	H27.8.3	H28.2.2	H28.8.1	H29.2.7	H29.7.31	H30.2.7	H30.8.27	H31.2.26	R1.9.3	R2.2.5	R2.8.18		
一般項目	pH	6.6	6.6	6.7	6.6	6.5	6.8	6.4	6.7	6.5	6.4	6.5	6.7			5.9	-	-
	BOD	12	18	5.0	3.0	1.7	4.2	0.7	3.4	2.2	3.3	3.0	13			11	-	0.5
	COD	210	140	110	67	67	19	23	22	35	36	28	46			44	-	0.5
	大腸菌群数	2.0	31	2.0	11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	22	ND			-	-	-
	油分	7.6	10	3.8	4.1	2.4	3.5	1.6	2.2	2.9	1.1	2.2	3.0			ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	0.0004	0.0004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			ND	0.003	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	検出されないこと	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	0.05	0.05
	砒素	ND	0.006	ND	ND	<u>0.015</u>	ND	0.006	ND	0.010	<u>0.017</u>	ND	0.020			<u>0.016</u>	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	検出されないこと	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	検出されないこと	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン(注5)	<u>0.035</u>	0.0008	<u>0.0089</u>	0.0017	0.0010	<u>0.0079</u>	0.0011	<u>0.0045</u>	0.0017	0.0017	0.0009	0.0004			<u>0.0092</u>	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0014	ND	0.0005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			ND	0.1	0.002
	1,2-ジクロロエチレン	0.033	ND	0.009	0.007	ND	0.009	ND	ND	ND	ND	ND	ND			<u>0.11</u>	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	0.011	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	0.0006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	<u>0.025</u>	ND	<u>0.065</u>	<u>0.022</u>	ND	0.002	0.002	0.008	0.002	ND	ND	0.002			<u>0.080</u>	0.01(注4)	0.002
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	0.02	0.002
	ベンゼン	<u>9.2</u>	<u>0.26</u>	<u>0.33</u>	<u>0.032</u>	<u>0.017</u>	<u>0.15</u>	0.008	<u>0.069</u>	<u>0.045</u>	0.006	<u>0.018</u>	<u>0.020</u>			<u>0.029</u>	0.01	0.001
	セレン	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	0.8	0.8
トリ素	<u>3.0</u>	<u>1.4</u>	<u>2.0</u>	<u>2.5</u>	<u>2.4</u>	0.3	0.8	0.8	<u>1.2</u>	<u>1.9</u>	0.2	<u>2.2</u>			<u>2.1</u>	1	0.1	
1,4-ジオキサン	<u>1.3</u>	<u>0.48</u>	<u>2.7</u>	<u>0.72</u>	<u>0.30</u>	0.036	<u>0.057</u>	<u>0.27</u>	<u>0.30</u>	<u>0.17</u>	0.018	<u>0.52</u>			0.028	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	11	7	19	27	35	8	15	12	24	10	6	18			64	-	1
	全燐	ND	0.4	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.2	0.5			0.3	-	0.1
	塩化物イオン	322	295	343	240	187	40	64	165	160	170	16	260			150	-	1
	電気伝導率	590	330	377	273	237	43.4	116	118	169	163	32	190			180	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			0.07	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	0.009	0.011	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	-	0.001
	フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	-	0.006

環境計測に必要な量を採水できなかったため欠測

化学処理実施中のため欠測

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100mL)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の未満の数値は、NDと表記する。
(注2)有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。
(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。
(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年11月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)
(注5)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表8 地下水調査結果

調査地点		C3南											地下水の環境基準			検出下限		
調査年月日		H25.7.24	H26.2.19	H26.7.7	H27.2.18	H27.8.3	H28.2.2	H28.8.1	H29.2.7	H29.7.31	H30.2.7	H30.8.27	H31.2.26	R1.9.3	R2.2.5	R2.8.11		
一般項目	pH	6.3	6.1	6.1	6.2	6.2	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.2	6.4			4.8	-	-
	BOD	11	9.3	1.0	1.4	1.3	8.8	2.9	3.2	2.1	7.0	4.9	7.9			10	-	0.5
	COD	84	68	36	39	38	40	34	30	19	22	45	39			15	-	0.5
	大腸菌群数	4.5	ND	ND	4.5	ND	2.0	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	-	-
	油分	4.0	4.3	2.6	2.6	2.3	3.7	2.4	1.8	2	1.9	3.5	3.3			ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	0.0008	0.0004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			0.0065	0.003	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	検出されないこと	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			0.041	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	0.05	0.05
	砒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	検出されないこと	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	検出されないこと	0.0005
	ジクロロメタン	0.002	0.002	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	ND			ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注5)	0.12	0.15	0.24	0.035	0.043	0.020	0.035	0.032	0.059	0.031	0.022	0.0081			0.0057	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0024	0.0030	0.0042	ND	0.0031	0.0025	0.0035	ND	0.0021	0.0021	0.0052	0.0038			ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	ND	ND	ND			ND	0.1	0.002
	1,2-ジクロロエチレン	0.67	0.65	0.23	0.12	0.10	0.090	0.12	0.099	0.34	0.088	0.064	0.037			0.026	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	0.0007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	0.0024	0.0023	0.0022	ND	0.0012	0.0010	0.0014	0.0011	0.0018	0.0013	0.0026	ND			0.0009	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	0.46	0.54	0.37	0.32	0.26	0.28	0.45	0.30	0.51	0.26	0.22	0.17			0.37	0.01 ^(注4)	0.002
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	0.02	0.002
	ベンゼン	0.56	0.13	0.021	0.018	0.009	0.013	0.008	0.003	0.008	0.002	0.018	0.008			0.002	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	0.8	0.8
ホル素	2.9	2.4	2.0	2.5	2.1	2.1	1.7	1.2	1.1	1.2	3.1	2.9			3.5	1	0.1	
1,4-ジオキサン	1.3	1.1	1.3	0.65	0.62	0.43	0.55	0.32	0.44	0.40	0.78	0.48			0.065	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	9	6	6	4	3	4	3	3	3	3	4			58	-	1	
	全燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			ND	-	0.1	
	塩化物イオン	1260	1440	1670	1670	1770	1760	1770	1860	1800	1700	1000	1300			450	-	1
	電気伝導率	506	536	597	586	584	581	546	607	594	589	370	490			320	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			0.15	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	-	0.001
	フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND			-	-	0.006

環境計測に必要な量を採水できなかったため欠測

化学処理実施中のため欠測

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100mL)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の未満の数値は、NDと表記する。

(注2)有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年11月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表9 地下水調査結果

調査地点		D E 1														地下水の 環境基準	検出 下限		
調査年月日		H25. 7. 22	H26. 2. 19	H26. 7. 22	H27. 2. 17	H27. 7. 28	H28. 2. 2	H28. 7. 25	H29. 1. 30	H29. 8. 9	H30. 2. 7	H30. 8. 29	H31. 3. 6	R1. 8. 20	R2. 2. 25			R2. 8. 13	
一般項目	pH	5.9	6.1	6.3	6.3	5.9	6.0	5.8	6.3	5.9	5.9	6.3	5.7	5.8	6.4	5.8	-	-	
	BOD	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.6	ND	1.6	1.3	3.6	0.6	ND	1.8	1.0	-	0.5	
	COD	2.5	4.3	4.8	2.8	2.3	1.5	2.5	4.3	1.8	1.7	9.0	1.8	1.4	4.8	4.4	-	0.5	
	大腸菌群数	ND	ND	22	ND	12	ND	2.0	ND	ND	ND	ND	ND	33	11	-	-	-	
	油分	ND	ND	ND	ND	ND	0.7	ND	ND	ND	ND	ND	0.9	ND	ND	ND	-	0.5	
健康項目	カドミウム	0.0026	<u>0.044</u>	<u>0.022</u>	0.0004	<u>0.0036</u>	0.0021	0.0011	ND	0.0030	<u>0.0041</u>	0.0026	ND	0.0029	0.0010	<u>0.023</u>	0.003	0.0003	
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	検出されないこと	0.1	
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	0.1	
	鉛	0.005	<u>0.084</u>	ND	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	<u>0.023</u>	0.008	0.01	0.005	
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05	0.05	
	砒素	ND	0.009	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005	
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.0005	0.0005	
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	検出されないこと	0.0005	
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	検出されないこと	0.0005	
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注5)	ND	ND	0.0004	0.0006	ND	ND	0.0002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.002
	1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	0.012	0.027	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	<u>0.056</u>	<u>0.041</u>	ND	0.003	<u>0.011</u>	0.004	ND	ND	ND	0.004	<u>0.011</u>	ND	ND	ND	0.01 ^(注4)	0.002
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.003	0.0003
	チオベンソカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.02	0.002
	ベンゼン	0.003	0.007	<u>0.014</u>	<u>0.023</u>	0.007	<u>0.013</u>	0.002	0.001	ND	ND	0.001	0.002	0.004	ND	ND	0.01	0.001	
	セレン	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.8	0.8
ホル素	0.8	0.6	0.9	0.9	0.7	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	1.0	0.8	0.9	0.8	<u>1.3</u>	1	0.1		
1,4-ジオキサン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	0.05	0.005		
その他の項目	全窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	1	
	全燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1	
	塩化物イオン	9650	10200	9830	10000	9660	9590	9820	9750	9270	9300	7400	9500	9600	7500	9600	-	1	
	電気伝導率	2650	2580	2560	2700	2300	2570	2170	2610	2490	2460	1000	2500	1300	1100	2500	-	0.1	
	ニッケル	ND	ND	0.05	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05	
	モリブデン	0.008	0.008	ND	0.011	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007	
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001	
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006		

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100mL)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の未満の数値は、NDと表記する。

(注2)有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年11月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

豊島における環境計測（北揚水井、高度排水処理施設）の結果

豊島処分地内の地下水の浄化処理における効果の把握を目的として、高度排水処理施設に関する環境計測を実施している。なお、同施設は北揚水井からの揚水を原水の一部としている。

今回、令和2年8月及び11月に実施した北揚水井の水質及び高度排水処理施設の処理水の調査結果についてとりまとめた。

1. 調査の概要

(1) 調査日

令和2年8月11日（火）

令和2年11月10日（火）

(2) 調査地点（調査地点図参照）

高度排水処理施設の原水流入槽（北揚水井）

高度排水処理施設の放流ピット（処理水）

(3) 検体採取機関及び分析機関

採取機関：廃棄物対策課、環境保健研究センター

分析機関：環境保健研究センター

2. 結果の概要

北揚水井の水質及び高度排水処理施設の処理水の調査結果についてとりまとめた。

高度排水処理施設の処理水は、検査を行った全ての項目について、管理基準を満足していた。

3. 参考

北揚水井の令和2年4月から11月までの月間揚水量は、5～1900m³の範囲であり、高度排水処理施設の処理能力（約3900 m³/月）を大きく下回っている。

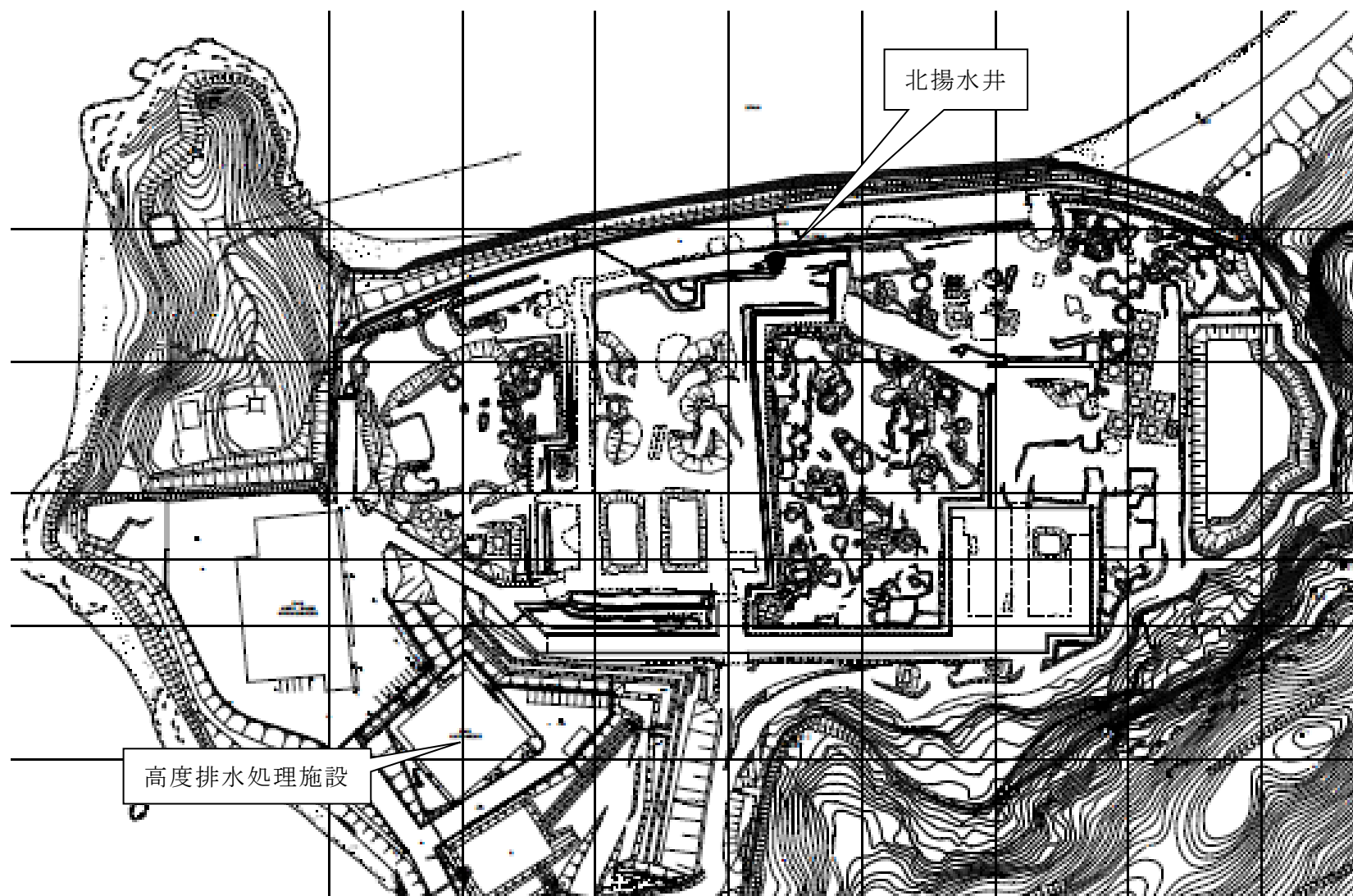


図 豊島における環境計測（北揚水井、高度排水処理施設）調査地点

表1 豊島における環境計測結果（北揚水井）

検査項目	北揚水井																									管理基準値 (参考)	検出下限	
	平成15年度		平成16年度			平成17年度			平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度			平成27年度			平成28年度					
	H15. 10. 16	H16. 2. 5	最小	最大	平均	最小	最大	平均	H18. 10. 12	H19. 10. 25	H20. 10. 21	H21. 10. 27	H22. 10. 20	H23. 10. 20	H24. 11. 1	H25. 11. 18	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均			
水素イオン濃度 (pH)	7.4	7.4	7.2	7.5	7.3	7.2	7.4	7.3	7.0	7.2	7.2	7.4	7.1	7.8	7.2	7.2	7.3	7.5	7.4	7.1	7.6	7.4	7.3	7.7	7.5	5.0~9.0	-	
生物化学的酸素要求量 (BOD)	56	93	32	120	66	28	41	32	17	96	41	66	63	37	ND	4.1	8.0	31	18	15	90	43	28	58	45	30 (日間平均20)	0.5	
化学的酸素要求量 (COD)	170	340	170	270	210	110	320	190	110	370	250	350	220	77	100	41	63	170	120	77	180	140	110	160	130	30 (日間平均20)	0.5	
浮遊物質 (SS)	4.4	15	7.0	17	11	5.0	7.0	5.8	7	10	10	10	4	20	3	7	1.0	14	9.3	6.4	120	48	42	95	59	50 (日間平均40)	1	
大腸菌群数	0	0	4	80	41	2	280	130	17	44	180	20	20	1	0	0	0	84	22	270	1900	770	58	94000	24000	(日間平均3000)	-	
油分(揮発性抽出物含有量)	8.7	13	4.2	9.0	5.6	1.7	3.5	2.6	1.5	3.1	2.5	1.8	3.9	0.8	0.9	1.8	ND	2.4	2.0	ND	4.0	2.7	1.6	3.2	2.5	30(風量にあっては)	0.5	
フェノール類含有量	ND	0.7	0.11	1.9	1.0	0.57	3.5	2.2	0.14	0.10	0.02	ND	0.02	0.14	0.13	0.02	0.02	0.09	0.06	0.04	0.21	0.11	0.04	0.17	0.10	5	0.02	
銅含有量	ND	ND	ND	0.65	0.65	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3	
亜鉛含有量	ND	ND	ND	0.8	0.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.5	
溶解性鉄含有量	4.5	5	ND	1.5	0.88	0.20	4.4	2.3	0.64	1.2	ND	0.35	0.46	0.19	0.26	0.10	0.15	0.32	0.21	0.10	0.23	0.18	ND	0.20	0.17	10	0.05	
溶解性マンガン含有量	0.48	0.8	ND	1.5	1.2	ND	0.7	0.6	0.6	0.8	0.7	0.5	0.5	0.7	0.6	ND	0.5	1.7	1.0	ND	2.8	2.1	1.6	3.9	2.3	10	0.4	
クロム含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2	
窒素含有量	150	150	98	150	110	83	180	120	80	220	140	140	230	27	23	16	12	38	24	15	36	21	14	26	18	120 (日間平均60)	1	
有機含有量	0.4	0.2	0.2	0.5	0.3	0.1	0.6	0.4	0.4	0.6	0.5	0.6	0.8	0.3	0.6	ND	ND	1.1	0.5	0.4	1.2	0.9	0.8	1.1	1.0	16 (日間平均8)	0.1	
カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03 ^(注4)	0.003	
シアン化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1	
鉛及びその化合物	ND	ND	ND	0.01	0.01	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	0.02	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.01	0.1	0.01
有機化合物	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1	
六価クロム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05	
砒素及びその化合物	0.013	ND	ND	0.01	0.01	ND	0.03	0.03	0.02	0.02	0.03	0.02	0.03	ND	ND	ND	ND	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02	0.1	0.01	
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.0005	
アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005	
P C B	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0005	
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注5)	0.03	
テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02	
四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004	
1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.02	
シス-1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	0.04	
1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3	
1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006	
1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006	
シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.003	
チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02	
ベンゼン	0.19	1.3	0.13	0.66	0.34	0.08	1.4	0.49	0.14	0.99	0.73	0.49	0.67	ND	0.89	0.02	0.02	0.27	0.14	0.03	0.26	0.12	0.04	0.57	0.20	0.1	0.01	
セレン及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
ほう素及びその化合物	16	22	13	21	16	12	23	15	10	22	17	17	16	10	9.4	3.8	4.4	12	8.7	5.8	10	8.7	7.4	11	9.4	230	0.1	
ふっ素及びその化合物	1	0.9	ND	2.3	1.6	0.9	1.3	1.0	1.1	1.1	ND	1.0	0.9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	15	0.8	
アミン、アミン化合物、亜硝酸化合物 及び硝酸化合物	40	57	40	55	44	30	68	44	71	85	99	110	140	ND	23	ND	ND	20	15	ND	19	19	ND	ND	ND	100	10	
1,4-ジオキサン																0.07	ND	0.11	0.46	0.29	0.15	0.32	0.25	0.20	0.33	0.27	0.5	0.05
ニッケル	0.01	0.17	0.06	0.30	0.17	0.06	0.08	0.07	0.05	0.06	ND	0.05	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	ND	ND	0.10	0.10	ND	ND	ND	0.1	0.05	
モリブデン	ND	ND	ND	0.10	0.09	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07	
全マンガン	-	-	-	-	-	-	-	-	0.6	0.8	0.7	0.6	0.5	0.7	0.7	ND	0.6	0.6	0.6	-	-	-	1.9	1.9	1.9	-	0.4	
ウラン	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0008	0.0008	0.0008	0.0012	0.0008	0.0006	0.0003	0.0017	0.0013	0.0013	0.0013	0.0025	0.0025	0.0025	0.0070	0.0070	0.0070	-	0.0001	
ダイオキシン類	0.66	1.9	0.29	1.8	1.0	0.58	2.8	1.4	1.4	0.25	0.068	0.058	0.63	23	0.57	4.7	3.0	6.6	4.3	3.0	44	24	22	350	120	10	-	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の未満の数値は、NDと表記する。
(注2)有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。
(注3)下線：管理基準を満足していない項目
(注4)排水基準の変更に伴い、管理基準を変更した。(平成26年11月までの排水基準値は0.1mg/Lである。)
(注5)排水基準の変更に伴い、管理基準を変更した。(平成27年10月までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

平成16年度：H16.5.17、H16.7.5、H16.10.4、H17.1.25実施、平成17年度：H17.5.10、H17.7.12、H17.10.4、H18.1.12実施
平成26年度：H26.5.13、H26.7.29、H26.10.16、H27.2.16実施、平成27年度：H27.5.19、H27.7.27、H27.11.25、H28.2.9実施、平成28年度：H28.5.24、H28.7.25、H28.11.15、H29.2.7実施

表1 豊島における環境計測結果（北揚水井）

検査項目	北揚水井												管理基準値 (参考)	検出下限
	平成29年度			平成30年度 ^(注6)			令和元年度			令和2年度				
	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	R2. 5. 13	R2. 8. 11	R2. 11. 10		
水素イオン濃度 (pH)	7.3	7.6	7.4	7.1	7.5	7.4	7.1	7.4	7.3	7.1	7.1	7.4	5.0~9.0	-
生物化学的酸素要求量 (BOD)	18	<u>44</u>	<u>32</u>	<u>37</u>	<u>45</u>	<u>41</u>	-	-	-	-	-	-	30 (日間平均20)	0.5
化学的酸素要求量 (COD)	<u>56</u>	<u>130</u>	<u>93</u>	<u>40</u>	<u>120</u>	<u>85</u>	<u>36</u>	<u>87</u>	<u>64</u>	<u>84</u>	<u>56</u>	30	30 (日間平均20)	0.5
浮遊物質 (SS)	37	<u>72</u>	48	45	<u>150</u>	<u>95</u>	13	<u>280</u>	<u>110</u>	13	10	50	50 (日間平均40)	1
大腸菌群数	0	150	50	0	850	280	-	-	-	-	-	-	(日間平均3000)	-
油分 (メタヘキサン抽出物質含有量)	1.3	5.0	2.4	1.0	3.2	2.2	0.8	3.9	2.5	ND	ND	ND	30 (鉱油類にあっては)	0.5
フェノール類含有量	0.04	0.06	0.05	ND	0.07	0.05	ND	0.03	0.03	0.02	0.04	0.03	5	0.02
銅含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	3	0.3
亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	2	0.5
溶解性鉄含有量	ND	0.17	0.12	0.09	0.23	0.14	0.06	1.1	0.39	0.08	0.07	ND	10	0.05
溶解性マンガン含有量	4.4	6.4	5.6	3.0	10	7.1	3.5	<u>12</u>	5.9	9.7	8.1	1.6	10	0.4
クロム含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	2	0.2
窒素含有量	97	110	100	34	<u>130</u>	99	12	85	45	96	98	3	120 (日間平均60)	1
有機炭素含有量	0.3	1.3	0.7	0.1	0.5	0.2	ND	0.1	0.1	ND	0.1	0.1	16 (日間平均8)	0.1
カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.03 ^(注4)	0.003
シアン化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	1	0.1
鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
有機燐化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	1	0.1
六価クロム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.5	0.05
砒素及びその化合物	ND	0.01	0.01	ND	0.01	0.01	ND	0.01	0.01	ND	ND	ND	0.1	0.01
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.005	0.0005
アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	検出されないこと	0.0005
P C B	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.003	0.0005
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.1 ^(注5)	0.03
テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.2	0.02
四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.02	0.002
1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.04	0.004
1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	1	0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.4	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	3	0.3
1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.06	0.006
1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.02	0.002
チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.06	0.006
シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.03	0.003
チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.2	0.02
ベンゼン	ND	<u>0.19</u>	<u>0.13</u>	0.03	<u>1.1</u>	<u>0.38</u>	ND	<u>0.26</u>	<u>0.14</u>	<u>0.25</u>	0.10	ND	0.1	0.01
セレン及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
ほう素及びその化合物	5.2	8.9	7.1	6.6	7.7	7.1	-	-	-	-	-	-	230	0.1
ふっ素及びその化合物	ND	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	15	0.8
アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸化合物 及び硝酸化合物	35	52	43	26	57	43	ND	34	32	40	40	ND	100	10
1,4-ジオキサン	0.16	0.30	0.24	ND	0.20	0.17	ND	0.17	0.13	0.24	0.30	ND	0.5	0.05
ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.1	0.05
モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.07
全マンガン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.4
ウラン	-	-	-	0.0029	0.0029	0.0029	-	-	-	-	-	-	-	0.0001
ダイオキシン類	3.7	<u>38</u>	<u>19</u>	3.2	10	7.1	0.93	<u>21</u>	<u>12</u>	2.5	4.7	1.8	10	-

(注1) 単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/c㎡)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/L) を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の未満の数値は、NDと表記する。

(注2) 有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。

(注3) 下線：管理基準を満足していない項目

(注4) 排水基準の変更に伴い、管理基準を変更した。(平成26年11月までの排水基準値は0.1mg/Lである。)

(注5) 排水基準の変更に伴い、管理基準を変更した。(平成27年10月までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

(注6) 豊島処分地地下水・雨水等対策検討会での審議を踏まえ、H30.10月から検査項目を変更した。

平成29年度：H29.5.23、H29.7.26、H29.11.29、H30.2.13実施、平成30年度：H30.6.26、H30.9.3、H30.10.30、H31.3.13実施、令和元年度：R1.5.14、R1.8.26、R1.11.28、R2.2.25実施

表2 豊島における環境計測結果（高度排水処理施設）

検査項目	高度排水処理施設																								管理基準値	検出下限		
	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	H18.10.12	H19.10.25	H20.10.21	H21.10.27	H22.10.20	H23.10.20	H24.11.1	H25.11.18	H26.11.16	H27.11.25	H28.11.15	H29.11.29	H30.10.30	R1.11.28	R2.11.10				
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	6.6	7.2	6.8	7.0	7.1	7.1	6.6	7.1	6.9	6.7	6.6	6.4	7.0	6.8	6.7	6.8	6.9	7.2	7.2	7.2	7.2	7.5	7.0	7.9	7.4	5.0~9.0	-
	生物学的酸素要求量 (BOD)	3.0	3.6	3.4	1.3	3.1	2.4	0.5	1.6	0.9	0.6	1.0	0.5	ND	ND	0.8	0.8	0.7	2.7	1.4	1.4	1.1	-	-	-	30 (日間平均20)	0.5	
	化学的酸素要求量 (COD)	4.7	13	9.2	1.1	10	4.4	2.4	7.8	4.9	0.7	12	4.0	12	4.6	3.9	4.0	4.2	12	4.7	5.5	2.6	4.2	4.1	8.5	30 (日間平均20)	0.5	
	浮遊物質 (SS)	ND	1	1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	ND	ND	ND	1	ND	2	ND	ND	1	ND	ND	ND	ND	ND	50 (日間平均40)	1	
	大腸菌群数	0	24	8	0	2	1	0	28	8	0	0	0	0	2	0	0	0	0	23	84	0	0	0	0	(日間平均3000)	-	
	油分 (メチルベンゼン抽出物含有量)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.6	ND	ND	ND	ND	35	0.5	
	フェノール類含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.02	
	銅含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3	
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2	
	溶解性鉄含有量	ND	ND	ND	ND	0.13	0.07	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	0.05	
	溶解性マンガン含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	0.4	
	クロム含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2	
	窒素含有量	7	45	23	4	20	10	2	22	13	3	33	17	18	36	27	8	ND	18	6	36	25	40	1	4	120 (日間平均60)	1	
	リン含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	16 (日間平均8)	0.1	
	健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.003
シアン化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1	
鉛及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
有機燐化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1	
六価クロム及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05	
砒素及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.0005	
アルキル水銀化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005	
P C B		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0005	
トリクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注3)	0.03	
テトラクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
ジクロロメタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02	
四塩化炭素		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
1,2-ジクロロエタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004	
1,1-ジクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.02	
1,1,2-ジクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	0.04	
1,1,1-トリクロロエタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3	
1,1,2-トリクロロエタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006	
1,3-ジクロロプロペン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
チウラム		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006	
シマジン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.003	
チオベンカルブ		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02	
ベンゼン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
セレン及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
ほう素及びその化合物		7.4	15	11	10	18	15	10	15	13	6.3	12	8.8	11	10	9.3	4.9	4.0	8.9	6.2	6.0	3.2	4.0	9.1	8.6	230	0.1	
ふっ素及びその化合物		0.8	1.0	0.9	ND	ND	ND	ND	1.1	0.9	ND	1.0	ND	0.9	0.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	15	0.8	
アモニウム化合物、亜硝酸化合物 及び硝酸化合物		ND	41	17	ND	18	12	11	20	14	ND	24	17	10	21	26	ND	ND	ND	ND	ND	25	12	ND	ND	100	10	
1,4ジオキサン																	ND	ND	ND	0.05	0.05	ND	ND	ND	0.38	0.5	0.05	
その他		ニッケル	ND	0.05	0.05	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.05
		モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	0.07
	全マンガン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	0.4	
	ウラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	0.0001	
	ダイオキシン類	0	0.014	0.0047	0.00012	0.019	0.0050	0.00062	9.1	2.3	0.00013	0.00060	0.00035	0.00037	0	0.00081	0.0026	0	0	0	0	0.00063	0.00020	0.00030	0.00015	10	-	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の未満の数値は、NDと表記する。

(注2)有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。

(注3)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

平成15年度：H15.7.22、H15.10.16、H16.2.5実施

平成16年度：H16.5.17、H16.7.5、H16.10.4、H17.1.25実施

平成17年度：H17.5.10、H17.7.12、H17.10.4、H18.1.12実施

豊島における環境計測（沈砂池）の結果

雨水の放流による環境影響を把握することを目的として、沈砂池の環境計測を実施している。今回、令和2年10月に実施した水質調査結果をとりまとめた。

1. 調査の概要

(1) 調査日

令和2年10月6日（火）

(2) 調査地点（調査地点図参照）

沈砂池1、沈砂池2

(3) 検体採取機関及び分析機関

廃棄物対策課、環境保健研究センター

2. 結果の概要（表1及び表2）

- ・検査を行った全ての項目について、管理基準を満足していた。



調査地点図

表1 豊島における環境計測結果（沈砂池1）

検査項目	沈砂池1																			管理基準値	検出下限
	平成16年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度					
	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均			
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	7.0	9.4	8.2	8.1	8.9	8.4	7.2	8.8	8.0	7.5	8.8	8.2	7.7	9.0	8.4	6.8	8.7	7.9	5.0~9.0	-
	生物学的酸素要求量 (BOD)	2.3	3.1	2.7	0.6	1.5	1.1	1.0	2.2	1.8	0.5	1.3	0.9	0.5	1.1	0.8	ND	2.2	1.3	30 (日間平均20)	0.5
	化学的酸素要求量 (COD)	4.2	12	7.2	2.4	6.5	3.8	4.0	14	7.3	2.6	5.8	4.3	3.6	5.6	4.6	4.4	5.8	5.2	30 (日間平均20)	0.5
	浮遊物質 (SS)	8	16	11	2	4	3	1	2	2	ND	2	1	ND	3	3	ND	3	2	50 (日間平均40)	1
	大腸菌群数	0	4	1	-	-	-	0	0	0	19	19	19	0	0	0	1	1	1	(日間平均3000)	-
	油分 (n-ヘキサン抽出物質)	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	30 (鉱油類にあっては5)	0.5
	フェノール類	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.02
	銅含有量	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.5
	溶解性鉄含有量	ND	0.30	0.30	ND	0.20	0.17	ND	0.10	0.08	ND	0.16	0.11	ND	0.08	0.08	0.13	0.20	0.16	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	0.4
	クロム含有量	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2
	窒素含有量	ND	1.7	1.4	ND	3.0	2.5	ND	1.0	1.0	ND	1.0	1.0	ND	1.0	1.0	ND	5.0	3.0	120 (日間平均60)	1
	燐含有量	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	16 (日間平均8)	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03 ^(注5)	0.003
	シアン化合物	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	0.01	0.01	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機燐化合物	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
	六価クロム化合物	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005
	P C B	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注6)	0.03
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
	四塩化炭素	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
	シス-1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	チウラム	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
	シマジン	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
	ベンゼン	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	ND	0.2	0.2	-	-	-	0.2	0.2	0.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	15	0.8
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	ND	ND	ND	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	100	10
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	-	-	-	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.4
	ウラン	-	-	-	-	-	-	0.0001	0.0001	0.0001	0.0003	0.0003	0.0003	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002	-	0.0001
	ダイオキシン類	3.2	15	7.2	0.20	1.4	0.78	0.081	1.8	1.0	0.012	8.3	1.9	0.14	4.2	1.5	0.22	1.0	0.58	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類(pg-TEQ/L)を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の未満の数値は、NDと表記する。

(注2)有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度及び平成30年度に項目、頻度などの見直しを行った。

(注5)排水基準の変更に伴い、管理基準を変更した。(平成26年11月までの排水基準値は0.1mg/Lである。)

(注6)排水基準の変更に伴い、管理基準を変更した。(平成27年10月までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

表1 豊島における環境計測結果（沈砂池1）

検査項目	沈砂池1																		管理基準値	検出下限	
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度					
	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均			
生活環境項目	水素イオン濃度（pH）	6.9	8.1	7.5	7.4	8.3	8.0	7.6	8.7	8.0	7.8	8.4	8.1	8.0	8.9	8.4	7.7	8.5	8.2	5.0～9.0	-
	生物化学的酸素要求量（BOD）	ND	1.0	0.8	ND	1.1	1.1	ND	1.3	0.8	ND	1.3	0.8	ND	1.7	1.4	0.9	2.0	1.4	30（日間平均20）	0.5
	化学的酸素要求量（COD）	4.3	12	8.8	4.2	18	9.0	5.8	18	9.7	4.9	9.4	6.5	0.5	7.5	4.8	3.0	5.7	4.6	30（日間平均20）	0.5
	浮遊物質（SS）	ND	4	3	ND	4	3	ND	3	2	ND	3	2	ND	5	3	1	2	1	50（日間平均40）	1
	大腸菌群数	0	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	10	10	10	53	53	53	（日間平均3000）	-
	油分（n-ヘキサン抽出物質）	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	30（鉱油類にあっては5）	0.5
	フェノール類	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.06	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.02
	銅含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	0.3	0.3	ND	0.2	0.2	ND	0.5	0.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.5
	溶解性鉄含有量	ND	1.8	0.40	ND	0.20	0.15	ND	0.18	0.12	ND	0.14	0.08	ND	0.16	0.13	ND	0.21	0.13	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.7	0.6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	0.4
	クロム含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2
	窒素含有量	1.0	7.0	4.1	ND	5.0	3.4	2.0	10	4.4	1.0	2.0	1.9	1.0	2.0	1.4	ND	1.0	1.0	120（日間平均60）	1
	燐含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	16（日間平均8）	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03 ^(注5)	0.003
	シアン化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	0.01	0.01	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機燐化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	1	0.1
	六価クロム化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005
	P C B	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注6)	0.03
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
	シス-1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	0.06	0.006
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	0.03	0.003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	0.2	0.02
	ベンゼン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	0.9	1.9	1.4	ND	ND	ND	0.8	1.5	1.2	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.1	0.1	0.1	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	15	0.8
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	100	10
	その他	1,4-ジオキサン	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5
モリブデン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.16	0.16	ND	ND	ND	-	0.07	
全マンガン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.8	0.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.4	
ウラン		0.0016	0.0016	0.0016	0.0002	0.0002	0.0002	0.0019	0.0019	0.0019	0.0010	0.0010	0.0010	0.0007	0.0007	0.0007	0.0001	0.0001	0.0001	-	0.0001
ダイオキシン類	0.1	6.0	2.4	0.7	10	5.9	0.3	9.5	3.8	0.0	9.9	1.9	0.0	3.2	1.4	1.2	6.8	3.7	10	-	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類(pg-TEQ/L)を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の未満の数値は、NDと表記する。

(注2)有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度及び平成30年度に項目、頻度などの見直しを行った。

(注5)排水基準の変更に伴い、管理基準を変更した。(平成26年11月までの排水基準値は0.1mg/Lである。)

(注6)排水基準の変更に伴い、管理基準を変更した。(平成27年10月までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

表1 豊島における環境計測結果（沈砂池1）

検査項目	沈砂池1											管理基準値	検出下限	
	平成29年度			平成30年度		令和元年度			令和2年度					
	最小	最大	平均	H30.7.12	H30.10.11	H31.4.25 ^(注5)	R1.8.26	R2.1.21	R2.3.18	R2.10.6				
生活環境項目	水素イオン濃度（pH）	6.7	7.8	7.4	7.7	7.8	7.7					8.9	5.0～9.0	-
	生物化学的酸素要求量（BOD）	1.4	2.6	1.9	3.2	4.3	-					-	30（日間平均20）	0.5
	化学的酸素要求量（COD）	3.0	5.3	4.1	5.0	5	23					7.2	30（日間平均20）	0.5
	浮遊物質（SS）	1	3	2	8	1	7					4	50（日間平均40）	1
	大腸菌群数	0	0	0	0	-	-					-	（日間平均3000）	-
	油分（n-ヘキサン抽出物質）	ND	ND	ND	1.3	-	-					-	30（鉱油類にあっては5）	0.5
	フェノール類	ND	ND	ND	ND	-	-					-	5	0.02
	銅含有量	ND	ND	ND	ND	-	-					-	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	-					-	5	0.5
	溶解性鉄含有量	ND	0.08	0.08	1.0	ND	ND					ND	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	ND	ND	ND	ND	-	-					-	10	0.4
	クロム含有量	ND	ND	ND	ND	-	-					-	2	0.2
	窒素含有量	ND	ND	ND	2.7	ND	-					-	120（日間平均60）	1
	燐含有量	ND	ND	ND	ND	-	-					-	16（日間平均8）	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	-	-					-	0.03	0.003
	シアン化合物	ND	ND	ND	ND	-	-					-	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	-					-	0.1	0.01
	有機燐化合物	ND	ND	ND	ND	-	-					-	1	0.1
	六価クロム化合物	ND	ND	ND	ND	-	-					-	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	ND	ND	ND	ND	-	-					-	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	ND	ND	ND	ND	-	-					-	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	ND	-	-					-	検出されないこと	0.0005
	P C B	ND	ND	ND	ND	-	-					-	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	-	-					-	0.1	0.03
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	-	-					-	0.1	0.01
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	-	-					-	0.2	0.02
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	-	-					-	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	-	-					-	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	-	-					-	0.2	0.02
	シス-1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	-	-					-	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	-	-					-	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	-	-					-	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	-	-					-	0.02	0.002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	-	-					-	0.06	0.006
	シマジン	ND	ND	ND	ND	-	-					-	0.03	0.003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	-	-					-	0.2	0.02
	ベンゼン	ND	ND	ND	ND	-	-					-	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	ND	ND	ND	ND	-	-					-	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	ND	ND	ND	ND	-	-					-	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	ND	ND	ND	ND	-	-					-	15	0.8
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	ND	ND	ND	ND	-	-					-	100	10
	1,4-ジオキサン	ND	ND	ND	ND	-	-					-	0.5	0.05
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	-					-	-	0.07
	全マンガン	ND	ND	ND	ND	-	-					-	-	0.4
	ウラン	0.0001	0.0001	0.0001	0.0008	-	-					-	-	0.0001
	ダイオキシン類	0.00047	0.89	0.33	0.89	0.015	0.032					0.10	10	-

採水できず欠測

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/L) を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の未満の数値は、NDと表記する。
(注2)有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。
(注3)下線：管理基準を満足していない項目
(注4)平成18年度及び平成30年度に項目、頻度などの見直しを行った。
(注5)沈砂池1の管理を自然越流方式に切替え済みであり、沈砂池1内の溜まり水を採水したため参考値である。

表2 豊島における環境計測結果（沈砂池2）

検査項目	沈砂池2																		管理基準値	検出下限	
	平成16年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度					
	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均			
生活環境項目	水素イオン濃度（pH）	7.5	9.5	8.4	7.3	8.6	7.8	7.8	8.9	8.3	7.8	8.8	8.5	7.7	8.7	8.1	7.1	7.4	7.3	5.0~9.0	-
	生物学的酸素要求量（BOD）	2.8	5.1	4.0	1.4	3.5	2.2	1.0	3.9	2.4	0.6	2.9	1.7	0.7	1.5	1.0	ND	1.2	1.2	30（日間平均20）	0.5
	化学的酸素要求量（COD）	5.4	11	8.2	4.6	7.3	5.8	5.0	16	8.6	7.0	8.6	7.8	6.3	9.1	7.6	6.3	7.9	7.1	30（日間平均20）	0.5
	浮遊物質（SS）	5	110	41	2	4	3	2	7	4	3	3	3	1	3	3	1	2	1	50（日間平均40）	1
	大腸菌群数	0	42	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	（日間平均3000）	-
	油分（n-ヘキサン抽出物質）	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	30（鉱油類にあっては5）	0.5
	フェノール類	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.02
	銅含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	1.0	1.0	ND	2.7	2.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.5
	溶解性鉄含有量	ND	1.3	1.3	0.05	0.47	0.19	ND	0.06	0.06	ND	0.22	0.15	ND	0.30	0.18	0.08	0.09	0.09	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	ND	0.4	0.4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	0.4
	クロム含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2
	窒素含有量	1.5	2.0	1.8	1.0	3.0	2.0	ND	1.0	1.0	ND	3.0	2.0	ND	7.0	3.3	3.0	8.0	5.5	120（日間平均60）	1
	燐含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	16（日間平均8）	0.1
	健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03 ^(注5)
シアン化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
鉛及びその化合物		ND	0.06	0.06	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
有機燐化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
六価クロム化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05
砒素及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.0005
アルキル水銀化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005
P C B		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0005
トリクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注6)	0.03
テトラクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
ジクロロメタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
四塩化炭素		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
1,2-ジクロロエタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
1,1-ジクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	0.04
1,1,1-トリクロロエタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
1,1,2-トリクロロエタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
1,3-ジクロロプロペン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
チウラム		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
シマジン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.003
チオベンカルブ		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
ベンゼン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
セレン及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
ほう素及びその化合物	0.1	8.2	4.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.1	0.1	ND	ND	ND	230	0.1	
ふっ素及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.2	0.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	15	0.8	
アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	100	10	
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.4
	ウラン	-	-	-	0.0007	0.0007	0.0007	0.0008	0.0008	0.0008	0.0006	0.0006	0.0006	0.0012	0.0012	0.0012	0.0003	0.0003	0.0003	-	0.0001
	ダイオキシン類	6.4	14	10	0.5	2.6	1.4	0.0	1.3	0.6	0.2	15	3.9	0.1	2.3	1.0	0.7	1.4	1.1	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類(pg-TEQ/L)を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の未満の数値は、NDと表記する。

(注2)有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度及び平成30年度に項目、頻度などの見直しを行った。

(注5)排水基準の変更に伴い、管理基準を変更した。(平成26年11月までの排水基準値は0.1mg/Lである。)

(注6)排水基準の変更に伴い、管理基準を変更した。(平成27年10月までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

表2 豊島における環境計測結果（沈砂池2）

検査項目	沈砂池2																	管理基準値	検出下限
	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成28年度	平成30年度	令和元年度				令和2年度			
	H23.11.11	H24.1.24	H24.5.9	H24.12.27	H25.12.4	H26.2.6	H26.9.30	H27.3.23	H27.8.26	H29.3.7	H30.11.14	H31.4.25	R1.8.26	R2.1.21	R2.3.18	R2.10.6			
生活環境項目	水素イオン濃度（pH）	8.8	8.4	8.8	7.6	7.0	7.1	8.0	7.5	8.4	7.9	8.1	8.1	9.0	8.0	8.1	8.7	5.0～9.0	-
	生物化学的酸素要求量（BOD）	ND	0.5	ND	1.5	0.7	ND	0.8	ND	1.7	0.9	-	-	-	-	-	-	30（日間平均20）	0.5
	化学的酸素要求量（COD）	7.6	7.5	8.4	19	8.5	5.0	8.3	9.4	9.6	7.0	9.5	10	18	10	9.3	16	30（日間平均20）	0.5
	浮遊物質（SS）	1	ND	ND	2	1	ND	ND	2	1	ND	1	5	6	ND	2	5	50（日間平均40）	1
	大腸菌群数	0	-	-	0	8	-	0	-	22	0	-	-	-	-	-	-	（日間平均3000）	-
	油分（n-ヘキサン抽出物質）	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	30（鉱油類にあっては5）	0.5
	フェノール類	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	5	0.02
	銅含有量	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	5	0.5
	溶解性鉄含有量	0.06	ND	ND	ND	0.18	ND	ND	0.17	ND	ND	ND	ND	0.12	ND	ND	0.06	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	10	0.4
	クロム含有量	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	2	0.2
	窒素含有量	ND	1	ND	2	1	1	ND	2	1	1	-	-	-	-	-	-	120（日間平均60）	1
	燐含有量	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	16（日間平均8）	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.03 ^(注5)	0.003
	シアン化合物	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
	有機燐化合物	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	1	0.1
	六価クロム化合物	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	検出されないこと	0.0005
	P C B	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.1 ^(注6)	0.03
	テトラクロロエチレン	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
	ジクロロメタン	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.2	0.02
	四塩化炭素	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.2	0.02
	シス-1,2-ジクロロエチレン	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロペン	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.02	0.002
	チウラム	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.06	0.006
	シマジン	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.03	0.003
	チオベンカルブ	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.2	0.02
	ベンゼン	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	0.2	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	230	0.1
ふっ素及びその化合物	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	15	0.8	
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	100	10	
1,4-ジオキサン	-	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	0.5	0.05	
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.07
	全マンガン	ND	-	-	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.4
	ウラン	0.0008	-	-	0.0011	0.0009	-	0.0004	-	0.0005	0.0011	-	-	-	-	-	-	-	0.0001
	ダイオキシン類	3.4	0.0015	0.74	0.061	0.18	0.011	0.13	2.1	2.5	0.14	0.025	0.037	0.0095	1.4	0.0014	0.57	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類(pg-TEQ/L)を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の未満の数値は、NDと表記する。

(注2)有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度及び平成30年度に項目、頻度などの見直しを行った。

(注5)排水基準の変更に伴い、管理基準を変更した。(平成26年11月までの排水基準値は0.1mg/Lである。)

(注6)排水基準の変更に伴い、管理基準を変更した。(平成27年10月までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

豊島における周辺環境モニタリング（水質・底質）の結果

豊島における周辺環境モニタリングは、暫定的な環境保全措置の実施、高度排水処理施設等の建設・運転時、廃棄物等の掘削・運搬の開始後のそれぞれの段階において、周辺環境への影響を把握することを目的としており、これまで、バックグラウンドを確認する事前環境モニタリング、工事前及び工事中、掘削・運搬の開始後の周辺地先海域及び海岸感潮域における調査を順次実施してきた。

今回、令和2年8月及び10月に実施した調査結果をとりまとめた。

1 調査の経緯

	調査区分	調査期間	工事、運転等との関連
報告済	事前環境モニタリング	平成10年12月～平成11年12月 (4回実施)	暫定工事の開始前に、バックグラウンドを確認するため実施した。
	暫定的な環境保全措置 工事前	平成12年7月27日(木)	事前環境モニタリング終了後、暫定工事開始前に実施した。
	暫定的な環境保全措置 工事中	平成13年7月18日(水)	北海岸では本矢板の打設が終了しており、東側のドレーン工を実施していた。また、東側雨水排水路、透気遮水シートの施工中であり、西海岸においては掘削作業を実施していた。
		平成14年2月1日(金)	西海岸では埋め戻し施工中、西海岸北東部では透気遮水シート、水路の施工中であった。
	中間保管梱包施設、高度 排水処理施設建設工 事中	平成14年7月23日(火)	中間保管梱包施設のピット部の基礎工事、高度排水処理施設の水槽部の基礎工事を実施していた。
		平成15年2月6日(木)	中間保管梱包施設の内部仕上げ及び外構工事、高度排水処理施設の無負荷運転を実施していた。
	廃棄物等の掘削・運搬 中、高度排水処理施設等 の運転中	平成15年5月15日(木) (水質調査)	中間処理施設試運転のため、廃棄物等の掘削・運搬作業及び高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成15年7月14日(月) (水質調査、底質調査)	
		平成15年10月24日(金) (水質調査、底質調査)	中間処理施設本格稼働後、廃棄物等の掘削・運搬作業及び高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成16年2月10日(火) (水質調査)	掘削現場の場内整備、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成16年6月1日(火) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成16年7月29日(木) (水質調査、底質調査)	
		平成16年11月2日(火) (水質調査、底質調査)	
		平成17年1月14日(金) (水質調査)	
		平成17年5月23日(月) (水質調査)	
平成17年7月21日(木) (水質調査、底質調査)			
平成17年11月7日(月) (水質調査)			
平成18年1月18日(水) (水質調査)			

	調査区分	調査期間	工事、運転等との関連
報告済	廃棄物等の掘削・運搬中、高度排水処理施設等の運転中	平成18年5月26日(金) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成18年8月8日(金) (水質調査、底質調査)	
		平成18年11月27日(月) (水質調査)	
		平成19年1月24日(水) (水質調査)	
		平成19年6月14日(木) (水質調査)	
		平成19年8月27日(月) (水質調査・底質調査)	
		平成19年11月15日(木) (水質調査)	
		平成20年1月25日(金) (水質調査)	
		平成20年5月21日(水) (水質調査)	
		平成20年8月27日(水) (水質調査・底質調査)	
		平成20年11月17日(月) (水質調査)	
		平成21年1月28日(水) (水質調査)	
		平成21年5月21日(木) (水質調査)	
		平成21年8月19日(水) 平成21年8月20日(木) (水質調査・底質調査)	
		平成21年11月6日(金) (水質調査)	
		平成22年1月20日(水) (水質調査)	
		平成22年5月27日(木) (水質調査)	
		平成22年8月30日(月) (水質調査・底質調査)	
平成22年11月11日(木) (水質調査)			
平成23年1月24日(月) 平成23年1月25日(火) (水質調査)			
平成23年6月29日(水) (水質調査)			

	調査区分	調査期間	工事、運転等との関連
報告済	廃棄物等の掘削・運搬中、高度排水処理施設等の運転中	平成23年8月26日(金) (水質調査・底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成23年11月17日(木) (水質調査)	
		平成24年1月27日(金) (水質調査)	
		平成24年5月16日(水) (水質調査)	
		平成24年8月2日(木) (水質調査・底質調査)	
		平成24年11月19日(月) (水質調査)	
		平成25年1月17日(木) (水質調査)	
		平成25年5月22日(水) (水質調査)	
		平成25年8月19日(月) (水質調査・底質調査)	
		平成25年11月8日(金) (水質調査)	
		平成26年1月22日(水) (水質調査)	
		平成26年5月26日(水) (水質調査)	
		平成26年8月7日(木) (水質調査・底質調査)	
		平成26年11月12日(水) (水質調査)	
		平成27年1月26日(月) (水質調査)	
		平成27年5月25日(金) (水質調査)	
		平成27年7月30日(木) (水質調査・底質調査)	
		平成27年11月17日(火) (水質調査)	
		平成28年1月28日(木) (水質調査)	
平成28年5月19日(木) (水質調査)			
平成28年8月2日(火) (水質調査・底質調査)			

	調査区分	調査期間	工事、運転等との関連
報告済	廃棄物等の掘削・運搬中、高度排水処理施設等の運転中	平成28年11月18日(金) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成29年1月16日(月) (水質調査)	
	処分地内の構造物撤去中、高度排水処理施設等の運転中	平成29年5月25日(木) (水質調査)	処分地内の構造物撤去工事、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成29年7月24日(月) (水質調査・底質調査)	
		平成29年11月9日(木) (水質調査)	
		平成30年1月22日(月) (水質調査)	
	高度排水処理施設等の運転中	平成30年5月14日(月) (水質調査)	高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成30年7月12日(木) (水質調査・底質調査)	
		平成30年11月28日(水) (水質調査)	
		平成31年1月23日(水) (水質調査)	
令和元年7月4日(木) (水質調査・底質調査)			
令和2年8月17日(月) (水質調査・底質調査)			
今回報告		令和2年10月23日(金) (水質調査)	

2 調査の概要

(1) 調査地点 (調査地点図参照)

1) 周辺地先海域

○水質調査

St-3 (西海岸沖)、St-4 (北海岸沖) 及び St-8 (北海岸沖)

○底質調査

St-3 (西海岸沖) 及び St-4 (北海岸沖)

2) 海岸感潮域

○水質調査

St-A (西海岸)、St-B (北海岸) 及び St-E (北海岸)

○底質調査

St-A (西海岸)、St-B (北海岸) 及び St-E (北海岸)

(2) 検体採取機関及び分析機関

①検体採取機関：廃棄物対策課、環境保健研究センター

②分析機関：環境保健研究センター

3 調査結果の概要

(1) 周辺地先海域

1) 水質調査

これまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

○一般項目（生活環境保全上の基準：8項目）

- ・COD及びDO、全窒素、全リン、全亜鉛が環境基準に適合していない地点があった。
- ・その他の項目については、全ての地点において環境基準を満足していた。

○健康項目（人の健康を保護する上での基準：13項目）

- ・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素は全ての地点で検出されたが、環境基準を満足していた。
- ・その他の項目は全ての地点で検出されず、環境基準を満足していた。

2) 底質調査

これまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

(2) 海岸感潮域

1) 水質調査

これまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

○一般項目（7項目）

- ・全ての項目及び地点で、管理基準を満足していた。

○健康項目（22項目）

- ・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が全ての地点において検出されたが、管理基準を満足していた。
- ・その他の項目は全ての地点で検出されず、管理基準を満足していた。

2) 底質調査

これまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

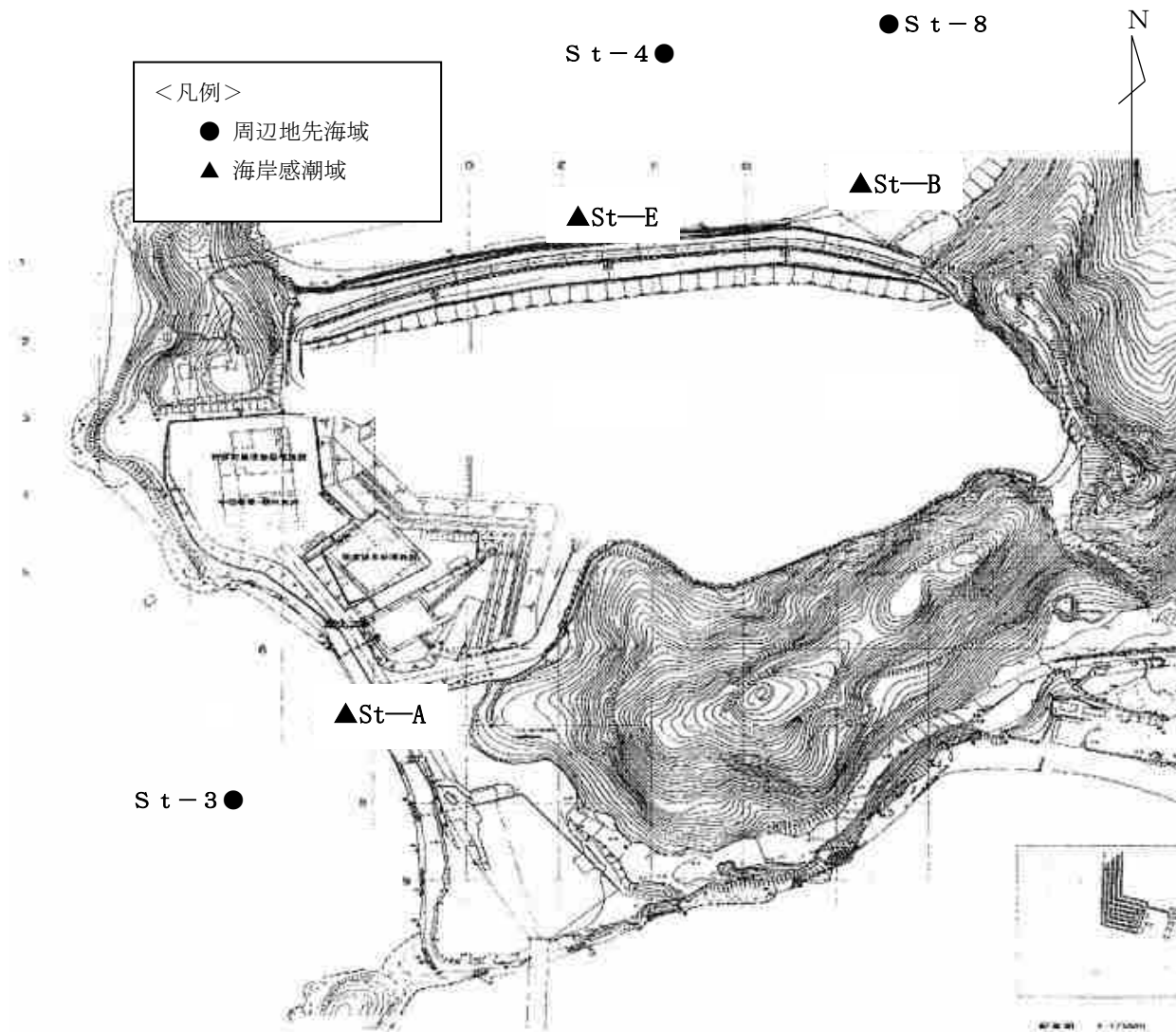


表1 豊島における周辺環境モニタリング（周辺地先海域水質）

測定項目 測定場所	調査日	pH	COD	DO	油分等	大腸菌群数	全窒素	全リン	全亜鉛	アルキル水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価クロム	ヒ素	全シアン	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン	
南海岸沖 St-1	H13.7.18	7.7	1.3	6.9	ND	2.0	0.12	0.021	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	H12.7.27	8.0	1.5	6.2	ND	ND	0.57	0.027	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
西海岸沖 St-3	令和2年度	R2.8.17	8.1	2.0	7.2	ND	ND	0.33	0.034	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	ND	ND
	令和元年度	R1.7.4	7.9	2.1	8.0	ND	ND	0.30	0.034	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	ND	ND
	平成30年度	最小	7.9	1.3	7.4	ND	ND	0.16	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	2.4	9.1	ND	70	0.38	0.041	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.9	8.2	ND	20	0.28	0.031	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成29年度	最小	7.9	1.1	6.9	ND	ND	0.12	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.3	10.8	ND	2.0	0.35	0.049	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.7	8.2	ND	2.0	0.23	0.031	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成28年度	最小	8.0	1.5	7.0	ND	ND	0.15	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.0	9.5	ND	ND	0.32	0.040	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	8.3	ND	ND	0.21	0.029	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成27年度	最小	7.9	1.0	7.1	ND	ND	0.16	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.8	9.9	ND	490	0.43	0.036	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.4	8.5	ND	120	0.26	0.026	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成26年度	最小	7.8	1.4	6.1	ND	2.0	0.27	0.018	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.9	9.5	ND	23	0.41	0.043	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.6	7.7	ND	13	0.52	0.030	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	最小	8.1	1.1	6.6	ND	ND	0.15	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.6	9.6	ND	13	0.36	0.038	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.4	8.3	ND	3.8	0.23	0.027	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	最小	8.0	0.7	6.8	ND	ND	0.13	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.3	9.6	ND	7.8	0.35	0.031	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.6	8.4	ND	3.4	0.26	0.023	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	最小	7.9	1.7	5.8	ND	ND	0.21	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.9	9.8	ND	ND	0.58	0.045	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	2.4	7.8	ND	ND	0.32	0.030	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	最小	8.1	1.2	8.2	ND	ND	0.19	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.5	9.0	ND	ND	0.25	0.040	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.4	8.7	ND	ND	0.22	0.021	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	最小	8.1	1.1	7.2	ND	ND	0.14	0.019	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	1.8	9.7	ND	33	0.28	0.038	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	8.2	ND	15	0.21	0.027	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	最小	8.0	0.9	6.5	ND	ND	0.11	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.3	9.3	ND	2.0	0.26	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	7.8	ND	1.9	0.18	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	8.0	1.0	6.7	ND	ND	0.10	0.023	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.6	8.5	ND	13	0.19	0.042	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	7.5	ND	5.3	0.15	0.030	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	8.2	1.0	7.6	ND	ND	0.16	0.024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	1.8	8.7	ND	4.5	0.27	0.033	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.3	1.4	8.1	ND	ND	0.22	0.027	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	8.1	1.5	7.1	ND	1.8	0.10	0.019	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.9	9.4	ND	220	0.27	0.049	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	2.1	8.0	ND	57	0.18	0.030	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	8.0	1.7	6.5	ND	ND	0.12	0.018	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.2	9.7	ND	23	0.30	0.046	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.9	7.9	ND	7.1	0.19	0.031	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	最小	7.7	1.1	6.7	ND	ND	0.11	0.014	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.4	1.8	8.6	ND	40	0.40	0.045	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	7.6	ND	11	0.22	0.029	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成14年度	7.9~8.1	1.6~2.1	6.6~9.2	ND	ND	0.10~0.63	0.022~0.030	—	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成13年度	7.9~8.0	1.4~1.6	7.0~9.1	ND	ND	0.12~0.13	0.020~0.021	—	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
平成12年度	8.0	1.6	6.2	ND	ND	0.42	0.025	—	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)	8.0~ 8.1 (8.0)	1.4~ 2.0 (1.7)	6.3~ 8.9 (7.5)	ND	—	—	0.13~ 0.28 (0.22)	0.027~ 0.044 (0.036)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	ND	ND
環境基準 (海域A・II類型)	7.8~ 8.3	≤2	≥7.5	ND	≤1000	≤0.3	≤0.03	≤0.01 ⁶⁾	—	ND	≤0.0005	≤0.003 ¹⁰⁾	≤0.01	≤0.05	≤0.01	ND	ND	≤0.03	≤0.01	≤0.02	
検出下限値 (ND)	—	<0.5	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.002	—	<0.0005	<0.0005	<0.0003 ⁹⁾	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	

測定項目 測定場所	調査日		pH	COD	DO	油分等	大腸菌群数	全窒素	全リン	全亜鉛	アルキル水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価クロム	ヒ素	全シアン	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン	
	令和2年度	R2. 8. 17																				
北海岸沖 St-4	令和元年度	R1. 7. 4	8.0	2.1	7.9	ND	ND	0.26	0.029	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	ND	ND	ND	
	平成30年度	最小	8.0	1.1	6.9	ND	ND	0.17	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.8	9.4	ND	70	0.29	0.041	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.9	8.2	ND	19	0.25	0.030	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成29年度	最小	8.0	0.9	7.0	ND	ND	0.14	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	1.9	10.9	ND	4.0	0.42	0.049	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.4	8.4	ND	2.4	0.26	0.031	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成28年度	最小	8.1	1.5	7.0	ND	ND	0.16	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.6	9.5	ND	4.0	0.29	0.038	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.9	8.3	ND	2.0	0.20	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成27年度	最小	8.0	1.2	7.2	ND	ND	0.16	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.7	10	ND	490	0.50	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.5	8.6	ND	120	0.33	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成26年度	最小	7.9	1.0	5.7	ND	2.0	0.15	0.016	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.8	9.7	ND	23	0.57	0.043	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.5	7.7	ND	13	0.37	0.030	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	最小	8.1	1.1	6.8	ND	ND	0.18	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.8	11	ND	13	0.34	0.034	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	8.6	ND	3.8	0.24	0.025	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	最小	7.9	2.1	6.3	ND	ND	0.17	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.4	9.9	ND	2.0	0.35	0.050	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	2.3	8.1	ND	1.9	0.27	0.032	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	最小	7.9	2.1	6.3	ND	ND	0.17	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.4	9.9	ND	2.0	0.35	0.050	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	2.3	8.1	ND	1.9	0.27	0.032	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	最小	8.1	1.0	7.7	ND	ND	0.15	0.006	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.2	9.2	ND	4.5	0.40	0.043	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	8.4	ND	2.6	0.25	0.022	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	最小	8.0	1.3	7.4	ND	ND	0.13	0.017	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.8	9.8	ND	7.8	0.25	0.042	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.6	8.2	ND	4.8	0.22	0.031	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	最小	8.0	0.9	6.6	ND	ND	0.15	0.014	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.1	9.7	ND	4.5	0.25	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	8.1	ND	2.6	0.19	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	8.0	1.0	6.9	ND	ND	0.12	0.024	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.5	8.8	ND	23	0.29	0.044	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	1.8	7.7	ND	8.6	0.22	0.031	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	8.1	1.2	8.0	ND	ND	0.19	0.026	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.5	8.6	ND	1.8	0.26	0.038	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	1.6	8.4	ND	ND	0.21	0.030	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	8.0	1.9	7.4	ND	ND	0.14	0.021	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	3.1	9.4	ND	2.0	0.30	0.044	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
平均		8.2	2.3	8.2	ND	1.9	0.19	0.028	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成16年度	最小	8.0	1.7	6.5	ND	2.0	0.14	0.016	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	最大	8.2	2.4	8.5	ND	540	0.27	0.049	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平均	8.1	2.0	7.5	ND	140	0.21	0.030	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成15年度	最小	7.9	1.1	6.8	ND	ND	0.11	0.015	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	最大	8.4	2.0	8.9	ND	17	0.28	0.048	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平均	8.1	1.7	7.9	ND	6.2	0.21	0.031	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成14年度	8.0~8.3		1.4~2.0	7.0~9.4	ND	ND	0.11~0.19	0.019~0.027	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成13年度	7.9~8.1		1.4~1.7	7.0~9.1	ND	ND	0.13~0.14	0.020~0.022	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成12年度	8.0		1.9	6.7	ND	ND	0.17	0.025	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)	8.0~ (8.1)		1.5~ (1.9)	6.5~ (7.6)	ND	-	0.12~ (0.23)	0.026~ (0.034)	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
環境基準 (海域A・II類型)	7.8~ 8.3		≤2	≥7.5	ND	≤1000	≤0.3	≤0.03	≤0.01 ⁶⁾	ND	≤0.0005	≤0.003 ¹⁰⁾	≤0.01	≤0.05	≤0.01	ND	ND	≤0.03	≤0.01	≤0.02		
検出下限値 (ND)	-		<0.5	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0003 ⁹⁾	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002		

測定項目 測定場所	調査日	pH	COD	DO	油分等	大腸菌群数	全窒素	全リン	全亜鉛	アルキル水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価クロム	ヒ素	全シアン	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン		
北海岸沖 St-8	令和2年度	R2.8.17	8.1	3.7	7.1	ND	ND	0.59	0.039	0.020	-	-	-	-	-	-	-	-	ND	ND	ND	
	令和元年度	R1.7.4	8.0	1.9	8.2	ND	2.0	0.28	0.029	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	ND	ND	ND	
	平成30年度	最小	8.0	1.2	6.9	ND	ND	0.18	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.0	9.5	ND	49	0.36	0.040	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.7	8.3	ND	14	0.25	0.029	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成29年度	最小	8.0	0.8	7.2	ND	ND	0.14	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.1	10.7	ND	2.0	0.34	0.049	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.6	8.4	ND	1.9	0.22	0.031	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成28年度	最小	8.1	1.4	7.0	ND	ND	0.15	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.1	9.4	ND	ND	0.37	0.038	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	8.3	ND	ND	0.23	0.029	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成27年度	最小	8.0	1.6	7.4	ND	ND	0.17	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.3	11	ND	240	0.71	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	2.0	8.7	ND	61	0.35	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成26年度	最小	7.9	1.3	5.6	ND	23	0.25	0.018	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.1	10	ND	23	0.69	0.041	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.7	7.7	ND	23	0.44	0.030	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	最小	8.1	1.1	6.9	ND	ND	0.19	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.9	10	ND	7.8	0.35	0.034	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	8.6	ND	2.0	0.24	0.026	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	最小	7.9	2.3	6.3	ND	ND	0.20	0.023	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.6	9.9	ND	2.0	0.51	0.050	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	2.5	8.1	ND	1.9	0.30	0.034	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	最小	7.9	2.3	6.3	ND	ND	0.20	0.023	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.6	9.9	ND	2.0	0.51	0.050	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	2.5	8.1	ND	1.9	0.30	0.034	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	最小	8.1	1.4	8.1	ND	ND	0.19	0.006	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.0	9.1	ND	2.0	0.24	0.036	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	8.6	ND	ND	0.22	0.014	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	最小	8.1	1.4	7.3	ND	ND	0.11	0.015	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	1.6	9.8	ND	23	0.24	0.046	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	1.6	8.3	ND	8.2	0.20	0.030	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	最小	8.0	1.0	6.6	ND	ND	0.17	0.013	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	1.8	9.4	ND	2.0	0.27	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.6	8.1	ND	1.9	0.20	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	8.0	1.1	7.0	ND	ND	0.09	0.023	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.6	8.7	ND	11	0.37	0.043	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	2.1	7.7	ND	4.2	0.20	0.031	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	8.1	0.5	8.1	ND	ND	0.17	0.023	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.8	8.5	ND	4.5	0.27	0.037	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	1.7	8.3	ND	2.0	0.22	0.029	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	8.1	1.9	7.2	ND	ND	0.11	0.019	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	3.0	9.3	ND	2.0	0.27	0.044	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	2.2	8.0	ND	1.9	0.18	0.030	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	8.0	1.6	6.4	ND	ND	0.14	0.018	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.3	8.5	ND	130	0.28	0.046	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.9	7.5	ND	34	0.20	0.030	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	最小	8.0	1.4	6.9	ND	ND	0.14	0.014	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
最大		8.4	1.8	9.6	ND	25	0.31	0.047	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平均		8.1	1.6	8.0	ND	7.7	0.23	0.030	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成14年度		8.0~8.2	1.3~2.0	6.8~9.5	ND	ND	0.10~0.20	0.019~0.026	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成13年度		8.1	1.7	9.0	ND	ND	0.14	0.020	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		8.0~ (8.0)	1.5~ (1.8)	6.5~ (7.6)	ND	ND~ (ND)	0.12~ (0.21)	0.027~ (0.035)	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
家浦港沖 St-5	H13.7.18	8.0	2.1	7.3	ND	2.0	0.15	0.023	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	H12.7.27	8.0	1.7	6.7	ND	1.8	0.19	0.029	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
環境基準 (海域A・II類型)		7.8~ 8.3	≤2	≥7.5	ND	≤1000	≤0.3	≤0.03	≤0.01 ⁶⁾	ND	≤0.0005	≤0.003 ¹⁰⁾	≤0.01	≤0.05	≤0.01	ND	ND	≤0.03	≤0.01	≤0.02		
検出下限値 (ND)		-	<0.5	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.002	<0.0005	<0.0005	<0.003 ⁹⁾	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002		

測定項目 測定場所	調査日	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1,4-ジオキサン	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩化物イオン	ダイオキシン類 ⁴⁾	
南海岸沖 St-1	H13.7.18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,300	0.078	
	H12.7.27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	0.007	0.001	18,500	0.086	
西海岸沖 St-3	令和2年度	R2.8.17	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—	—	0.02	ND	—	0.007	ND	15,400	0.071	
	令和元年度	R1.7.4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—	—	0.02	ND	—	0.010	ND	18,000	0.096	
	平成30年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	15,600	0.060
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	0.010	ND	17,700	0.071
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	0.010	ND	17,000	0.066
	平成29年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	17,100	0.073
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.18	ND	ND	0.009	ND	18,100	0.081
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.009	ND	17,700	0.077
	平成28年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,200	0.065
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND	ND	0.010	ND	18,300	0.072
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	ND	ND	0.010	ND	17,600	0.069
	平成27年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,000	0.065
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	ND	ND	0.010	ND	17,900	0.078
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.010	ND	17,400	0.072
	平成26年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	0.010	ND	16,700	0.081
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.17	ND	ND	0.011	ND	17,900	0.090
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	ND	ND	0.011	ND	17,400	0.086
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	16,700	0.068
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	18,100	0.29
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	17,600	0.18
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	17,200	0.070
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.016	ND	18,000	0.21
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	0.014	ND	17,500	0.14
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.009	ND	17,300	0.084
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.010	ND	17,900	0.10
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	ND	ND	0.010	ND	17,700	0.092
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,000	0.054
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,800	0.10
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,500	0.077
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,200	0.063
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	19,000	0.094
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	ND	18,500	0.079
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,500	0.071
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	—	ND	ND	ND	18,700	0.074
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	—	ND	ND	ND	18,600	0.073
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	18,000	0.068
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	—	ND	ND	ND	19,100	0.17
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	—	ND	ND	ND	18,500	0.12
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	ND	17,700	0.072
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	—	ND	ND	ND	18,900	0.095
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	—	ND	ND	ND	18,300	0.084
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	ND	ND	18,000	0.076
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	—	ND	ND	ND	19,000	0.077
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	—	ND	ND	ND	18,700	0.077
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,200	0.079
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.20	—	ND	0.010	ND	19,200	0.32
平均		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	0.009	ND	18,500	0.20	
平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	17,400	0.091	
	最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	—	ND	ND	0.001	18,800	0.12	
	平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	ND	0.001	17,800	0.11	
平成14年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	17,900~19,200	0.077~0.087	
平成13年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,300~18,800	0.079~0.25	
平成12年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,500	0.075	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	<0.007~ 0.013 (0.009)	ND	17,400~ 18,600 (18,000)	0.065	
環境基準 (海域A・II類型)	≤0.002	≤0.004	≤0.1 ⁸⁾	≤0.04	≤1	≤0.006	≤0.002	≤0.01	≤0.006	≤0.003	≤0.02	≤0.01	—	≤10	≤0.05	—	0.07 ⁵⁾	0.02 ⁵⁾	—	—	≤1	
検出下限値 (ND)	<0.0002	<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.0006 ⁷⁾	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.005	<0.05	<0.007	<0.001	—	—	—	

測定項目 測定場所	調査日		四塩化 炭素	1,2- ジクロ エタン	1,1- ジクロ エチレン	シス-1,2- ジクロ エチレン	1,1,1- トリクロ エタン	1,1,2- トリクロ エタン	1,3- ジクロ プロペン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオベン カルブ	セレン	有機 リン	硝酸性窒素 及び亜硝酸 性窒素	1,4- ジオキサン	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩化物 イオン	ダイキ ン類 ⁴⁾	
	令和2年度 R2.8.17	令和元年度 R1.7.4																					
北海岸沖 St-4	令和2年度	R2.8.17	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	0.01	ND	-	0.007	ND	15,200	0.073	
	令和元年度	R1.7.4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	0.01	ND	-	0.010	ND	17,900	0.078	
	平成30年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	15,600	0.065
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	ND	ND	0.010	ND	17,700	0.066
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.010	ND	17,000	0.066
	平成29年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	17,000	0.068
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND	ND	0.009	ND	18,200	0.12
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.009	ND	17,700	0.094
	平成28年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,100	0.063
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND	ND	0.010	ND	18,000	0.077
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	ND	ND	0.010	ND	17,400	0.07
	平成27年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	16,600	0.070
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	0.011	ND	17,900	0.079
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.010	ND	17,300	0.075
	平成26年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.009	ND	16,700	0.080
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.17	ND	ND	0.009	ND	17,900	0.13
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND	ND	0.009	ND	17,400	0.11
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	16,700	0.051
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	18,100	0.062
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	17,600	0.057
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	17,100	0.070
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.013	ND	17,900	0.083
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.012	ND	17,500	0.077
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	17,300	0.081
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.23	ND	ND	ND	ND	17,800	0.086
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	ND	ND	17,600	0.084
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,500	0.056
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	ND	ND	18,900	0.089
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	ND	ND	18,600	0.073
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	ND	ND	ND	18,100	0.064
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	-	ND	ND	ND	18,900	0.090
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	-	ND	ND	ND	18,600	0.077
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	ND	ND	ND	18,500	0.073
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	-	ND	ND	ND	18,900	0.074
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	-	ND	ND	ND	18,700	0.074
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	-	ND	ND	ND	17,800	0.067
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	-	ND	ND	ND	19,300	0.086
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	-	ND	ND	ND	18,500	0.077
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	-	ND	ND	ND	17,500	0.095
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	-	ND	ND	ND	18,500	0.097
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	-	ND	ND	ND	18,200	0.096
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	-	ND	ND	ND	17,500	0.075
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	-	ND	ND	ND	18,700	0.089
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	-	ND	ND	ND	18,000	0.082
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	ND	ND	ND	17,800	0.078
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.18	-	ND	0.007	ND	18,800	0.083
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	-	ND	0.007	ND	18,300	0.081
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	ND	ND	ND	17,000	0.086
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	-	ND	ND	ND	19,000	0.17
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	-	ND	ND	ND	17,700	0.12
	平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	ND	ND	ND	17,900~19,300	0.077~0.08
平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	ND	ND	ND	18,200~18,800	0.081~0.14	
平成12年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	ND	0.007	0.001	18,300	0.086	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	ND	0.008~ 0.012 (0.009)	ND	17,200~ 18,600 (17,900)	0.065	
環境基準 (海域A・II類型)			≤0.002	≤0.004	≤0.1 ⁸⁾	≤0.04	≤1	≤0.006	≤0.002	≤0.01	≤0.006	≤0.003	≤0.02	≤0.01	-	≤10	≤0.05	-	0.07 ⁵⁾	0.02 ⁵⁾	-	≤1	
検出下限値 (ND)			<0.0002	<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.0006 ⁷⁾	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.005	<0.05	<0.007	<0.001	-	-	

測定項目 測定場所	調査日		四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1,4-ジオキサン	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩化物イオン	ダイオキシン類 ⁴⁾	
	令和2年度	R2.8.17																					
北海岸沖 St-8	令和元年度	R1.7.4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	0.01	ND	-	0.011	ND	17,800	0.088	
	平成30年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	15,400	0.067
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	ND	ND	0.010	ND	17,900	0.068
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.010	ND	17,000	0.068
	平成29年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	17,000	0.068
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND	ND	0.009	ND	18,100	0.073
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	0.009	ND	17,700	0.071
	平成28年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,200	0.064
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	ND	ND	0.010	ND	18,000	0.064
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	0.010	ND	17,500	0.064
	平成27年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	0.009	ND	16,700	0.061
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	0.011	ND	17,800	0.094
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.010	ND	17,300	0.078
	平成26年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	0.009	ND	16,600	0.065
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.17	ND	ND	0.010	ND	17,700	0.078
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	0.010	ND	17,300	0.072
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.010	ND	17,000	0.054
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.013	ND	18,000	0.32
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	ND	ND	0.012	ND	17,700	0.19
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND	17,100	0.070
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.015	ND	17,900	0.071
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.012	ND	17,500	0.071
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	0.008	ND	17,300	0.068
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.23	ND	ND	0.010	ND	17,800	0.073
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND	ND	0.009	ND	17,600	0.071
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	18,000	0.055
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	ND	ND	18,800	0.080
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	18,500	0.068
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	-	ND	ND	ND	18,200	0.058
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	-	ND	ND	ND	18,800	0.10
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	-	ND	ND	ND	18,500	0.079
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	ND	ND	ND	18,500	0.074
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	-	ND	ND	ND	18,900	0.087
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	-	ND	ND	ND	18,700	0.081
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	-	ND	ND	ND	17,700	0.061
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	-	ND	ND	ND	19,000	0.11
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	-	ND	ND	ND	18,500	0.086
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	-	ND	ND	ND	18,000	0.082
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	-	ND	ND	ND	18,800	0.094
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	-	ND	ND	ND	18,300	0.088
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	-	ND	ND	ND	17,300	0.088
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	-	ND	ND	ND	18,700	0.095
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	-	ND	ND	ND	18,000	0.092
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	ND	0.008	ND	17,400	0.077
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.21	-	ND	0.008	ND	19,600	0.55
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	-	ND	0.008	ND	18,400	0.31
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	ND	ND	ND	16,600	0.080
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	-	ND	0.007	0.004	19,000	0.18
平均		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	-	ND	0.007	0.002	17,600	0.14	
平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	ND	ND	ND	17,900~19,300	0.077~0.079	
平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	ND	ND	ND	18,700	0.079	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	ND	0.008~ 0.010 (0.009)	ND	17,300~ 18,500 (17,900)	0.065	
家浦港沖 St-5	H13.7.18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	ND	ND	ND	17,900	0.41	
	H12.7.27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	ND	0.007	0.001	18,200	0.084	
環境基準 (海域A・II類型)			≤0.002	≤0.004	≤0.1 ⁸⁾	≤0.04	≤1	≤0.006	≤0.002	≤0.01	≤0.006	≤0.003	≤0.02	≤0.01	-	≤10	≤0.05	-	0.07 ⁵⁾	0.02 ⁵⁾	-	≤1	
検出下限値 (ND)			<0.0002	<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.0006 ⁷⁾	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.005	<0.05	<0.007	<0.001	-	-	

- 1) 単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100mL)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/L) を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の数値は、NDと表記する。
- 2) 有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。塩化物イオンは3桁とする。
- 3) 事前環境モニタリング：H11.1.21、H11.6.16、H11.9.9、H11.11.29実施 平成12年度：H12.7.27実施 (St-3、St-4) 平成13年度：H13.7.18 (St-3、St-4)、H14.2.1実施 平成14年度：H14.7.23、H15.2.6実施
平成15年度：H15.5.15、H15.7.14、H15.10.24、H16.2.10実施 平成16年度：H16.6.1、H16.7.29、H16.11.2、H17.1.14実施 平成17年度：H17.5.23、H17.7.21、H17.11.7、H18.1.18実施 平成18年度：H18.5.26、H18.8.8、H18.11.27、H19.1.24実施
平成19年度：H19.6.14、H19.8.27、H19.11.15、H20.1.25実施 平成20年度：H20.5.21、H20.8.27、H20.11.17、H21.1.28実施 平成21年度：H21.5.21、H21.8.19、H21.11.6、H22.1.20実施 平成22年度：H22.5.27、H22.8.30、H22.11.11、H23.1.25実施
平成23年度：H23.6.29、H23.8.26、H23.11.17、H24.1.27実施 平成24年度：H24.5.16、H24.8.2、H24.11.19、H25.1.17実施 平成25年度：H25.5.22、H25.8.19、H25.11.8、H26.1.22実施 平成26年度：H26.5.26、
平成27年度：H27.5.15、H27.7.30、H27.11.17、H28.1.28実施 平成28年度：H28.5.19、H28.8.2、H28.11.18、H29.1.16実施 平成29年度：H29.5.25、H29.7.24、H29.11.9、H30.1.22実施 平成30年度：H30.5.14、H30.7.12、H30.11.28、H31.1.23実施
- 4) ダイオキシン類 (コプラ-PCBを含む) は、事前環境モニタリングについては1回分 (H11.11.29) の測定データである。
- 5) 要監視項目指針値
- 6) 生物特A類型 (生物A類型の水域のうち、水生生物の産卵場 (繁殖場) 又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域) の基準値
- 7) 環境庁通知に基づき、検出下限を変更した。(平成17年7月調査までの検出下限値は0.001mg/Lである。)
- 8) 環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)
- 9) 環境庁通知に基づき、検出下限を変更した。(平成24年1月調査までの検出下限値は0.001mg/Lである。)
- 10) 環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)
- 11) 平成30年度に項目、頻度等の見直しを行った。

表2 豊島における周辺環境モニタリング（海岸感潮域間隙水水質）

測定項目 測定場所	調査日		pH	COD	油分等	大腸菌 群数	全窒素	全リン	全亜鉛	アルキル 水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価 クロム	ヒ素	全シアン	PCB	トリクロロ エレン	テトラクロロ エレン	ジクロロ メタン	四塩化 炭素	
	令和2年度	R2.10.23																				
西海岸St-A	令和元年度	R1.7.4	7.7	1.3	ND	2.0	0.49	0.048	0.015	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平成30年度	最小	7.7	1.2	ND	ND	0.25	0.033	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	2.1	0.7	ND	0.65	0.049	0.013	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.9	1.8	0.6	ND	0.40	0.042	0.010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成29年度	最小	7.7	1.3	ND	ND	0.11	0.036	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.9	1.5	ND	ND	0.49	0.055	0.012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.8	1.4	ND	ND	0.31	0.043	0.009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成28年度	最小	7.7	1.1	ND	ND	0.19	0.025	0.012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	2.5	0.6	ND	0.58	0.052	0.029	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.8	1.8	0.5	ND	0.37	0.038	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成27年度	最小	7.8	1.0	ND	ND	0.19	0.034	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.9	2.6	ND	ND	0.35	0.049	0.079	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.9	1.8	ND	ND	0.27	0.038	0.032	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成26年度	最小	7.7	0.8	ND	2.0	0.24	0.027	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	2.6	ND	2.0	0.47	0.033	0.085	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.9	1.4	ND	2.0	0.33	0.030	0.024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	最小	7.6	1.2	ND	ND	0.24	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.9	2.1	ND	4.5	0.48	0.88	0.016	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.8	1.7	ND	ND	0.35	0.45	0.008	ND	ND	0.0003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	最小	7.8	1.0	ND	ND	0.15	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	1.7	ND	ND	0.39	0.073	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.9	1.5	ND	ND	0.25	0.036	0.013	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	最小	7.6	1.1	ND	ND	0.17	0.024	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	1.1	ND	2.0	0.48	0.032	0.040	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.7	3.7	ND	1.9	0.34	0.028	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	最小	7.5	0.5	ND	ND	0.25	0.025	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.8	1.8	ND	ND	0.31	0.036	0.036	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.7	0.9	ND	ND	0.27	0.032	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	最小	7.5	0.7	ND	ND	0.15	0.024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.7	1.7	ND	2.0	1.5	0.042	0.029	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.6	1.1	ND	1.9	0.59	0.031	0.012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	最小	7.6	ND	ND	ND	0.17	0.024	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	ND	ND	4.5	0.32	0.047	0.026	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.8	ND	ND	2.5	0.25	0.035	0.015	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	7.6	ND	ND	ND	0.17	0.024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.8	0.6	ND	2.0	0.81	0.052	0.014	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.7	0.5	ND	1.9	0.41	0.040	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	7.6	ND	ND	ND	0.27	0.037	0.012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	1.3	ND	ND	0.47	0.096	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.8	0.8	ND	ND	0.37	0.068	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	7.8	1.2	ND	ND	0.13	0.028	0.010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	1.7	ND	2.0	0.43	0.057	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.9	1.5	ND	1.9	0.31	0.039	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	7.6	0.6	ND	ND	0.21	0.035	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.9	1.9	ND	2.0	0.44	0.043	—	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.8	1.4	ND	1.9	0.29	0.039	—	ND	ND	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	最小	7.8	0.7	ND	ND	0.08	0.032	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	1.4	ND	ND	0.43	0.042	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
平均		8.0	1.1	ND	ND	0.26	0.036	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成14年度		7.7~8.4	1.3~1.4	ND	ND	0.11~0.40	0.045~0.060	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成13年度		7.4~8.0	1.2~1.7	ND	ND	0.12~0.25	0.040~0.052	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成12年度		7.7	1.0	ND	ND	0.27	0.041	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		7.6~ 8.0 (7.8)	1.0~ 1.7 (1.3)	ND	—	0.16~ 0.40 (0.27)	0.026~ 0.065 (0.047)	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
管理基準値		5.0~ 9.0	≤30	≤30 (鉱油類5)	1,000	≤120	≤16	≤2 ^{B)}	ND	≤0.005	≤0.03 ⁷⁾	≤0.1	≤0.5	≤0.1	≤1	≤0.003	≤0.3	≤0.1	≤0.2	≤0.02		
検出下限値 (ND)		—	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.002	<0.0005	<0.0005	<0.001	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002		

測定項目 測定場所	調査日		pH	COD	油分等	大腸菌 群数	全窒素	全リン	全亜鉛	アルキル 水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価 クロム	ヒ素	全シアン	PCB	トリクロロ エチレン	テトラクロロ エチレン	ジクロロ メタン	四塩化 炭素	
	令和2年度	R2. 8. 17																				
北海岸 St-B	令和元年度	R1. 7. 4	7. 4	6. 2	ND	49	0. 46	0. 077	0. 009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平成30年度	最小	7. 5	4. 6	ND	ND	0. 64	0. 10	0. 003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 7	5. 0	0. 7	920	3. 4	0. 20	0. 008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 6	4. 8	0. 6	230	1. 6	0. 14	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成29年度	最小	7. 4	4. 8	ND	ND	0. 70	0. 061	0. 005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 6	5. 4	1. 0	170	1. 2	0. 21	0. 011	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 5	5. 1	0. 63	44	0. 93	0. 12	0. 008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成28年度	最小	7. 5	3. 4	ND	ND	0. 44	0. 078	0. 007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 9	6. 4	0. 5	460	1. 6	0. 15	0. 034	ND	ND	ND	ND	ND	0. 008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 7	4. 9	0. 5	120	0. 80	0. 11	0. 021	ND	ND	ND	ND	ND	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成27年度	最小	7. 5	3. 2	ND	ND	0. 68	0. 072	0. 010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 6	5. 0	ND	13	0. 96	0. 19	0. 062	ND	ND	ND	ND	ND	0. 007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 6	4. 1	ND	6. 2	0. 83	0. 12	0. 030	ND	ND	ND	ND	ND	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成26年度	最小	7. 4	3. 4	ND	4. 5	0. 48	0. 056	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 7	5. 9	ND	11	1. 0	0. 18	0. 050	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 6	5. 2	ND	7. 8	0. 73	0. 11	0. 016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	最小	7. 3	4. 1	ND	ND	0. 88	0. 049	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 6	4. 8	ND	ND	1. 5	0. 88	0. 024	ND	ND	ND	ND	ND	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 5	4. 5	ND	ND	1. 1	0. 49	0. 009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	最小	7. 1	6. 7	ND	ND	1. 4	0. 066	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 4	16	ND	ND	5. 4	0. 17	0. 020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 3	10	ND	ND	3. 1	0. 094	0. 009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	最小	7. 3	2. 8	ND	ND	0. 58	0. 075	0. 009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 7	50	0. 9	7. 8	4. 1	0. 17	0. 047	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 4	17	0. 5	3. 4	2. 5	0. 11	0. 023	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	最小	7. 4	4. 3	ND	ND	1. 2	0. 075	0. 009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 5	50	0. 9	7. 8	7. 7	0. 15	0. 017	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 3	22	0. 7	3. 3	3. 6	0. 11	0. 012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	最小	7. 1	8. 1	ND	ND	1. 4	0. 12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 4	41	ND	7. 8	6. 1	0. 19	0. 021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 3	24	ND	8. 4	4. 5	0. 15	0. 008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	最小	7. 1	4. 8	ND	ND	1. 5	0. 061	0. 008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 5	21	0. 5	49	7. 0	0. 41	0. 028	ND	ND	ND	ND	ND	0. 008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 2	16	0. 5	15	4. 9	0. 18	0. 018	ND	ND	ND	ND	ND	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	6. 9	7. 4	ND	ND	3. 0	0. 059	0. 002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 6	31	0. 6	2. 0	11	0. 20	0. 040	ND	ND	ND	ND	ND	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 2	20	0. 5	2. 0	6. 7	0. 13	0. 013	ND	ND	ND	ND	ND	0. 005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	6. 8	8. 9	ND	ND	3. 2	0. 13	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 4	52	1. 4	4. 5	23	0. 50	0. 022	ND	ND	ND	ND	ND	0. 007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 0	39	0. 7	2. 8	12	0. 23	0. 008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	6. 8	19	1. 3	ND	12	0. 15	0. 010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 0	110	2. 9	2. 8	20	0. 24	0. 020	ND	ND	ND	ND	ND	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	6. 9	70	2. 1	19	15	0. 19	0. 015	ND	ND	ND	ND	ND	0. 007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	6. 8	61	ND	ND	15	0. 095	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 2	89	4. 1	16000	26	0. 16	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 0	75	1. 9	4000	19	0. 13	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	最小	6. 8	75	ND	ND	13	0. 11	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
最大		7. 0	92	1. 8	45	19	0. 23	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平均		6. 9	80	1. 3	15	16	0. 16	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成14年度		6. 8~6. 9	100~140	2. 4~6. 0	ND~7. 8	15~36	0. 21~0. 29	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成13年度		6. 9~7. 1	130~170	2. 2~6. 3	4. 0~4. 0	23~41	0. 24~0. 26	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0. 007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成12年度		6. 8	170	1. 3	2. 0	22	0. 31	—	ND	ND	ND	ND	ND	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		6. 4~ 6. 8 (6. 7)	190~ 240 (210)	1. 4~ 3. 7 (2. 4)	—	23~ 32 (29)	0. 24~ 0. 36 (0. 31)	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND~ 0. 007 (0. 006)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
管理基準値		5. 0~ 9. 0	≤30	≤30 (鉱油類5)	1, 000	≤120	≤16	≤2 ⁸⁾	ND	≤0. 005	≤0. 03 ⁷⁾	≤0. 1	≤0. 5	≤0. 1	≤1	≤0. 003	≤0. 3	≤0. 1	≤0. 2	≤0. 02		
検出下限値 (ND)		—	<0. 5	<0. 5	<1. 8	<0. 05	<0. 003	<0. 002	<0. 0005	<0. 0005	<0. 001	<0. 005	<0. 02	<0. 005	<0. 1	<0. 0005	<0. 002	<0. 0005	<0. 002	<0. 0002		

測定項目 測定場所	調査日		pH	COD	油分等	大腸菌 群数	全窒素	全リン	全亜鉛	アルキル 水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価 クロム	ヒ素	全シアン	PCB	トリクロロ エチレン	テトラクロロ エチレン	ジクロロ メタン	四塩化 炭素	
	令和2年度	R2. 8. 17																				
北海岸 St-E	令和元年度	R1. 7. 4	7. 6	2. 2	ND	ND	0. 79	0. 022	0. 002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平成30年度	最小	7. 4	2. 3	ND	ND	0. 92	0. 026	0. 002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 6	3. 1	0. 7	17000	1. 9	0. 042	0. 005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 6	2. 7	0. 6	4300	1. 4	0. 034	0. 004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成29年度	最小	7. 4	2. 5	ND	ND	1. 1	0. 022	0. 002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 5	2. 7	0. 8	11	2. 2	0. 039	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 5	2. 6	0. 6	4. 1	1. 6	0. 033	0. 004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成28年度	最小	7. 3	2. 1	ND	ND	0. 83	0. 030	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 8	3. 6	0. 6	17	1. 5	0. 061	0. 033	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 6	3. 0	0. 5	5. 7	1. 1	0. 047	0. 014	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成27年度	最小	7. 4	2. 3	ND	ND	0. 86	0. 021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 8	3. 1	ND	9. 3	2. 1	0. 048	0. 060	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 6	2. 7	ND	3. 7	1. 4	0. 037	0. 020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成26年度	最小	7. 4	2. 1	ND	2. 0	1. 1	0. 023	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 6	5. 1	ND	22	3. 0	0. 046	0. 12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 5	3. 6	ND	8. 7	2. 0	0. 034	0. 034	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	最小	7. 3	1. 1	ND	ND	1. 2	0. 029	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 6	3. 7	0. 5	7. 8	1. 7	0. 62	0. 040	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 5	2. 7	ND	3. 5	1. 6	0. 33	0. 015	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	最小	7. 8	1. 0	ND	ND	0. 15	0. 020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8. 0	1. 7	ND	ND	0. 39	0. 073	0. 020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 9	1. 5	ND	ND	0. 25	0. 036	0. 013	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	最小	7. 4	2. 9	ND	ND	1. 8	0. 040	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 7	3. 7	ND	2. 0	3. 3	0. 060	0. 009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 6	3. 2	ND	1. 9	2. 7	0. 047	0. 007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	最小	7. 1	2. 2	ND	ND	2. 2	0. 020	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 5	12	ND	2. 0	7. 0	0. 051	0. 024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 3	5. 0	ND	ND	4. 5	0. 030	0. 015	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	最小	7. 3	3. 9	ND	ND	4. 1	0. 014	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 3	7. 5	ND	4. 5	9. 5	0. 056	0. 024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 3	4. 9	ND	2. 5	6. 1	0. 036	0. 016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	最小	7. 2	4. 1	ND	ND	8. 6	0. 020	0. 011	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 3	5. 4	ND	ND	13	0. 044	0. 018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 2	4. 9	ND	ND	10	0. 031	0. 014	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	7. 1	4. 9	ND	ND	7. 7	0. 006	0. 004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 3	6. 2	ND	2. 0	10	0. 057	0. 017	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 3	5. 5	ND	1. 9	9. 0	0. 033	0. 008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	7. 0	5. 2	ND	ND	4. 2	0. 019	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 2	6. 8	ND	2. 0	10	0. 10	0. 033	ND	ND	ND	ND	ND	0. 008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 1	6. 2	ND	ND	6. 3	0. 060	0. 013	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	7. 0	8. 8	ND	ND	13	0. 056	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 2	16. 0	0. 5	2. 0	24	0. 10	0. 009	ND	ND	ND	ND	ND	0. 017	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 1	14. 0	0. 5	1. 9	19	0. 075	0. 008	ND	ND	ND	ND	ND	0. 009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	7. 0	16. 0	ND	ND	21	0. 064	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 1	25. 0	0. 5	28	44	0. 15	—	ND	ND	ND	0. 005	ND	0. 007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 0	22. 0	0. 5	8. 4	36	0. 11	—	ND	ND	ND	0. 005	ND	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	最小	7. 1	14. 0	ND	ND	25	0. 071	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
最大		7. 2	21. 0	ND	4. 5	32	0. 17	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平均		7. 1	18. 0	ND	2. 5	29	0. 099	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成14年度		7. 0~7. 0	15~29	ND	ND	19~46	0. 10~0. 28	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0. 005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成13年度		7. 2~7. 2	1. 3~21	ND~0. 5	ND~1. 8	14~40	0. 13~0. 20	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成12年度		6. 9	230	3. 5	ND	170	0. 84	—	ND	ND	ND	ND	ND	0. 049	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		6. 6~ 7. 1 (6. 9)	140~ 420 (250)	1. 6~ 9. 2 (4. 4)	—	98~ 280 (190)	0. 33~ 0. 90 (0. 70)	—	ND	ND	ND	ND	ND	0. 019~ 0. 06 (0. 043)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
管理基準値		5. 0~ 9. 0	≤30	≤30 (鉱油類5)	1, 000	≤120	≤16	≤2 ⁸⁾	ND	≤0. 005	≤0. 03 ⁷⁾	≤0. 1	≤0. 5	≤0. 1	≤1	≤0. 003	≤0. 3	≤0. 1	≤0. 2	≤0. 02		
検出下限値 (ND)		—	<0. 5	<0. 5	<1. 8	<0. 05	<0. 003	<0. 002	<0. 0005	<0. 0005	<0. 001	<0. 005	<0. 02	<0. 005	<0. 1	<0. 0005	<0. 002	<0. 0005	<0. 002	<0. 0002		

測定項目 測定場所	調査日		1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1,4-ジオキサン	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩化物イオン	ダイオキシン類 ⁴⁾	
	令和2年度	R2.10.23	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	—	0.41	ND	—	0.008	ND	16,300	1.9	
西海岸St-A	令和元年度	R1.7.4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	—	0.43	ND	—	0.009	ND	14,900	5.4	
	平成30年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	0.008	ND	11,500	2.1
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.57	ND	ND	0.009	ND	18,500	3.4
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.24	ND	ND	0.009	ND	15,800	2.8
	平成29年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	ND	ND	0.007	ND	16,600	1.8
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.28	ND	ND	0.01	ND	18,000	10
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND	ND	0.009	ND	17,400	5.9
	平成28年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	ND	ND	ND	ND	17,500	1.6
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND	0.49	ND	ND	0.008	ND	18,300	2.2
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.28	ND	ND	0.008	ND	18,000	1.9
	平成27年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	ND	ND	17,500	0.86
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	0.22	ND	ND	0.011	0.004	18,400	9.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.14	ND	ND	0.009	0.003	17,800	5.3
	平成26年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	ND	ND	0.013	ND	17,500	3.1
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.31	ND	ND	0.025	0.002	18,600	4.1
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND	ND	0.019	0.002	18,100	3.6
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	0.016	ND	17,100	1.5
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.32	ND	ND	0.049	ND	18,700	2.3
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.23	ND	ND	0.033	ND	18,100	1.9
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.007	ND	17,500	1.0
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	ND	0.27	ND	ND	0.011	ND	18,000	1.4
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	0.009	ND	17,700	1.2
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.010	ND	16,100	0.43
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.31	ND	ND	0.015	0.003	18,100	0.52
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.21	ND	ND	0.013	0.001	17,300	0.48
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.008	ND	15,400	1.7
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.20	ND	ND	0.010	0.002	18,900	1.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND	ND	0.009	0.002	17,500	1.8
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	—	ND	ND	0.002	16,500	0.49
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.38	—	ND	ND	0.002	19,400	0.50
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.17	—	ND	ND	0.002	18,500	0.50
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	—	ND	ND	ND	18,800	0.12
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	—	ND	0.009	ND	19,600	1.2
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	—	ND	0.008	ND	19,200	0.66
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	—	ND	ND	0.001	18,500	2.7
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.34	—	ND	ND	0.003	18,900	3.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	—	ND	ND	0.002	18,700	3.3
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	ND	0.001	16,700	1.1
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	—	ND	0.009	0.001	18,700	2.4
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.18	—	ND	0.005	0.001	18,000	1.8
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	—	ND	0.007	ND	17,300	1.6
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.36	—	ND	0.014	0.005	18,700	7.6
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.24	—	ND	0.011	0.003	18,300	4.6
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	—	ND	ND	0.001	16,000	1.9
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	—	ND	0.008	0.015	17,700	5.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.22	—	ND	0.008	0.008	16,700	3.9
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	14,100	2.6
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.36	—	ND	0.008	0.004	18,800	6.6
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	—	ND	0.007	0.001	16,700	4.8
	平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,000~19,200	5.3~9.6
	平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	0.001~0.001	17,500~18,700	3.6~15
	平成12年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	0.008	0.001	17,900	9.4
	事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	ND~ (0.009)	ND~ (0.001)	17,100~ 18,600 (17,900)	37
	管理基準値		≤0.04	≤1 ⁶⁾	≤0.4	≤3	≤0.06	≤0.02	≤0.1	≤0.06	≤0.03	≤0.2	≤0.1	≤1	≤100	≤0.5	—	—	—	—	—	≤10
	検出下限値 (ND)		<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.0006 ⁵⁾	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.005	<0.05	<0.007	<0.001	—	—	—

測定項目 測定場所	調査日		1, 2-ジクロロエタン	1, 1-ジクロロエチレン	シス-1, 2-ジクロロエチレン	1, 1, 1-トリクロロエタン	1, 1, 2-トリクロロエタン	1, 3-ジクロロプロペン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1, 4-ジオキサン	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩化物イオン	ダイオキシン類 ⁴⁾	
	令和2年度	R2. 8. 17	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	—	0.06	ND	—	0.007	ND	15,200	0.17	
北海岸 St-B	令和元年度	R1. 7. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	—	0.10	ND	—	ND	ND	13,300	0.41	
	平成30年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	12,400	0.30
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.006	ND	0.007	ND	18,000	0.55
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.005	ND	0.007	ND	15,400	0.43
	平成29年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	13,700	0.44
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND	ND	0.008	ND	18,100	0.75
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.008	ND	15,700	0.60
	平成28年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	15,500	0.48
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	17,300	1.2
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	16,400	0.84
	平成27年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	15,700	0.43
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.027	ND	17,500	0.58
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.022	ND	16,600	0.51
	平成26年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	15,700	0.43
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.027	ND	17,500	0.58
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.022	ND	16,600	0.51
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	14,200	0.34
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	17,800	0.53
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	16,700	0.44
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	12,800	0.19
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.015	ND	0.008	ND	17,200	0.34
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.010	ND	0.007	ND	15,500	0.27
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	12,800	0.19
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.015	ND	0.008	ND	17,200	0.34
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.010	ND	0.007	ND	15,500	0.27
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5,070	0.16
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.020	ND	0.012	0.002	17,500	0.54
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	0.010	0.001	13,000	0.35
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005	ND	ND	ND	2,800	0.66
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.035	ND	ND	ND	17,500	1.4
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.019	ND	ND	ND	12,900	1.0
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	8,000	0.32
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	ND	ND	16,800	0.47
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	ND	ND	12,200	0.40
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	8,400	0.23
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	0.008	ND	17,100	0.24
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	0.008	ND	11,900	0.24
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	8,000	0.47
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	ND	16,600	0.93
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	ND	ND	11,900	0.70
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0	6,000	1.2
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	—	ND	ND	0.001	15,400	2.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	0.001	9,880	2.0
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	4,600	0.57
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0.005	11,500	1.3
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0.003	8,680	0.94
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	5,790	0.27
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	—	ND	0.010	0.011	9,520	1.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	0.009	0.006	7,500	1.0
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	3,920	0.19
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0.001	12,000	1.9
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0.001	7,400	0.96
	平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	6,300~9,300	0.21~1.0	
	平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.002	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND~0.012	ND	6,800~11,100	0.56~0.97	
	平成12年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	11,100	0.43	
	事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~ 0.001 (0.001)	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	ND~ 0.041 (0.016)	ND	8,700~ 10,600 (9,800)	0.25
	管理基準値		≤0.04	≤ ¹⁾	≤0.4	≤3	≤0.06	≤0.02	≤0.1	≤0.06	≤0.03	≤0.2	≤0.1	≤1	≤100	≤0.5	—	—	—	—	—	≤10
	検出下限値 (ND)		<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.0006 ⁵⁾	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.005	<0.05	<0.007	<0.001	—	—	

測定項目 測定場所	調査日		1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1,4-ジオキサン	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩化物イオン	ダイオキシン類 ⁴⁾	
	令和2年度	R2.8.17	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	—	0.11	ND	—	0.008	ND	14,700	0.80	
北海岸 St-E	令和元年度	R1.7.4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	—	0.40	0.006	—	ND	ND	14,000	0.29	
	平成30年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.38	ND	ND	ND	ND	12,900	0.10
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.42	0.006	ND	0.007	ND	18,300	0.31
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.40	0.005	ND	0.007	ND	15,000	0.21
	平成29年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	ND	ND	ND	ND	14,300	0.15
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.72	ND	ND	0.007	ND	17,100	0.24
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.43	ND	ND	0.007	ND	16,100	0.20
	平成28年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.25	ND	ND	ND	ND	16,200	0.14
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	0.72	0.005	ND	ND	0.002	16,800	0.21
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.50	0.005	ND	ND	0.002	16,500	0.18
	平成27年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND	ND	ND	ND	15,500	0.14
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.62	0.006	ND	0.007	0.001	17,000	0.43
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.35	0.005	ND	0.007	0.001	16,300	0.29
	平成26年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.21	ND	ND	ND	ND	16,100	0.18
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.79	0.006	ND	0.021	ND	17,000	0.38
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.43	0.006	ND	0.018	ND	16,500	0.28
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND	ND	0.011	ND	16,000	0.16
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.41	ND	ND	0.050	ND	17,400	0.39
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.27	ND	ND	0.031	ND	17,000	0.28
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.29	ND	ND	ND	ND	16,200	0.14
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.64	ND	ND	0.008	ND	17,300	0.17
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.42	ND	ND	0.007	ND	16,600	0.16
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	ND	ND	ND	15,400	0.069
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	0.008	ND	0.016	0.001	16,300	0.19
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.20	0.007	ND	0.010	0.001	15,900	0.13
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	0.006	ND	ND	ND	14,700	0.62
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.48	0.014	ND	0.007	ND	17,500	0.75
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.27	0.009	ND	0.007	ND	16,600	0.69
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	—	ND	ND	ND	16,500	0.092
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.24	—	ND	ND	0.002	17,800	0.32
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	—	ND	ND	0.002	16,900	0.21
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	—	ND	ND	ND	16,400	0.077
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	0.78	—	ND	ND	0.001	17,300	0.083
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.30	—	ND	ND	0.001	16,800	0.080
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	16,700	0.37
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.24	—	ND	ND	0.001	16,800	0.78
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	—	ND	ND	0.001	16,800	0.58
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	14,700	1.9
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.44	—	ND	ND	ND	17,400	2.4
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	—	ND	ND	ND	16,125	2.2
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	14,600	1.6
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	—	ND	0.007	ND	15,500	2.5
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	—	ND	0.007	ND	15,200	1.0
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	13,600	0.24
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.25	—	ND	ND	0.008	15,100	1.2
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	—	ND	ND	0.005	14,500	0.72
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	14,300	0.69
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.35	—	ND	ND	0.001	17,400	1.0
平均		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	—	ND	ND	0.001	15,725	0.88	
平成14年度			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	15,800~18,300	0.39~0.88	
平成13年度			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	17,200~17,200	0.48~1.7	
平成12年度			ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	7,900	1.1	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)			ND~ 0.010 (0.0028)	ND	ND	ND	ND	ND	0.004~ 0.13 (0.037)	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	ND	ND	6,300~ 12,800 (8,700)	0.096	
管理基準値			≤0.04	≤ ¹⁾	≤0.4	≤3	≤0.06	≤0.02	≤0.1	≤0.06	≤0.03	≤0.2	≤0.1	≤1	≤100	≤0.5	—	—	—	—	≤10	
検出下限値 (ND)			<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.0006 ⁵⁾	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.005	<0.05	<0.007	<0.001	—	—	

- 1) 単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100mL)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/L) を除いて、mg/Lである。報告下限値未満の数値は、NDと表記する。
- 2) 有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。塩化物イオンは3桁とする。
- 3) 事前環境モニタリング：H11.1.21、H11.6.16、H11.9.9、H11.11.29実施 平成12年度：H12.7.27実施 平成13年度：H13.7.18、H14.2.1実施 平成14年度：H14.7.23、H15.2.6実施
平成15年度：H15.5.15、H15.7.14、H15.10.24、H16.2.10実施 平成16年度：H16.6.1、H16.7.29、H16.11.2、H17.1.14実施 平成17年度：H17.5.23、H17.7.21、H17.11.7、H18.1.18実施
平成18年度：H18.5.26、H18.8.8、H18.11.27、H19.1.24実施 平成19年度：H19.6.14、H19.8.27、H19.11.15、H20.1.25実施 平成20年度：H20.5.21、H20.8.27、H20.11.17、H21.1.28実施
平成21年度：H21.5.21、H21.8.19(H21.8.20)、H21.11.6、H22.1.20実施 平成22年度：H22.5.27、H22.8.30、H22.11.11、H23.1.25実施 平成23年度：H23.6.29、H23.8.26、H23.11.17、H24.1.27実施
平成24年度：H24.5.16、H24.8.2、H24.11.19、H25.1.17実施 平成25年度：H25.5.22、H25.8.19、H25.11.8、H26.1.22実施 平成26年度：H26.5.26、H26.8.7、H26.11.12、H27.1.26実施
平成27年度：H27.5.15、H27.7.30、H27.11.17、H28.1.28実施 平成28年度：H28.5.19、H28.8.2、H28.11.18、H29.1.16実施 平成29年度：H29.5.25、H29.7.24、H29.11.9、H30.1.22実施
平成30年度：H30.5.14、H30.7.12、H30.11.28、H31.1.23実施
- 4) ダイオキシン類 (コプラ-PCBを含む) は、事前環境モニタリングについては1回分の測定データである。
- 5) 環境庁通知に基づき、検出下限を変更した。(平成17年7月調査までの検出下限値は0.001mg/Lである。)
- 6) 環境省通知に基づき、管理基準を変更した。(平成23年10月調査までの管理基準値は0.2mg/Lである。)
- 7) 環境省通知に基づき、管理基準を変更した。(平成26年11月調査までの環境基準値は0.1mg/Lである。)
- 8) 環境省通知に基づき、管理基準を変更した。(平成18年11月調査までの環境基準値は5mg/Lである。)
- 9) 平成30年度に項目、頻度等の見直しを行った。

表3 豊島における周辺環境モニタリング（周辺地先海域底質）

測定項目 測定場所	調査日	pH	COD	硫化物	強熱減量	油分等	総水銀	カドミウム	鉛	ヒ素	全フッ素	PCB	トリカドエチレン	テトラカドエチレン	銅	亜鉛	ニッケル	総クロム	総鉄	総マンガン	有機リン	ダイオキシン類 ⁴⁾
南海岸沖 St-1	H13.7.18	7.5	9.2	0.06	5.1	0.1	0.09	0.1	21	5.3	ND	ND	ND	ND	26	120	21	52	21,000	540	ND	4.6
	H12.7.27	7.8	4.8	0.01	3.8	ND	0.08	0.1	23	5.1	ND	ND	ND	ND	27	100	18	51	16,000	540	ND	2.8
西海岸沖 St-3	令和2年度	R2.8.17	7.7	4.4	0.14	5.2	ND	0.07	ND	16	5.8	ND	ND	ND	19	81	16	36	20,000	660	ND	1.8
	令和元年度	R1.7.4	7.7	3.1	0.08	2.5	0.1	0.09	0.11	7.4	4.1	ND	ND	ND	11	64	13	33	13,000	460	ND	2.0
	平成30年度	H30.7.12	7.8	3.4	0.15	4.0	0.2	0.06	ND	8.4	4.8	ND	ND	ND	14	71	17	27	14,000	760	ND	2.3
	平成29年度	H29.7.24	7.6	4.0	0.22	4.6	0.4	0.06	ND	22	4.6	ND	ND	ND	19	95	39	46	18,000	600	ND	5.5
	平成28年度	H28.8.2	7.5	3.7	0.21	4.3	0.2	0.09	ND	17	5.7	ND	ND	ND	20	91	17	44	19,000	640	ND	3.6
	平成27年度	H27.7.30	7.5	4.9	0.21	6.1	0.4	0.09	ND	16	4.5	ND	ND	ND	25	100	20	24	20,000	710	ND	4.1
	平成26年度	H26.8.7	7.5	4.9	0.13	5.5	0.4	0.11	0.1	21	3.4	ND	ND	ND	26	100	15	56	22,000	710	ND	5.2
	平成25年度	H25.8.19	7.4	3.7	0.26	3.2	0.3	0.06	0.1	14	4.3	ND	ND	ND	21	79	12	39	17,000	480	ND	6.1
	平成24年度	H24.8.2	7.6	5.7	0.25	6.4	0.7	0.08	0.1	26	5.2	ND	ND	ND	35	130	30	49	25,000	910	ND	6.9
	平成23年度	H23.8.26	7.5	4.1	0.20	4.5	0.2	0.05	0.1	24	4.1	ND	ND	ND	17	84	17	31	17,000	650	ND	5.0
	平成22年度	H22.8.30	7.7	5.8	0.04	3.5	0.2	0.05	0.1	9.5	1.4	ND	ND	ND	16	55	6.9	8	9,900	390	ND	2.9
	平成21年度	H21.8.19	8.3	4.3	0.03	3.0	0.1	0.03	0.2	9.8	2.0	ND	ND	ND	19	66	9.1	11	12,000	440	ND	2.4
	平成20年度	H20.8.27	7.7	1.6	0.01	3.7	ND	0.01	ND	3.3	1.6	ND	ND	ND	3.8	35	3.0	5.3	4,400	330	ND	1.4
	平成19年度	H19.8.27	8.2	4.8	0.04	3.4	0.3	0.03	0.1	12	4.6	ND	ND	ND	19	61	7.7	49	12,000	380	ND	4.4
	平成18年度	H18.8.8	7.6	5.2	0.03	3.6	0.2	0.02	ND	9.4	3.2	ND	ND	ND	16	41	4.8	48	13,000	530	ND	5.8
	平成17年度	H17.7.21	7.5	4.6	0.05	4.0	0.2	0.03	0.1	16	5.2	ND	ND	ND	25	83	15	60	13,000	450	ND	13
	平成16年度	最小	7.5	7.5	0.19	3.1	0.1	0.08	ND	17	6.1	ND	ND	ND	29	80	19	48	18,000	520	ND	5.5
		最大	7.7	11	0.22	3.9	0.2	0.10	ND	20	7.0	ND	ND	ND	33	89	31	63	20,000	550	ND	7.8
		平均	7.6	9.3	0.21	3.5	0.2	0.09	ND	19	6.6	ND	ND	ND	31	85	25	56	19,000	540	ND	6.7
	平成15年度	最小	7.5	7.1	0.08	4.3	ND	0.03	ND	13	4.6	ND	ND	ND	19	92	20	35	16,000	570	ND	4.0
		最大	7.9	7.4	0.10	5.1	0.1	0.10	ND	15	6.1	ND	ND	ND	22	99	28	66	18,000	620	ND	5.3
		平均	7.7	7.3	0.09	4.7	0.1	0.07	ND	14	5.4	ND	ND	ND	21	96	24	51	17,000	600	ND	4.7
	平成14年度		7.6~7.6	9.8~9.9	0.040~0.11	4.1~5.1	ND~0.1	0.06~0.12	0.1~0.1	18~19	5.4~6.1	ND	ND	ND	23~25	85~100	13~15	48~50	20,000~20,000	530~620	ND	4.7~4.7
平成13年度		7.6~7.6	9.0~9.3	0.10~0.12	4.1~4.2	0.2~0.2	0.07~0.08	ND	17~21	5.0~5.5	ND	ND	ND	21~30	93~110	16~18	42~47	14,000~19,000	540~550	ND	4.5~5.7	
平成12年度		7.8	8.7	0.010	5.1	0.1	0.09	0.1	27	6.2	ND	ND	ND	35	120	20	53	21,000	810	ND	5.3	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		7.6~ 7.8 [7.7]	4.1~ 8.7 [6.2]	0.059~ 0.084 [0.070]	3.0~ 4.6 [3.7]	0.1~ 0.2 [0.1]	0.08~ 0.09 [0.09]	ND~ 0.1 [0.1]	16~ 24 [19]	4.6~ 7.4 [6.0]	ND	ND	ND	ND	23~ 98 [47]	85~ 110 [95]	13~ 91 [34]	42~ 54 [46]	16,000~ 20,000 [18,000]	480~ 710 [620]	ND	5.8

測定項目 測定場所	調査日		pH	COD	硫化物	強熱減量	油分等	総水銀	カドミウム	鉛	ヒ素	全フッ素	PCB	トリカロ エチレン	テトラカロ エチレン	銅	亜鉛	ニッケル	総 ケル	総 鉄	総 マンガン	有機 リン	ダイオキ シ類 ⁴⁾
	調査日	調査日																					
北海岸沖 St-4	令和2年度	R2. 8. 17	7. 8	3. 9	0. 08	3. 9	ND	0. 07	ND	13	4. 6	ND	ND	ND	ND	15	71	11	30	15, 000	570	ND	1. 7
	令和元年度	R1. 7. 4	7. 7	3. 3	0. 29	2. 5	0. 1	0. 09	0. 12	8. 3	4. 6	ND	ND	ND	ND	16	77	15	32	16, 000	600	ND	1. 8
	平成30年度	H30. 7. 12	7. 8	3. 4	0. 10	4. 2	0. 2	0. 07	ND	7. 7	5. 1	ND	ND	ND	ND	18	77	19	35	15, 000	670	ND	5. 4
	平成29年度	H29. 7. 24	7. 7	3. 1	0. 13	3. 6	0. 3	0. 05	ND	15	3. 3	ND	ND	ND	ND	9. 4	70	24	32	12, 000	490	ND	1. 6
	平成28年度	H28. 8. 2	7. 5	3. 2	0. 09	4. 2	0. 2	0. 08	ND	14	5. 2	ND	ND	ND	ND	17	83	13	40	15, 000	620	ND	3. 3
	平成27年度	H27. 7. 30	7. 7	3. 4	0. 08	3. 1	0. 2	0. 08	ND	8. 7	3. 1	ND	ND	ND	ND	12	74	10	14	14, 000	520	ND	2. 0
	平成26年度	H26. 8. 7	7. 4	4. 5	0. 16	4. 5	0. 5	0. 13	ND	15	3. 3	ND	ND	ND	ND	17	87	12	50	19, 000	650	ND	2. 3
	平成25年度	H25. 8. 19	7. 5	5. 2	0. 12	3. 2	0. 2	0. 06	ND	12	4. 0	ND	ND	ND	ND	13	78	9. 7	29	17, 000	560	ND	4. 0
	平成24年度	H24. 8. 2	7. 6	5. 4	0. 38	4. 2	0. 5	0. 07	0. 1	17	4. 4	ND	ND	ND	ND	16	84	17	38	16, 000	580	ND	3. 7
	平成23年度	H23. 8. 26	7. 5	3. 7	0. 14	3. 3	0. 1	0. 04	ND	14	3. 2	ND	ND	ND	ND	13	77	13	27	15, 000	520	ND	1. 6
	平成22年度	H22. 8. 30	7. 6	6. 6	0. 06	4. 6	0. 5	0. 06	ND	11	1. 3	ND	ND	ND	ND	16	65	8. 0	10	12, 000	580	ND	4. 1
	平成21年度	H21. 8. 19	8. 1	7. 3	0. 01	3. 5	0. 2	0. 05	0. 1	16	1. 8	ND	ND	ND	ND	23	95	12	17	18, 000	740	ND	2. 9
	平成20年度	H20. 8. 27	7. 7	4. 2	0. 07	3. 9	ND	0. 06	ND	14	3. 7	ND	ND	ND	ND	23	73	9. 5	34	14, 000	640	ND	5. 3
	平成19年度	H19. 8. 27	8. 3	4. 1	0. 02	3. 2	0. 2	0. 06	0. 1	12	5. 8	ND	ND	ND	ND	16	74	6. 0	39	13, 000	530	ND	3. 5
	平成18年度	H18. 8. 8	7. 7	7. 3	0. 06	5. 2	0. 3	0. 05	0. 1	24	4. 6	ND	ND	ND	ND	23	100	12	60	17, 000	770	ND	5. 8
	平成17年度	H17. 7. 21	7. 6	5. 1	0. 07	4. 0	0. 2	0. 05	0. 1	11	5. 7	ND	ND	ND	ND	17	85	12	51	13, 000	500	ND	4. 6
	平成16年度	最小	7. 5	5. 4	0. 09	4. 2	0. 1	0. 04	ND	17	3. 4	ND	ND	ND	ND	19	86	9. 1	36	15, 000	550	ND	3. 5
		最大	7. 6	6. 3	0. 19	4. 7	0. 1	0. 10	ND	17	5. 0	ND	ND	ND	ND	19	90	32	56	20, 000	620	ND	7. 1
		平均	7. 6	5. 9	0. 14	4. 5	0. 1	0. 07	ND	17	4. 2	ND	ND	ND	ND	19	88	21	46	18, 000	590	ND	5. 3
	平成15年度	最小	7. 7	7. 4	0. 03	4. 4	ND	0. 03	ND	12	4. 3	ND	ND	ND	ND	14	94	27	46	18, 000	530	ND	2. 6
最大		7. 9	8. 9	0. 04	6. 2	ND	0. 06	0. 1	14	6. 6	ND	ND	ND	ND	15	98	27	82	21, 000	720	ND	3. 1	
平均		7. 8	8. 2	0. 03	5. 3	ND	0. 04	0. 1	13	5. 5	ND	ND	ND	ND	15	96	27	64	20, 000	630	ND	2. 9	
平成14年度		7. 6~7. 6	11~11	0. 01~0. 09	5. 2~5. 5	ND~0. 1	0. 06~0. 10	ND~0. 1	18~21	5. 5~6. 2	ND	ND	ND	ND	21~27	100~110	15~19	52~53	18, 000~21, 000	560~620	ND	3. 3~5. 2	
平成13年度		7. 6~7. 7	8. 0~11	0. 01~0. 14	4. 3~4. 8	ND~0. 1	0. 08~0. 08	0. 1~0. 1	18~20	5. 1~5. 7	ND	ND	ND	ND	20~26	100~110	18~28	51~74	19, 000~19, 000	620~710	ND	3. 1~4. 4	
平成12年度		7. 8	9. 3	0. 02	5. 4	0. 1	0. 13	0. 1	31	5. 8	ND	ND	ND	ND	41	140	19	67	24, 000	700	ND	3. 8	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		7. 0~ 7. 9 [7. 6]	7. 0~ 9. 6 [7. 8]	0. 06~ 0. 45 [0. 19]	3. 4~ 6. 3 [4. 7]	0. 1~ 0. 5 [0. 3]	0. 09~ 0. 11 [0. 10]	0. 1~ 0. 1 [0. 1]	20~ 27 [24]	4. 7~ 7. 9 [6. 3]	ND	ND	ND	ND	24~ 43 [30]	86~ 120 [110]	15~ 22 [19]	52~ 55 [54]	20, 000~ 23, 000 [22, 000]	670~ 840 [750]	ND	6. 5	
家浦港沖 St-5	H13. 7. 18	7. 6	4. 6	0. 04	2. 5	ND	0. 07	ND	21	4. 7	ND	ND	ND	ND	15	81	19	51	14, 000	330	ND	1. 9	
	H12. 7. 27	7. 8	4. 4	0. 03	3. 2	ND	0. 09	ND	22	6. 4	ND	ND	ND	ND	21	93	12	56	16, 000	370	ND	1. 8	
県内底質 ⁵⁾	平均値	7. 6	6. 6	0. 18	3. 7	0. 4	0. 44	0. 2	25	5. 3	ND	ND	-	-	-	-	-	32	-	-	ND	4. 2	
	最小~最大	6. 6~ 8. 2	0. 32~ 23	ND~ 1. 5	1. 0~ 11	ND~ 1. 4	0. 01~ 5. 1	ND~ 1. 1	5. 3~ 120	1. 0~ 12	ND~ 0. 2	ND	-	-	-	-	-	5~ 65	-	-	ND	0. 52~ 9. 4	
環境基準、暫定除去基準		-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150	
検出下限値(ND)		<0. 1	<0. 1	<0. 01	<0. 1	<0. 1	<0. 01	<0. 1	<0. 5	<0. 2	<0. 1	<0. 01	<0. 02	<0. 005	<0. 5	<5	<0. 5	<5	<5	<5	<5	<0. 1	-

1) 単位は、pH(-)、強熱減量(%)、ダイオキシ類(pg-TEQ/g・dry)、COD、硫化物、油分等(mg/g・dry)を除いて、mg/kg・dryである。報告下限値未満の数値は、NDと表記する。

2) 有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。なお、pHは小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下1桁までとする。

3) 事前環境モニタリング：H11. 1. 21、H11. 6. 16、H11. 9. 9、H11. 11. 29実施 平成12年度：H12. 7. 27実施 平成13年度：H13. 7. 18、H14. 2. 1実施 平成14年度：H14. 7. 23、H15. 2. 6実施

平成15年度：H15. 7. 14、H15. 10. 24実施 平成16年度：H16. 7. 29、H16. 11. 2実施

4) ダイオキシ類(コプラ-PCBを含む)は、事前環境モニタリングについては1回分(H11. 11. 29)の測定データである。

5) 県及び市町が平成8年度から平成10年度までに行った県内における底質の結果をまとめたものである。但し、ダイオキシ類については環境庁実施「平成11年度公共用水質等のダイオキシ類調査」における県内の公共用水域底質調査結果である。

表4 豊島における周辺環境モニタリング（海岸感潮域底質）

測定項目 測定場所	調査日		COD	硫化物	強熱 減量	油分等	総水銀	カドミウム	鉛	ひ素	全ソラ	PCB	トリクロ エチレン	テトラクロ エチレン	銅	亜鉛	ニッケル	総 クロム	総 鉄	総 マンガ	有機 リン	ダイオキ シ類 ⁴⁾
西海岸 St-A	令和2年度	R2. 8. 17	0.3	ND	1.0	ND	ND	ND	23	3.2	ND	ND	ND	ND	130	120	4.0	ND	8,300	170	ND	72
	令和元年度	R1. 7. 4	0.2	ND	0.5	ND	ND	ND	7.6	1.4	ND	ND	ND	ND	46	94	1.7	ND	5,300	210	ND	6.2
	平成30年度	H30. 7. 12	0.2	ND	0.4	ND	ND	ND	5.9	2.2	ND	ND	ND	ND	32	47	1.9	ND	5,300	160	ND	150
	平成29年度	H29. 7. 24	0.3	ND	0.6	ND	ND	ND	6.3	2.0	ND	ND	ND	ND	30	57	1.9	ND	3,800	110	ND	13
	平成28年度	H28. 8. 2	ND	ND	0.6	ND	ND	ND	3.5	2.6	ND	ND	ND	ND	20	28	0.8	ND	3,300	150	ND	63
	平成27年度	H27. 7. 30	0.4	ND	0.5	ND	ND	ND	31	3.4	ND	ND	ND	ND	100	120	3.2	ND	4,900	120	ND	52
	平成26年度	H26. 8. 7	0.3	ND	0.7	ND	ND	ND	18	0.3	ND	ND	ND	ND	50	47	7.1	7	3,600	160	ND	73
	平成25年度	H25. 8. 19	0.1	ND	0.8	ND	ND	ND	1.5	0.4	ND	ND	ND	ND	37	50	3.5	6	3,800	130	ND	2.5
	平成24年度	H24. 8. 2	ND	ND	0.7	ND	ND	0.1	12	3.2	ND	ND	ND	ND	62	55	2.5	5	5,300	130	ND	13
	平成23年度	H23. 8. 26	ND	ND	0.6	ND	ND	ND	17	6.3	ND	ND	ND	ND	84	150	1.8	ND	5,300	95	ND	3.6
	平成22年度	H22. 8. 30	0.1	ND	0.7	ND	ND	ND	4.1	2.3	ND	ND	ND	ND	57	56	2.0	ND	4,300	130	ND	10
	平成21年度	H21. 8. 19	ND	ND	0.5	ND	ND	ND	3.9	1.6	ND	ND	ND	ND	14	27	2.2	ND	3,300	110	ND	29
	平成20年度	H20. 8. 27	ND	ND	0.5	ND	ND	ND	9.5	4.3	ND	ND	ND	ND	130	87	2.5	ND	4,800	120	ND	38
	平成19年度	H19. 8. 27	0.5	ND	0.4	ND	ND	ND	6.8	1.8	ND	ND	ND	ND	81	71	4.2	ND	5,700	125	ND	4.1
	平成18年度	H18. 8. 8	0.2	ND	0.7	ND	ND	0.1	27	1.9	ND	ND	ND	ND	95	85	5.5	8	5,800	150	ND	24
	平成17年度	H17. 7. 21	0.2	ND	0.4	ND	ND	0.1	14	5.9	ND	ND	ND	ND	110	97	5.3	ND	3,200	29	ND	50
	平成16年度	最小	0.1	ND	0.5	ND	ND	ND	8.6	2.1	ND	ND	ND	ND	10	11	0.6	ND	2,600	90	ND	30
		最大	0.1	ND	0.6	ND	ND	ND	21	4.9	ND	0.01	ND	ND	64	97	2.7	ND	3,000	130	ND	120
		平均	0.1	ND	0.6	ND	ND	ND	15	3.5	ND	0.01	ND	ND	37	54	1.7	ND	2,800	110	ND	75
	平成15年度	最小	0.3	ND	0.7	ND	ND	ND	12	4.2	ND	ND	ND	ND	89	85	1.3	3	3,600	100	ND	47
		最大	0.4	ND	0.8	ND	ND	ND	14	7.4	ND	ND	ND	ND	170	150	2.7	7	9,600	140	ND	120
平均		0.4	ND	0.8	ND	ND	ND	13	5.8	ND	ND	ND	ND	130	120	2.0	5	6,600	120	ND	84	
平成14年度		0.2~0.4	ND	0.5~0.6	ND	ND	ND~0.1	5.2~29	2.1~6.6	ND	ND~0.01	ND	ND	31~170	55~150	1.2~6.1	3~8	3,800~8,000	80~130	ND	5.4~120	
平成13年度		0.4~0.6	ND	0.4~0.7	ND	ND	0.1~0.1	15~19	2.0~3.7	ND	ND~0.01	ND	ND	99~100	120~180	2.7~3.6	7~7	5,900~6,400	150~170	ND	38~74	
平成12年度		0.3	ND	0.5	ND	ND	0.1	28	3.4	ND	ND	ND	ND	160	110	6.9	7	6,400	180	ND	48	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		ND~ 0.2 [0.2]	ND	0.51~ 0.79 [0.6]	ND	ND~ 0.03 [0.01]	ND~ 0.1 [0.1]	10~ 21 [18]	1.7~ 4.2 [3.1]	ND	ND	ND	ND	29~ 130 [84]	54~ 180 [120]	2.1~ 2.7 [2.5]	5~ 9 [6]	4,400~ 7,000 [5,700]	87~ 130 [100]	ND	78	
北海岸 St-B	令和2年度	R2. 8. 17	3.0	0.12	1.9	ND	0.01	ND	6.5	1.7	ND	ND	ND	ND	6.0	59	1.8	6	11,000	310	ND	2.3
	令和元年度	R1. 7. 4	1.8	0.11	1.8	ND	0.01	ND	6.1	1.7	ND	ND	ND	ND	6.0	69	1.7	7	12,000	360	ND	7.0
	平成30年度	H30. 7. 12	2.5	0.06	1.8	ND	0.01	ND	6.0	2.0	ND	ND	ND	ND	6.3	50	1.7	6	11,000	320	ND	2.3
	平成29年度	H29. 7. 24	1.0	ND	1.1	ND	ND	ND	4.7	1.4	ND	ND	ND	ND	3.5	45	1.0	ND	7,100	240	ND	1.4
	平成28年度	H28. 8. 2	1.2	0.06	1.7	ND	ND	ND	3.3	2.1	ND	ND	ND	ND	5.6	62	3.4	ND	10,000	410	ND	3.4
	平成27年度	H27. 7. 30	3.2	0.06	1.2	0.1	ND	ND	5.4	1.1	ND	ND	ND	ND	3.6	32	0.9	ND	5,200	180	ND	1.9
	平成26年度	H26. 8. 7	2.8	0.07	1.6	ND	ND	ND	9.4	ND	ND	ND	ND	ND	5.1	55	4.9	12	8,000	280	ND	2.4
	平成25年度	H25. 8. 19	ND	ND	1.7	ND	ND	ND	2.6	0.3	ND	ND	ND	ND	5.0	57	ND	10	8,200	290	ND	1.1
	平成24年度	H24. 8. 2	1.4	ND	1.9	ND	ND	ND	5.3	2.1	ND	ND	ND	ND	6.1	31	ND	12	8,200	290	ND	0.4
	平成23年度	H23. 8. 26	1.0	0.01	1.7	ND	ND	ND	4.7	2.0	ND	ND	ND	ND	2.8	60	1.8	ND	10,000	370	ND	2.7
	平成22年度	H22. 8. 30	2.4	0.05	2.4	ND	ND	ND	3.7	1.9	ND	ND	ND	ND	3.5	71	3.5	10	10,000	440	ND	3.6
	平成21年度	H21. 8. 20	1.9	ND	1.6	ND	ND	ND	5.1	2.2	ND	ND	ND	ND	3.7	68	2.5	ND	9,200	370	ND	4.1
	平成20年度	H20. 8. 27	2.1	ND	1.8	ND	ND	ND	4.4	2.5	ND	ND	ND	ND	9.5	62	2.5	13	11,000	360	ND	6.0
	平成19年度	H19. 8. 27	2.9	0.11	2.3	ND	ND	ND	3.8	1.5	ND	ND	ND	ND	6.7	72	4.3	ND	11,000	340	ND	12
	平成18年度	H18. 8. 8	2.2	0.01	1.8	ND	ND	ND	4.6	2.0	ND	ND	ND	ND	9.3	63	3.3	11	12,000	420	ND	5.2
	平成17年度	H17. 7. 21	2.5	0.02	1.3	ND	ND	0.1	6.2	2.2	ND	ND	ND	ND	7.7	53	5.8	ND	9,700	790	ND	6.3
	平成16年度	最小	1.7	0.03	1.0	ND	ND	ND	7.5	2.3	ND	ND	ND	ND	9.3	42	1.0	6	5,600	310	ND	1.6
		最大	4.4	0.16	2.1	ND	0.01	0.1	8.9	5.1	ND	ND	ND	ND	12	83	3.6	12	15,000	770	ND	13
		平均	3.1	0.10	1.6	ND	0.01	0.1	8.2	3.7	ND	ND	ND	ND	11	63	2.3	9	10,000	540	ND	7.3
	平成15年度	最小	2.1	0.03	1.2	ND	ND	ND	5.5	1.6	ND	ND	ND	ND	3.9	47	2.3	7	7,800	400	ND	1.3
		最大	2.3	0.06	1.8	ND	0.01	ND	6.6	3.0	ND	ND	ND	ND	5.5	74	3.2	14	13,000	1,000	ND	2.8
平均		2.2	0.04	1.5	ND	0.01	ND	6.1	2.3	ND	ND	ND	ND	4.7	61	2.8	10	10,000	710	ND	2.1	
平成14年度		1.9~2.5	0.1~0.15	1.1~1.4	ND	ND	ND~0.1	5.8~7.7	1.6~2.0	ND	ND	ND	ND	5.0~7.0	46~81	1.6~1.7	8~11	7,500~11,000	270~660	ND	2.7~2.7	
平成13年度		2.7~3.8	0.02~0.12	1.2~2.2	ND~0.1	ND~0.01	0.1~0.1	5.9~10	1.9~3.2	ND	ND	ND	ND	5.1~13	52~100	3.1~4.4	7~12	6,700~8,300	630~1,200	ND	4.0~5.0	
平成12年度		2.4	0.06	1.5	ND	0.01	ND	10	2.0	ND	ND	ND	ND	9.4	67	2.6	14	11,000	350	ND	3.2	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		2.3~ 30 [2.7]	0.02~ 0.11 [0.07]	1.2~ 1.7 [1.6]	ND~ 0.12 [<0.1]	0.01~ 0.01 [0.01]	ND~ 0.1 [ND]	6.4~ 9.8 [8.4]	2.0~ 2.6 [2.3]	ND	ND	ND	ND	6.2~ 9.4 [8.4]	59~ 76 [68]	1.8~ 4.0 [2.7]	12~ 28 [17]	6,200~ 13,000 [11,000]	340~ 680 [480]	ND	21	

測定項目 測定場所	調査日		COD	硫化物	強熱減量	油分等	総水銀	カドミウム	鉛	ヒ素	全シアン	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	銅	亜鉛	ニッケル	総クロム	総鉄	総マンガン	有機リン	ダイオキシン類 ⁴⁾
	令和2年度	R2. 8. 17																				
北海岸 St-E	令和元年度	R1. 7. 4	0.8	ND	1.0	ND	ND	ND	4.1	2.5	ND	ND	ND	ND	7.4	33	1.0	ND	7,100	340	ND	6.6
	平成30年度	H30. 7. 12	1.1	ND	1.0	0.1	ND	ND	4.9	3.1	ND	ND	ND	ND	5.6	34	1.0	ND	7,200	280	ND	3.2
	平成29年度	H29. 7. 24	0.9	ND	1.0	ND	ND	ND	8.3	2.9	ND	ND	ND	ND	22	60	1.0	ND	7,500	230	ND	1.7
	平成28年度	H28. 8. 2	0.2	ND	0.8	ND	ND	ND	4.2	3.4	ND	ND	ND	ND	28	78	1.7	ND	6,200	400	ND	2.4
	平成27年度	H27. 7. 30	1.6	ND	5.9	ND	ND	ND	3.0	2.3	ND	ND	ND	ND	8.1	25	0.9	ND	4,200	240	ND	3.3
	平成26年度	H26. 8. 7	1.6	ND	0.2	ND	ND	ND	8.3	0.4	ND	ND	ND	ND	5.0	37	2.2	7	4,600	330	ND	3.5
	平成25年度	H25. 8. 19	ND	ND	1.0	ND	ND	ND	4.0	0.4	ND	ND	ND	ND	11	47	5.9	ND	4,900	380	ND	2.2
	平成24年度	H24. 8. 2	0.4	ND	0.6	ND	ND	ND	7.1	3.9	ND	ND	ND	ND	58	9	1.3	ND	3,700	340	ND	6.0
	平成23年度	H23. 8. 26	0.3	ND	1.1	ND	ND	ND	7.2	3.9	ND	ND	ND	ND	27	98	1.0	ND	7,000	380	ND	6.7
	平成22年度	H22. 8. 30	0.4	ND	0.9	ND	ND	ND	5.7	4.2	ND	ND	ND	ND	29	87	2.0	ND	5,700	740	ND	13
	平成21年度	H21. 8. 19	2.5	0.04	1.2	ND	ND	0.1	5.6	2.7	ND	ND	ND	ND	24	85	1.4	ND	7,100	290	ND	20
	平成20年度	H20. 8. 27	0.6	ND	0.7	ND	ND	0.1	7.6	4.1	ND	ND	ND	ND	88	130	1.0	ND	7,800	270	ND	21
	平成19年度	H19. 8. 27	1.0	ND	0.6	ND	ND	ND	14	3.3	ND	ND	ND	ND	110	92	3.8	ND	5,900	120	ND	79
	平成18年度	H18. 8. 8	2.2	0.12	1.2	ND	ND	ND	5.7	4.9	ND	ND	ND	ND	120	70	4.3	9	9,100	370	ND	54
	平成17年度	H17. 7. 21	1.0	0.01	0.6	ND	ND	ND	6.5	4.6	ND	ND	ND	ND	31	52	2.5	ND	4,700	130	ND	21
	平成16年度	最小	1.1	0.30	0.6	ND	ND	ND	4.0	1.9	ND	ND	ND	ND	6.3	31	ND	ND	4,200	150	ND	1.5
		最大	1.5	0.31	0.7	ND	ND	ND	7.0	4.9	ND	ND	ND	ND	13	52	1.1	5	5,500	260	ND	2.4
		平均	1.3	0.31	0.7	ND	ND	ND	5.5	3.4	ND	ND	ND	ND	9.7	42	0.8	5	4,900	210	ND	2.0
	平成15年度	最小	1.3	0.11	0.8	ND	ND	ND	5.0	2.6	ND	ND	ND	ND	5.0	37	1.1	3	5,700	190	ND	4.9
		最大	1.3	0.15	1.0	0.1	ND	ND	6.0	4.5	ND	ND	ND	ND	20	72	1.2	3	7,700	390	ND	7.4
平均		1.3	0.13	0.9	0.1	ND	ND	5.5	3.6	ND	ND	ND	ND	13	55	1.2	3	6,700	290	ND	6.2	
平成14年度		1.9~2.9	0.23~0.73	0.9~1.5	0.2~0.2	ND	0.1~0.1	5.4~8.8	3.6~4.6	ND	ND	ND	ND	7.5~12	58~84	1.7~1.8	5~8	8,600~10,000	220~320	ND	2.3~5.2	
平成13年度		1.5~2.1	0.05~0.10	0.9~1.1	0.1~0.2	ND	ND~0.1	4.1~4.4	1.9~2.1	ND	ND	ND	ND	4.8~17	32~52	1.4~1.8	3~4	4,700~5,400	170~200	ND	2.2~2.9	
平成12年度		1.4	0.10	0.9	0.2	ND	ND	73	5.0	ND	ND	ND	ND	26	43	1.7	4	7,000	810	ND	1.3	
事前環境モニタリング ³⁾		1.0~	ND~	0.6~	ND~			2.6~	2.1~					2.8~	19~	ND~	ND~	2,900~	190~			
最小値~最大値		3.0	0.31	0.8	0.70	ND	ND	6.2	4.2	ND	ND	ND	ND	7.0	44	1.5	5.0	7,000	510	ND	1.8	
(平均値)		[1.7]	[0.09]	[0.7]	[0.4]			[4.5]	[2.8]					[5.0]	[29]	[0.8]	[ND]	[4,800]	[330]			
県内底質 ⁵⁾	平均値		6.6	0.17	3.7	0.4	0.44	0.2	25	5.3	ND	ND	-	-	-	-	32	-	-	ND	4.2	
	最小~最大		0.32~23	ND~1.5	1.0~11	ND~1.4	0.01~5.1	ND~1.1	5.3~120	0.97~12	ND~0.2	ND	-	-	-	-	ND~65	-	-	ND	0.52~9.4	
環境基準、暫定除去基準			-	-	-	-	12	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150
検出下限値(ND)			<0.1	<0.01	<0.1	<0.1	<0.01	<0.1	<0.5	<0.2	<0.1	<0.01	<0.02	<0.005	<0.5	<5	<0.5	<5	<5	<5	<0.1	-

1) 単位は、強熱減量(%)、ダイオキシン類(pg-TEQ/g・dry)、COD、硫化物、油分等(mg/g・dry)を除いて、mg/kg・dryである。報告下限値未満の数値は、NDと表記する。

2) 有効数字は2桁とし、3桁目以下を切り捨て、報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。

3) 事前環境モニタリング：H11. 1. 21、H11. 6. 16、H11. 9. 9、H11. 11. 29実施 平成12年度：H12. 7. 27実施 平成13年度：H13. 7. 18、H14. 2. 1実施 平成14年度：H14. 7. 23、H15. 2. 6実施
平成15年度：H15. 7. 14、H15. 10. 24実施 平成16年度：H16. 7. 29、H16. 11. 2実施

4) ダイオキシン類(コプラ-PCBを含む)は、事前環境モニタリングについては1回分(H11. 11. 29)の測定データである。

5) 県及び市町が平成8年度から平成10年度までに行った県内における底質の結果をまとめたものである。但し、ダイオキシン類については環境庁実施「平成11年度公共用水質等のダイオキシン類調査」における県内の公共用水域底質調査結果である。

緊急時等の報告（正式評価）

『緊急時等の評価（分類）基準と関係者へのレベル表示』（令和 2 年 8 月 28 日 第 9 回フォローアップ委員会にて改定）に基づき、第 8 回フォローアップ委員会（令和 2 年 4 月 23 日資料送付、5 月 27 日決定事項の報告）からこれまでに関係者に通報した 1 件について、緊急時等への対応が終了したので正式評価（分類）を実施し、次のとおり報告する。

なお、今回の報告する 1 件については暫定評価と同じ評価結果であった。

① 凝集膜分離装置の薬品が漏洩した件について	評価レベル								
<p><異常時緊急時等の通報内容></p> <p>本日（5 月 27 日）、凝集膜分離装置の薬品添加ポンプにおいてホースが破損し、薬品（希硫酸）の漏洩が発生しました。ホースの劣化によるものと見られ、漏洩量は約 25L です。漏洩した薬品については、中和処理を実施後に除去作業を行います。</p> <p>今回の事故による怪我の発生や凝集膜分離装置等の停止はありません。</p> <p>なお、このことによる周辺環境への影響はありません。</p>	<p><暫定評価（分類）></p> <table border="1" data-bbox="1384 802 2063 898"> <thead> <tr> <th>人身への影響</th> <th>基準の逸脱等</th> <th>事業進捗への影響</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 問題なし</td> <td>1. 問題なし</td> <td>1. 問題なし</td> </tr> </tbody> </table>			人身への影響	基準の逸脱等	事業進捗への影響	1. 問題なし	1. 問題なし	1. 問題なし
人身への影響	基準の逸脱等	事業進捗への影響							
1. 問題なし	1. 問題なし	1. 問題なし							
<p><修復作業の内容></p> <p>薬品添加ポンプを停止し、保護具を着用の上、漏洩した希硫酸を苛性ソーダで中和した後、回収した。その後、現場周辺を水洗い清掃した。</p> <p>原因は経年劣化による硫酸注入ホースの亀裂の発生であったため、当該ホースを交換するとともに、ポリエチレンホースは 3 年に 1 回以上の頻度で交換する運用とした。</p> <p><事業への影響></p> <p>このことによる高度排水処理施設等の停止はなかった。</p>	<p><正式評価（分類）></p> <table border="1" data-bbox="1384 1062 2063 1158"> <thead> <tr> <th>人身への影響</th> <th>基準の逸脱等</th> <th>事業進捗への影響</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 問題なし</td> <td>1. 問題なし</td> <td>1. 問題なし</td> </tr> </tbody> </table>			人身への影響	基準の逸脱等	事業進捗への影響	1. 問題なし	1. 問題なし	1. 問題なし
人身への影響	基準の逸脱等	事業進捗への影響							
1. 問題なし	1. 問題なし	1. 問題なし							

(参考)

図1 豊島廃棄物等処理施設撤去等事業における運用方針（評価（分類）の流れ）

- ① 緊急時等の発生
- ② 請負事業者等は、廃棄物対策課に報告する。
- ③ 請負事業者等からの報告などに基づき、廃棄物対策課は、次の評価（分類）基準表により、速やかに緊急時等の暫定評価（分類）を行い、その結果を付して関係者に連絡する。
- ④ また、技術アドバイザーに状況を報告し、指導・助言を得る。
- ⑤ 廃棄物対策課は緊急時等への対応が終了した時点で、必要に応じ暫定評価（分類）を見直し、正式評価（分類）を行い、フォローアップ委員会に報告する。

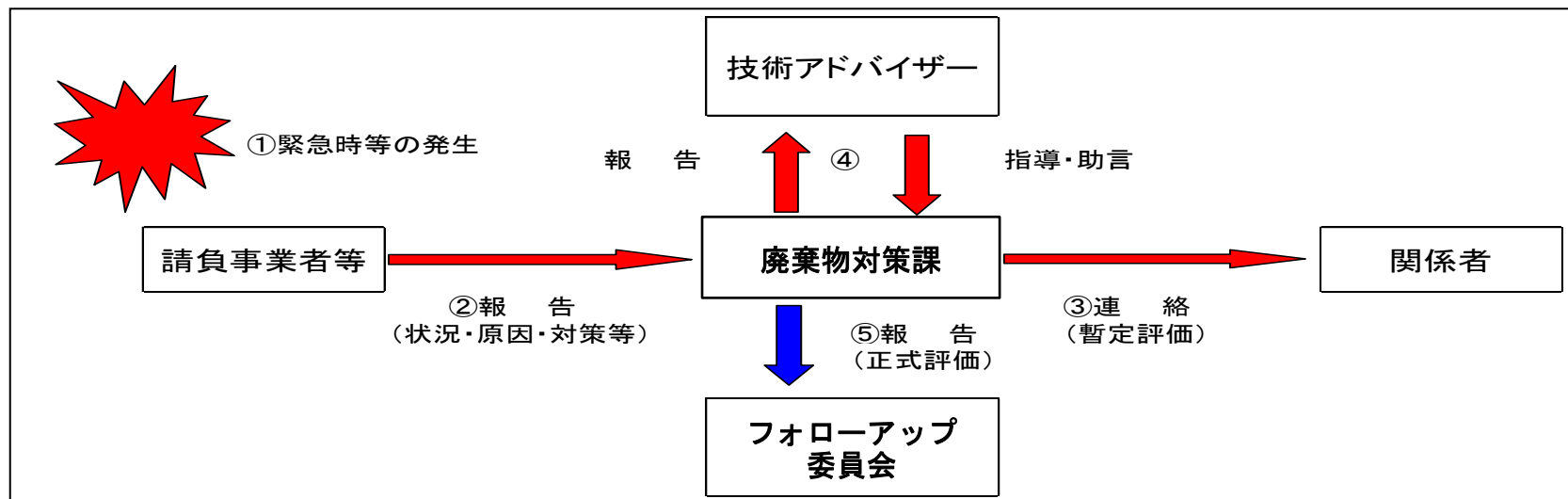


表1 豊島廃棄物等処理施設撤去等事業における評価（分類）基準表

【豊島】

評価 レベル	人身への影響		基準の逸脱等	事業への影響
	暫定評価	正式評価		
3	緊急搬送したもの	入院加療を要したものの以上	管理基準値を超過したものが豊島処分地外への流出	事故・トラブル等により施設・設備・工事が7日を超えて停止
2	緊急搬送等の対応を要しないもの	通院加療等を要したもの	<ul style="list-style-type: none"> 設備の破損等 管理基準値の超過を確認（場外への流出なし） 	事故・トラブル等により施設・設備・工事が7日以内の範囲で停止
1	影響がないもの	影響がなかったもの	基準を満足	影響がないもの

【輸送（海上、陸上）】

評価 レベル	人身への影響		基準の逸脱等	事業への影響
	暫定評価	正式評価		
3	緊急搬送したもの	入院加療を要したものの以上	海域への廃棄物、油の流出	事故・トラブル等により施設・設備・工事が7日を超えて停止
2	緊急搬送等の対応を要しないもの	通院加療等を要したもの	<ul style="list-style-type: none"> 海域への廃棄物、油以外（洗剤、物品等）の流出 陸上での廃棄物等の飛散 	事故・トラブル等により施設・設備・工事が7日以内の範囲で停止
1	影響がないもの	影響がなかったもの	影響がないもの	影響がないもの

健康管理委員会の審議概要

第 36 回豊島廃棄物等処理施設撤去等事業健康管理委員会を令和 3 年 2 月 4 日に開催したので、その審議概要等を報告する。

1. 高度排水処理施設の作業環境測定結果

令和 2 年 3 月 11 日及び 12 日に作業環境測定を実施した結果、全ての測定において管理濃度を満足していた。

2. ひやり・ハット等の報告

高度排水処理施設におけるひやり・ハット（小規模事故）1 件について、別紙のとおり概要や対策を報告した。

3. 作業現場巡視の実施状況

（豊島側）令和 2 年 7 月 27 日 実施

委員による作業現場巡視を実施し、薬品保管倉庫内の薬品タンクについて誤混入防止の表示を行うこと、熱中症対策をしっかりと実施すること等に関して御指導いただいた。

4. 新型コロナウイルス感染症の拡大防止ならびに感染者発生時の対応の見直し

ウェブ会議の規定や、引用資料が更新されたことに伴う修正について審議し、承認された。

（資料 11・II / 10-2 参照）

様式17

ひやり・ハット報告書(小規模事故)

連絡日時 令和2年5月27日(14時40分)

発生場所	豊島	○掘削現場—○中間保管・梱包施設 ●高度排水処理施設	
		○陸上輸送施設 ○専用棧橋 ○その他()	
	直島	○中間処理施設 ○専用棧橋 ○その他()	
	その他	○海上輸送船 ○その他	
発生日時	R2年	5月	27日
		9時	30分頃
	作成者	所属 クボタ環境サービス(株)	
		氏名 森 英信	
内容	<p>凝集膜分離装置用薬品保管倉庫のシャッターが変色及び倉庫前が濡れていることを発見。</p> <p>硫酸ポンプを止め、薬品保管庫右側シャッターを開け、遠目より硫酸が漏れていることを確認した。</p> <p>保護具の着用をして、硫酸ポンプのホースが、切れている箇所を確認。約210の硫酸(70%)を回収。</p> <p>(防液提内約5L。アスファルトへ流出の約16Lは苛性ソーダで中和したのち、塵取り、スポンジ、ウエス等で回収。)</p> <p>回収した薬品は、pH確認後高度排水で適切に処理。</p> <p>薬品保管倉庫周辺を水洗い清掃実施。</p>		
原因	硫酸注入ホースが、経年劣化により裂けて硫酸が吹き出たと考えられる。		
再発防止の対応	<p>注入ホースを即座に手配し、交換する。</p> <p>ポリエチレンホースは3年に1回以上交換する。</p>		
備考			



注入ホースが経年劣化により割れて、この部分から硫酸が吹き出していた。

凝集膜分離装置
薬品保管倉庫前の硫酸漏れ状況

アスファルトに溜まった硫酸約16ℓを苛性ソーダで中和



pH8.49であることを確認

塵取りで溜まった廃液を回収





塵取りで回収後、スポンジ、
ウエス等で吸い取り回収

防液堤内硫酸回収状況



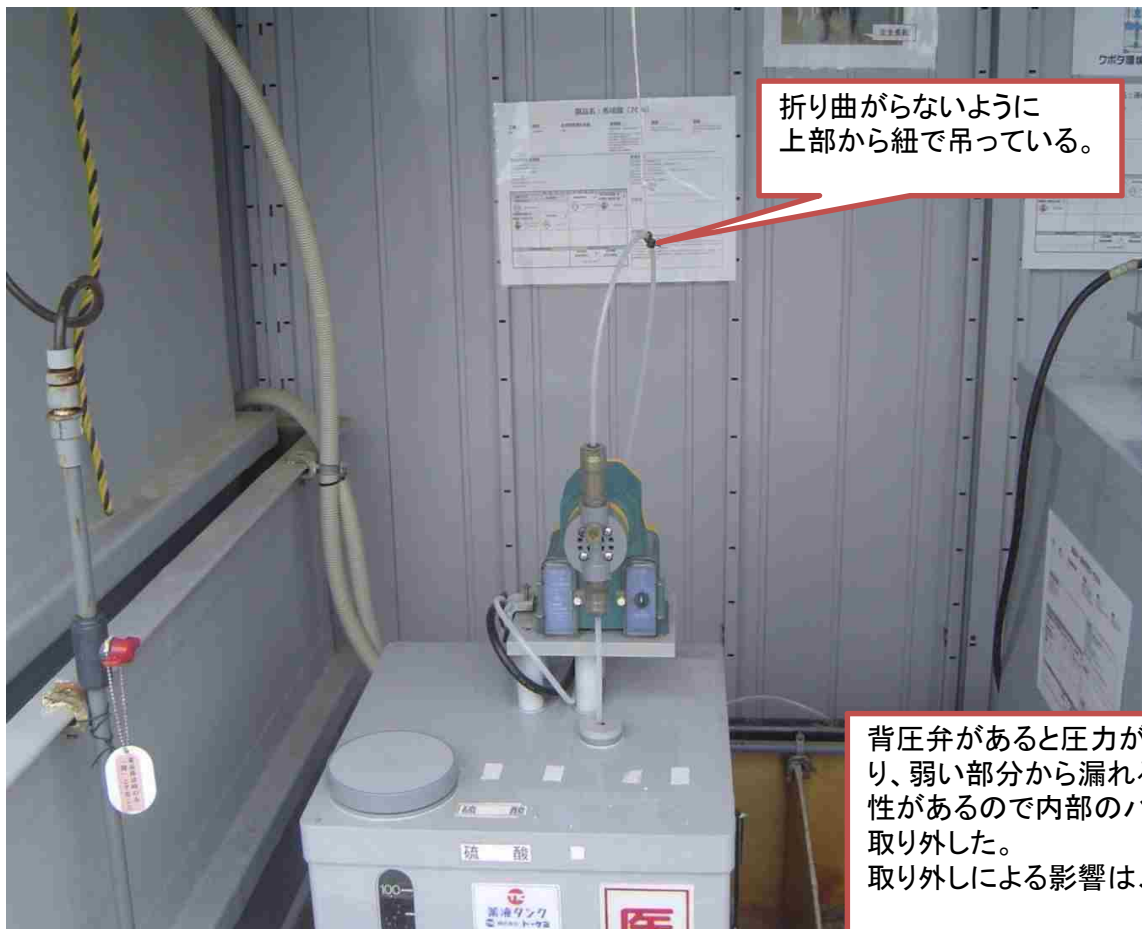
硫酸・苛性ソーダ防液堤内、ふき取り清掃



薬品廃液 回収後、水洗い清掃 実施



6月3日 硫酸ホース(ポリエチレンホース)4mm×6mmを新品ホースと交換実施

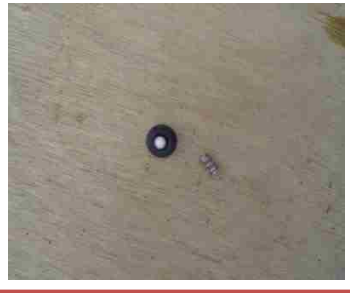


折り曲がらないように
上部から紐で吊っている。

背圧弁があると圧力が高くなり、弱い部分から漏れる可能性があるので内部のバネを取り外した。
取り外しによる影響は、無し。



紫外線対策として、エアチューブを保護管として使用



豊島廃棄物等処理事業報告書（仮称）の目次案等

豊島廃棄物等処理事業報告書（仮称）の目次案等については、第45回豊島廃棄物等管理委員会（H29.4.16開催）において、「豊島廃棄物等処理事業報告書（仮称）の目次案等」（資料45・Ⅱ/9-6）**参考資料1**により審議し、了承されたが、その後の経過を踏まえ、今般**別紙1**のとおり目次案を変更する。また、作成スケジュール案は**別紙2**のとおりとする。

変更箇所は以下の通り。

○目次案**別紙1**より変更箇所のみ抜粋

第2編	第1章	1	豊島問題が生じた経緯	追加
第2編	第3章		処理完了後に新たに見つかった廃棄物	追加
第6編	第4章		処理事業に対する思い	
		2	公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団	追加
		6	株式会社NTTデータ経営研究所	追加
		7	杵築技術士事務所	追加
		10	土庄中央漁業協同組合	追加
		11	唐櫃漁業協同組合	追加
		12	土庄町	追加
		13	岡山県	追加
		14	玉野市	追加

豊島廃棄物等処理事業報告書（仮称）の目次案等

豊島廃棄物等の処理を終えて-豊かな島の再生と循環型社会実現への道程-（仮）

目次（案）

I. はじめに

- 浜田知事 挨拶
- 永田委員長 挨拶
- 環境大臣 挨拶
- 公調委委員長 挨拶

II. 豊島廃棄物等の処理実施に至るまで

1. 調停成立に至るまで

(1) 公害調停の開始

- ①公害調停のあらまし
- ②公害調停の協議内容（非公開を原則としているため、出せるところ）
- ③調停委員会の調査結果

(2) 中間合意の成立

- ①中間合意までの道のり
- ②中間合意の概要（全文は別冊で）

(3) 技術検討委員会での議論・報告

- ①第一次検討委員会（メンバー・要綱）
 - イ) 各回で審議したことの概要
 - ロ) 事項報告書
 - ・暫定的な環境保全措置
 - ・中間処理施設の整備
- ②第2次検討委員会（メンバー・要綱）
 - イ) 各回で審議したことの概要
 - ロ) 最終報告書
- ③第3次検討委員会（メンバー・要綱）
 - イ) 県による直島処理案の提案
 - ロ) 各回で審議したことの概要
 - ハ) 最終報告書

(4) 直島町処理案の提示と直島町の受入れ

- ①直島町議会全員協議会での直島処理案の提案
- ②直島町から提示された4条件
- ③風評被害対策条例の制定に向けた検討
- ④住民説明会・アンケートの実施
- ⑤直島町長の受入れ

2. 事業開始に至るまで

(1) 公害調停の成立

- ①調停条項の概要
- ②調停成立後の知事コメント
- ③技術委員会への移行、処理協議会の設置

(2) 技術委員会での議論

- ①各回で審議したことの概要（メンバー・要綱）
- ②情報表示システム、海上輸送体制の構築等
- ③管理委員会への移行

(3) 暫定的な環境保全措置の実施

- ①遮水壁の打設
 - ・工事概要（内容、工期、費用など）
- ②廃棄物等の移動
- ③透気・遮水シートの敷設

(4) 処理事業を担う施設の整備

- ①中間処理施設
- ②中間保管・梱包施設
- ③高度排水処理施設
- ④その他施設（あれば）

Ⅲ. 豊島廃棄物等管理委員会の活動－処理事業の実施－

1. 廃棄物等の掘削から焼却・溶融等の処理まで

(1) 処理スキームの概要

(2) 掘削

- ①基本的な考え方
- ②底面掘削と掘削完了判定調査
- ③第2次掘削計画
 - ・後期掘削計画の水管理
- ④第3次掘削計画

(3) 混合・均質化

- ① 土壌比率
- ② 混合面の移設
 - ・ 事業進捗に伴う移設

(4) 輸送（海上・陸上）

- ① 概要説明（汚染土壌・特前困難物については後述）
- ② コンテナトラック
- ③ 輸送船
 - ・ 浅瀬に乗り上げないために行った対処法（警戒船）
 - ・ 運行状況等に係る連絡調整
 - ・ 海上輸送連絡調整会
- ④ 栈橋等の改修・点検等

(5) 中間処理

溶融・焼却のスキーム

(6) その他の廃棄物処理

- ① 直下汚染土壌
 - イ) 水洗浄処理
 - ロ) セメント原料化処理
- ② 特殊前処理物等
- ③ 覆土

2. 事業の実施—副成物の有効利用—

- ① 副成物の概要
- ② スラグの有効利用
 - ・ 品質検査・出荷検査
 - ・ 粗大スラグ
 - ・ アルカリ骨材反応性試験
 - ・ スラグを使用した構造物の調査
 - ・ スラグを集積し、販売していた施設
 - ・ スラグを有効利用している工事箇所の一例
 - ・ 有効利用した箇所における安全性の確認（コア抜きなど）
- ③ 溶融飛灰・銅メタルの有効活用
- ④ アルミニウム
 - ・ アルミ選別機
- ⑤ 弱磁性体鉄

3. 作業環境上の安全対策

- ① 健康管理委員会の概要（メンバー等）
- ② ひやり・ハット等への対策

4. 処理対象物の推移（性状・量）

- ①見直しの経緯
- ②測量による残存量の推計
- ③各種測量方法（レーザー、GPS）
- ④処理量と実績との推移
- ⑤公調委調査との差、その理由

5. 廃棄物等の処理量アップ対策

①豊島側

- ・雨天時に均質化物の山に鉄板を乗せ、含水率の増加を防ぐ
- ・土壌比率を上げる（30～35%→37～38%…）
- ・塩基度を変動させる
- ・溶融助剤の抑制

②中間処理施設側

- ・供給羽根に付着した処理物に粗大スラグを投入することで除去
- ・粗大スラグを再溶融せず、製砂スラグと混合出荷
- ・シルト状スラグのセメント原料としての利用を検討
- ・不溶化ダストを銅精錬の原料として有効活用するための前処理の検討
- ・キルン炉での仮置土の処理
- ・A重油にC重油を混ぜて輝炎輻射を増加
- ・クレオソート油の添加
- ・稼働日数の増加
- ・定期点検整備の見直し（大規模改修による性能維持・整備の回数減）
- ・酸素富化による熱利用効率の向上

③その他

- ・直下汚染土壌の処理検討

6. 国等とのやり取り

（1）豊島廃棄物等処理事業の実現可能性調査への補助

（2）施設整備に係る補助

- ・中間処理施設
- ・中間保管・梱包施設
- ・高度排水処理施設

（3）特措法に基づく実施計画の策定と変更

（4）国への届け出

- ①自然公園法に基づく届出等
- ②PRTR法に基づく届出（第10回）
- ③省エネ法に対する対応（第9回）

7. 排水・地下水浄化対策

- (1) 排水・浄化対策の概要
- (2) 排水・浄化施設毎の説明
- (3) 概況調査・詳細調査の状況
- (4) 周辺環境モニタリングの実施と結果
 - ・周辺海域
 - ・排水
- (5) 水生生物等の調査と結果
 - ・アマモなど
- (6) 今後の対策

8. 発生したトラブルとその対応

- (1) 掘削現場
 - ・異常降雨に対応した混合面の配置（第33回）
- (2) 中間保管・梱包施設
- (3) 陸上・海上輸送
- (4) 中間処理施設
 - ① 熔融炉の水素爆発
 - ② ベルトコンベア
 - ③ 光化学オキシダント
 - ④ ボイラーダストの落下
 - ⑤ 熔融スラグの付着
- (5) 高度排水処理施設（地下水浄化）
 - ・基準値（ダイオキシン類）を超過した汚染水の越流

9. 事業の適切な実施・管理のための外部評価業務

- ① 業務の概要
- ② これまでの評価・指摘
- ③ 当該評価を行った意義

10. 事業の環境性・経済性の評価（LCA・LCC等）

- ① 評価の概要
- ② 環境性に係る指摘など
- ③ 経済性に係る指摘など
- ④ 当該評価を行った意義

11. 積極的な情報の公開と共有

- ① 情報公開・共有に係る考え方（共創の理念）
- ② 情報表示システムの整備・管理

③県HPでの開示（豊島廃棄物処理事業情報）

④緊急時の情報提供

⑤住民等からの意見

・会議の傍聴と意見聴取

・事務連絡会

・処理協議会

⑥見学者の受入れ

12. 豊島内施設等の撤去等

①豊島施設の撤去等

※トレンチドレン砕石、シート類、単管等の県が環境保全措置等で使用した物を含む。

※除去・除染についても触れる。

②直島中間処理施設の撤去等

※除去・除染についても触れる。

IV. 各種施設の維持管理(施設・設備に係るもの)

1. 共通（豊島・直島共通）

・メンテナンス計画（通常メンテ、大規模メンテ、長期スパンでのメンテ）

2. 豊島処分地

・場内全体の維持管理

・廃棄物の掘削現場

・均質化・混合地点

・汚染土壌の掘削現場

・掘削協議

3. 中間保管・梱包施設／特殊前処理物処理施設

・ピット

・積込装置と洗車室

・集塵機と脱臭機

・切断機

・岩石等の洗浄器

4. 海上輸送・陸上輸送

①海上輸送

・輸送船のメンテナンス

②陸上輸送

- ・車両のメンテナンス

5. 中間処理施設

- ・ピット
- ・前処理設備
- ・回転式表面溶融炉
- ・ロータリーキルン炉
- ・排ガス処理施設
- ・副成物の選別等に係る施設
- ・中央制御室

6. 高度排水処理施設

- ・原水調整槽
- ・アルカリ凝集沈殿
- ・生物処理設備
- ・凝集膜ろ過
- ・ダイオキシン類分解装置
- ・活性炭・キレート吸着
- ・VOCs ガス処理設備
- ・中央捜査室
- ・凝集膜分離装置
- ・活性炭吸着塔

V. 関係住民との関わり合い

1. 豊島住民との関わり合い

①処理協議会

概要（メンバー・要綱）

協議内容

- ・高松市新関西公園汚染土壌の処理
- ・直下汚染土壌の処理
- ・処分地の跡地利用

②事務連絡会

概要（メンバー）

協議内容

- ・処理対象量等
- ・拡大事務連絡会

2. 直島町との関わり合い

- ①エコアイランドなおしまプランの策定
 - ・ハード事業
 - ・ソフト事業
- ②豊島廃棄物等海上輸送連絡調整会
- ③環境のまち・直島推進委員会
- ④直島町活性化対策特別委員会
- ⑤風評被害対策

VI. 豊島廃棄物等の処理を終えて

1. 豊島事件の教訓

2. 今後の課題

3. 本事業で発見・展開された技術等

- ・安全システムの構築
- ・異常時緊急時における情報提供体制
- ・風評被害対策の実施
- ・外部評価の実施
- ・直島内のリサイクル施設の設置とその波及効果（地域振興等）

4. 処理事業に対する思い

- ①管理委員会（委員・技術アドバイザー）
- ②処理協議会会長
- ③氏家委員長
- ④田代弁護士
- ⑤直島町長
- ⑥福岡県
- ⑦豊島住民の代表
- ⑧各業者（K S K後藤所長・阿部氏、マテリアル直島製錬所長、日通）

5. 特別寄稿（真鍋前知事）

VII. その他

1. 用語集
2. 年表
3. 中間合意・調停条項
4. 協定・覚書等
5. 図面や写真
6. マニュアル

豊島廃棄物等処理事業 報告書(仮称)に係るスケジュール等

項目	ページ数	スケジュール		
		H29	H30	H31
原稿制作				
第1編 はじめに				
浜田知事 挨拶	1		■	■
永田委員長 挨拶	1		■	■
環境大臣 挨拶	1		■	■
公調委委員長 挨拶	1		■	■
第2編 豊島廃棄物等の処理実施に至るまで				
第1章 調停成立に至るまで				
1 公害調停の開始				
1-1 公害調停のあらまし	1	■	■	■
1-2 公害調停の協議内容	4	■	■	■
1-3 調停委員会の調査結果	5	■	■	■
2 中間合意の成立				
2-1 中間合意までの道のり	7	■	■	■
2-2 中間合意の概要	1	■	■	■
3 技術検討委員会での議論・報告				
3-1 第1次検討委員会	4	■	■	■
3-2 第2次検討委員会	4	■	■	■
3-3 第3次検討委員会	4	■	■	■
4 直島処理案の提示と直島町の受入れ				
4-1 直島町議会全員協議会での直島処理案の提示	1	■	■	■
4-2 直島町から提示された4条件	1	■	■	■
4-3 風評被害対策条例の制定に向けた検討	1	■	■	■
4-4 住民説明会・アンケートの実施	1	■	■	■
4-5 直島町長の受入れ	1	■	■	■
第2章 事業開始に至るまで				
1 公害調停の成立				
1-1 調停条項の概要	1	■	■	■
1-2 調停成立後の知事コメント	1	■	■	■
1-3 技術委員会への移行、処理協議会の設置	1	■	■	■
2 技術委員会での議論				
2-1 各回で審議したことの概要	6	■	■	■
2-2 情報表示システム、海上輸送体制の構築等	6	■	■	■
2-3 管理委員会への移行	2	■	■	■
3 暫定的な環境保全措置の実施				
3-1 遮水壁の打設	2	■	■	■
3-2 廃棄物等の移動	2	■	■	■
3-3 透気・遮水シートの敷設	2	■	■	■
4 処理事業を担う施設の整備				
4-1 中間処理施設	4	■	■	■
4-2 中間保管・梱包施設	4	■	■	■
4-3 高度排水処理施設	4	■	■	■
4-4 その他施設(あれば)	4	■	■	■
第3編 廃棄物等管理委員会の活動-処理事業の実施-				
第1章 廃棄物等の掘削から焼却・溶融等の処理まで				
1 処理スキームの概要				
1-1 処理スキームの概要	2	■	■	■
2 掘削				
2-1 基本的な考え方	1	■	■	■
2-2 底面掘削と掘削完了判定調査	4	■	■	■
2-3 第2次掘削計画	4	■	■	■
2-4 第3次掘削計画	4	■	■	■
3 混合・均質化				
3-1 土壌比率	2	■	■	■
3-2 混合面の移設	2	■	■	■
4 輸送(海上・陸上)				
4-1 概要説明	1	■	■	■
4-2 コンテナトラック	2	■	■	■
4-3 輸送船	2	■	■	■
4-4 棧橋等の改修・点検等	2	■	■	■
5 中間処理				
溶融・焼却のスキーム	8	■	■	■
6 その他の廃棄物処理				
6-1 直下汚染土壌	2	■	■	■
6-2 特殊前処理物等	2	■	■	■
6-3 覆土	2	■	■	■
第2章 事業の実施-副成物の有効利用-				
1-1 副成物の概要				
1-1 副成物の概要	1	■	■	■
1-2 スラッグの有効利用	4	■	■	■
1-3 溶融飛灰・銅メタルの有効利用	2	■	■	■
1-4 アルミニウム	2	■	■	■
1-5 弱磁性体鉄	2	■	■	■
第3章 作業環境上の安全対策				
1-1 健康管理委員会の概要(メンバー等)	2	■	■	■
1-2 ひやり・ハット等への対策	4	■	■	■

項目	ページ数	年度		
		H29	H30	H31
第4章 処理対象物の推移(性状・量)				
1-1 見直しの経緯	5			
1-2 測量による残存量の推計	3			
1-3 各種測量方法(レーザー、GPS)	3			
1-4 処理量と実績との推移	3			
1-5 公調委調査との差、その理由	3			
第5章 廃棄物等の処理量アップ対策				
1-1 豊島側	4			
1-2 中間処理施設側	8			
1-3 その他	2			
第6章 国等とのやり取り				
1 豊島廃棄物等処理事業の実現可能性調査への補助	2			
2 施設整備に係る補助	2			
3 特措法に基づく実施計画の策定と変更	4			
4 国への届け出	1			
第7章 排水・地下水浄化対策				
1 排水・浄化対策の概要	1			
2 排水・浄化施設毎の説明	6			
3 概況調査・詳細調査の状況	4			
4 周辺環境モニタリングの実施と結果	4			
5 水生生物等の調査と結果	4			
6 今後の対策	4			
第8章 発生したトラブルとその対応				
1 掘削現場	4			
2 中間保管・梱包施設	8			
3 陸上・海上輸送	4			
4 中間処理施設	10			
5 高度排水処理施設	4			
第9章 事業の適切な実施・管理のための外部評価業務				
1-1 業務の概要	1			
1-2 これまでの評価・指摘	6			
1-3 当該評価を行った意義	2			
第10章 事業の環境性・経済性の評価				
1-1 評価の概要	1			
1-2 環境性に係る指摘など	3			
1-3 経済性に係る指摘など	3			
1-4 当該評価を行った意義	2			
第11章 積極的な情報の公開と共有				
1-1 情報公開・共有に係る考え方	1			
1-2 情報表示システムの整備・管理	3			
1-3 県HPでの開示(豊島廃棄物処理事業情報)	1			
1-4 緊急時の情報提供	2			
1-5 住民等からの意見	2			
1-6 見学者の受入れ	2			
第12章 豊島内施設等の撤去等				
1-1 豊島施設の撤去等	8			
1-2 直島中間処理施設の撤去等	6			
第4編 各種施設の維持管理				
第1章 共通(豊島・直島共通)	4			
第2章 豊島処分地	2			
第3章 中間保管・梱包施設/特殊前処理物処理施設	4			
第4章 海上輸送・陸上輸送	2			
第5章 中間処理施設	8			
第6章 高度排水処理施設	2			
第5編 関係住民との関わり合い				
第1章 豊島住民との関わり合い				
1-1 処理協議会	2			
1-2 事務連絡会	2			
第2章 直島町民との関わり合い				
1-1 エコアイランドなおしまプランの策定	2			
1-2 豊島廃棄物等海上輸送連絡調整会	1			
1-3 環境のまち・直島推進委員会	1			
1-4 直島町活性化対策特別委員会	1			
1-5 風評被害対策	1			
第6編 豊島廃棄物等の処理を終えて				
第1章 豊島事件の教訓	4			
第2章 今後の課題	4			
第3章 本事業で発見・展開された技術等	6			
第4章 処理事業に対する思い	40			
第5章 特別寄稿(真鍋前知事)	1			
第7編 その他				
第1章 用語集	6			
第2章 年表	4			
第3章 中間合意、調停条項	8			
第4章 協定、覚書等	50			
第5章 図面、写真	100			
第6章 マニュアル(マニュアル名のみ)	1			
編集・校正・印刷				
合計	527			

■ 作業
 ▨ 校正・予備日等

豊島廃棄物等の処理を終えて-豊かな島の再生と循環型社会実現への道程-（仮称）

目次（案）

下線部…前回審議（平成 29 年 4 月 16 日第 45 回豊島廃棄物等管理委員会）からの変更箇所

第 1 編 はじめに

第 1 章 事業者挨拶

香川県 浜田恵造知事 挨拶

豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会 永田勝也委員長 挨拶

環境大臣 挨拶

公害等調整委員会委員長 挨拶

第 2 章 地元関係者挨拶

直島町 小林眞一町長 挨拶

三菱マテリアル(株)直島製錬所 松谷輝之所長 挨拶

直島漁業協同組合 高野勇代表理事組合長 挨拶

第 2 編 豊島廃棄物等の処理実施が完了するまで

第 1 章 調停成立に至るまで

1 豊島問題が生じた経緯

2 公害調停の開始

2-1 公害調停のあらまし

2-2 公害調停の協議内容（非公開を原則としているため、一部のみ）

2-3 調停委員会の調査結果

3 中間合意の成立

3-1 中間合意までの道のり

3-2 中間合意の概要

4 技術検討委員会での議論・報告

4-1 第 1 次検討委員会

4-2 第 2 次検討委員会

4-3 第 3 次検討委員会

5 直島処理案の提示と直島町の受入れ

5-1 直島町議会全員協議会での直島処理案の提案

5-2 直島町から提示された 4 条件

5-3 風評被害対策条例の制定に向けた検討

5-4 住民説明会・アンケートの実施

5-5 直島町長の受入れ

第2章 事業開始に至るまで

1 公害調停の成立

- 1-1 調停条項の概要
- 1-2 調停成立後の知事コメント
- 1-3 技術委員会への移行、処理協議会の設置

2 技術委員会での議論

- 2-1 各回で審議したことの概要
- 2-2 情報表示システム、海上輸送体制の構築等
- 2-3 管理委員会への移行

3 暫定的な環境保全措置の実施

- 3-1 遮水壁の打設
- 3-2 廃棄物等の移動
- 3-3 透気・遮水シートの敷設

4 処理事業を担う施設の整備

- 4-1 中間処理施設
- 4-2 中間保管・梱包施設
- 4-3 高度排水処理施設

第3章 処理完了後に新たに見つかった廃棄物

第3編 豊島廃棄物等管理委員会の活動—処理事業の実施—

第1章 廃棄物等の掘削から焼却・溶融等の処理まで

1 処理スキームの概要

2 掘削

- 2-1 基本的な考え方
- 2-2 底面掘削と掘削完了判定調査
- 2-3 第2次掘削計画
- 2-4 第3次掘削計画

3 混合・均質化

- 3-1 土壌比率
- 3-2 混合面の移設

4 輸送（海上・陸上）

- 4-1 概要説明
- 4-2 コンテナトラック
- 4-3 輸送船
- 4-4 栈橋等の改修・点検等

5 中間処理

- 5-1 溶融・焼却のスキーム

6 その他の廃棄物処理

- 6-1 直下汚染土壌
- 6-2 特殊前処理物等
- 6-3 覆土

7 新たに見つかった廃棄物の処理

- 7-1 汚泥
- 7-2 内容物入りドラム缶
- 7-3 空ドラム缶
- 7-4 豊島処分地における残存廃棄物の処理の状況

第2章 事業の実施—副成物の有効利用—

- 1 副成物の概要
- 2 スラッグの有効利用
- 3 溶融飛灰・銅メタルの有効活用
- 4 アルミニウム
- 5 弱磁性体鉄

第3章 作業環境上の安全対策

- 1 健康管理委員会の概要
- 2 ひやり・ハット等への対策

第4章 処理対象物の推移（性状・量）

- 1 見直しの経緯
- 2 測量による残存量の推計
- 3 各種測量方法（レーザー・GPS）
- 4 処理量と実績との推移
- 5 公調委調査との差、その理由

第5章 廃棄物等の処理量アップ対策

- 1 豊島側
- 2 中間処理施設側
- 3 その他

第6章 国等とのやり取り

- 1 豊島廃棄物等処理事業の実現可能性調査への補助
- 2 施設整備に係る補助
- 3 特措法に基づく実施計画の策定と変更
- 4 国への届け出

第7章 排水・地下水浄化対策

- 1 排水・浄化対策の概要
- 2 排水・浄化施設毎の説明
- 3 概況調査・詳細調査の状況
- 4 周辺環境モニタリングの実施と結果
- 5 水生生物等の調査と結果
- 6 今後の対策

第8章 発生したトラブルとその対応

- 1 各種施設におけるトラブル
 - 1-1 中間処理施設における/中間保管・梱包施設/高度排水処理施設)
- 2 陸上・海上輸送におけるトラブル

第9章 事業の適切な実施・管理のための外部評価業務

- 1 業務の概要
- 2 これまでの評価・指摘
- 3 当該評価を行った意義

第10章 事業の環境性・経済性の評価

- 1 評価の概要
- 2 豊島事業の環境性評価
- 3 豊島事業の経済性評価
- 4 豊島事業の環境性・経済性の総合的評価
- 5 当該評価を行った意義

第11章 積極的な情報の公開と共有

- 1 情報公開・共有に係る考え方

- 2 情報表示システムの整備・管理
- 3 県HPでの開示（豊島廃棄物処理事業情報）
- 4 緊急時の情報提供
- 5 住民等からの意見
- 6 見学者の受入れ

第12章 豊島事業関連施設の撤去等

- 1 豊島施設の撤去等
- 2 直島中間処理施設の撤去等

第4編 各種施設の維持管理

- 第1章 共通（豊島・直島共通）
- 第2章 豊島処分地
- ~~第3章 中間保管・梱包施設／特殊前処理物処理施設~~
- 第3章 海上輸送・陸上輸送
- 第4章 中間処理施設
- 第5章 高度排水処理施設

第5編 関係住民との関わり合い

- 第1章 豊島住民との関わり合い
 - 1 処理協議会
 - 2 事務連絡会

- 第2章 直島町民との関わり合い

- 1 エコアイランドなおしまプランの策定
- 2 豊島廃棄物等海上輸送連絡調整会
- 3 環境のまち・直島推進委員会
- 4 直島町活性化対策特別委員会
- 5 風評被害対策

第6編 豊島廃棄物等の処理を終えて

- 第1章 豊島事件の教訓
- 第2章 今後の課題
- 第3章 本事業で発見・展開された技術等
- 第4章 処理事業に対する思い
 - 1 豊島廃棄物等管理委員会（委員・技術アドバイザー）
 - 2 公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団
 - 3 田代健弁護士

- 4 岡市友利前豊島廃棄物処理協議会会長
- 5 氏家睦夫前豊島廃棄物等処理施設撤去等事業健康管理委員会委員長
- 6 株式会社N T T データ経営研究所
- 7 杵築技術士事務所
- 8 クボタ環境サービス株式会社
- 9 日本通運株式会社
- 10 土庄中央漁業協同組合
- 11 唐櫃漁業協同組合
- 12 土庄町
- 13 岡山県
- 14 玉野市
- 15 福岡県

第5章 特別寄稿

真鍋武紀前知事

第7編 その他

- 第1章 用語集
- 第2章 年表
- 第3章 中間合意・調停条項
- 第4章 協定・覚書等
- 第5章 函面や写真
- 第6章 マニュアル（名称のみ）

項目	執筆者	ページ数 (見込)	スケジュール											
			R2						R3					
原稿作成														
第1編 はじめに														
第1章 事業者挨拶														
香川県 浜田恵造知事 挨拶		1												
豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会 永田勝也委員長 挨拶		1												
環境大臣 挨拶		1												
公調委委員長 挨拶		1												
第2章 地元関係者挨拶														
直島町 小林真一町長 挨拶		1												
三菱マテリアル(株)直島製錬所 松谷輝之所長 挨拶		1												
直島漁業協同組合 高野勇代表理事組合長 挨拶		1												
第2編 豊島廃棄物等の処理実施が完了するまで														
第1章 調停成立に至るまで														
1 豊島問題が生じた経緯	県	1												
2 公害調停の開始														
2-1 公害調停のあらまし	県	6												
2-2 公害調停の協議内容	県													
2-3 調停委員会の調査結果	県													
3 中間合意の成立														
3-1 中間合意までの道のり	県													
3-2 中間合意の概要	県													
4 技術検討委員会での議論・報告														
4-1 第1次検討委員会	県	12												
4-2 第2次検討委員会	県	3												
4-3 第3次検討委員会	県	3												
5 直島処理案の提示と直島町の受入れ														
5-1 直島町議会全員協議会での直島処理案の提案	県	2												
5-2 直島町から提示された4条件	県													
5-3 風評被害対策条例の制定に向けた検討	県													
5-4 住民説明会・アンケートの実施	県													
5-5 直島町長の受入れ	県													
第2章 事業開始に至るまで														
1 公害調停の成立														
1-1 調停条項の概要	県	6												
1-2 調停成立後の知事コメント	県	3												
1-3 技術委員会への移行、処理協議会の設置	県	2												
2 技術委員会での議論														
2-1 各回で審議したことの概要	県	2												
2-2 情報表示システム、海上輸送体制の構築等	県	4												
2-3 管理委員会への移行	県	1												
3 暫定的な環境保全措置の実施														
3-1 遮水壁の打設	県	1												
3-2 廃棄物等の移動	県	1												
3-3 透気・遮水シートの敷設	県													
4 処理事業を担う施設の整備														
4-1 中間処理施設	県	2												
4-2 中間保管・梱包施設	県	1												
4-3 高度排水処理施設	県	2												
第3章 処理完了後に新たに見つかった廃棄物														
第3編 廃棄物等管理委員会の活動-処理事業の実施-														
第1章 廃棄物等の掘削から焼却・溶融等の処理まで														
1 処理スキームの概要	県	1												
2 掘削														
2-1 基本的な考え方	県	1												
2-2 底面掘削と掘削完了判定調査	県	2												
2-3 第2次掘削計画	県	6												
2-4 第3次掘削計画	県	4												
3 混合・均質化														
3-1 土壌比率	県	1												
3-2 混合面の移設	県	1												

項目	執筆者	ページ数 (見込)	スケジュール	
			R2	R3
4 輸送(海上・陸上)				
4-1 概要説明	県	2		
4-2 コンテナトラック	県			
4-3 輸送船	県			
4-4 棧橋等の改修・点検等	県			
5 中間処理				
溶融・焼却のスキーム	県	5		
6 その他の廃棄物処理				
6-1 直下汚染土壌	県	2		
6-2 特殊前処理物等	県	2		
6-3 覆土	県	2		
7 新たに見つかった廃棄物の処理				
7-1 汚泥	県	2		
7-2 内容物入りドラム缶	県			
7-3 空ドラム缶	県			
7-4 豊島処分地における残存廃棄物の処理の状況	県			
第2章 事業の実施-副成物の有効利用-				
1 副成物の概要	県	1		
2 スラッグの有効利用	県	2		
3 溶融飛灰・銅メタルの有効利用	県	1		
4 アルミニウム	県	2		
5 弱磁性体鉄	県	1		
第3章 作業環境上の安全対策				
1 健康管理委員会の概要	県	1		
2 ひやり・ハット等への対策	県	4		
第4章 処理対象物の推移(性状・量)				
1 見直しの経緯	県	1		
2 測量による残存量の推計	県	1		
3 各種測量方法(レーザー、GPS)	県	6		
4 処理量と実績との推移	県	2		
5 公調委調査との差、その理由	県	2		
第5章 廃棄物等の処理量アップ対策				
1 豊島側	県	1		
2 中間処理施設側	県	1		
3 その他	県	4		
第6章 国等とのやり取り				
1 豊島廃棄物等処理事業の実現可能性調査への補助	県	1		
2 施設整備に係る補助	県	1		
3 特措法に基づく実施計画の策定と変更	県	2		
4 国への届け出	県	3		
第7章 排水・地下水浄化対策				
1 排水・浄化対策の概要	県	3		
2 排水・浄化施設毎の説明	県	2		
3 概況調査・詳細調査の状況	県	9		
4 周辺環境モニタリングの実施と結果	県	12		
5 水生生物等の調査と結果	県	4		
6 今後の対策	県	4		
第8章 発生したトラブルとその対応				
1 各種施設におけるトラブル(中間処理施設/中間保管・梱包施設/高度排水処理施設)	県	8		
2 陸上・海上輸送におけるトラブル	日本通運㈱	1		
第9章 事業の適切な実施・管理のための外部評価業務				
1 業務の概要	㈱NTTデータ	2		
2 これまでの評価・指摘	㈱NTTデータ	4		
3 当該評価を行った意義	㈱NTTデータ	1		
第10章 事業の環境性・経済性の評価				
1 評価の概要	早稲田大学	2		
2 豊島事業の環境性評価	早稲田大学	5		
3 豊島事業の経済性評価	早稲田大学	3		
4 豊島事業の環境性・経済性の総合的評価	早稲田大学	1		
5 当該評価を行った意義	早稲田大学	1		

項目	執筆者	ページ数 (見込)	スケジュール											
			R2						R3					
第1 1章 積極的な情報の公開と共有														
1 情報公開・共有に係る考え方	県	1												
2 情報表示システムの整備・管理	県	6												
3 県HPでの開示(豊島廃棄物処理事業情報)	県	2												
4 緊急時の情報提供	県	2												
5 住民等からの意見	県	1												
6 見学者の受入れ	県	2												
第1 2章 豊島事業関連施設の撤去等														
1 豊島施設の撤去等	県	13												
2 直島中間処理施設の撤去等	県	22												
第4編 各種施設の維持管理														
第1章 共通(豊島・直島共通)	㈱環境サービス	10												
第2章 豊島処分地	㈱環境サービス	7												
第3章 海上輸送・陸上輸送	日本通運㈱	2												
第4章 中間処理施設	㈱環境サービス	36												
第5章 高度排水処理施設	㈱環境サービス	9												
第5編 関係住民との関わり合い														
第1章 豊島住民との関わり合い														
1 処理協議会	県	5												
2 事務連絡会	県	1												
第2章 直島町民との関わり合い														
1 エコアイランドなおしまプランの策定	県	3												
2 豊島廃棄物等海上輸送連絡調整会	県	2												
3 環境のまち・直島推進委員会	県	1												
4 直島町活性化対策特別委員会	県	1												
5 風評被害対策	県	2												
第6編 豊島廃棄物等の処理を終えて														
第1章 豊島事件の教訓	県	2												
第2章 今後の課題	県	4												
第3章 本事業で発見・展開された技術等	県	6												
第4章 処理事業に対する思い	※	31												
第5章 特別寄稿														
真鍋武紀前知事		1												
第7編 その他														
第1章 用語集	県	7												
第2章 年表	県	6												
第3章 中間合意・調停条項	県	10												
第4章 協定・覚書等	県	7												
第5章 図面・写真	県	38												
第6章 マニュアル(マニュアル名のみ)	県	1												
レイアウト、校正、印刷、製本、納品														

総ページ数(見込) 441

作業

※第6編 第4章 執筆者一覧

- ①管理委員会(委員・技術アドバイザー) ②産廃振興財団 ③田代健弁護士 ④岡市友利前処理協議会会長 ⑤氏家睦夫前健康管理委員会委員長
⑥NTTデータ ⑦竹築技術士事務所 ⑧KSK ⑨日通 ⑩土庄中央漁協 ⑪唐櫃漁協 ⑫土庄町 ⑬岡山市 ⑭玉野市 ⑮福岡県